

平成26年度

遠野の教育



遠野市教育委員会

《表紙写真の説明》

写真上

平成 26 年 5 月 2 日（金）遠野市宮守町の銀河の森運動公園内に蒸気機関車（SL）形の遊具の設置、お祝いのセレモニーに参加した、宮守・達首部・鱒沢 3 保育所幼稚園の年長児のわらすっこ達です。

写真下

平成 25 年 10 月 9 日（水）附馬牛小学校で『JFA こころのプロジェクト遠野わらすっこ「夢の教室」』が実施されました。

夢先生 貴乃花親方

目次

1	遠野市の状況	1
	概況と特性、人口構造の変化	1
	沿革	2
2	遠野市の教育行政	3
	(1) 地方分権と広域行政への取組	3
	(2) 教育行政の取組	3
	(3) 遠野市教育振興基本計画	4
	(4) 教育委員会	7
	(5) 遠野市教育委員会機構図（平成26年4月1日現在）	8
	(6) 平成26年度遠野市教育行政推進の基本方針	9
	(7) 教育予算の概要	14
3	地域教育協議会	19
4	学校教育	22
	(1) 平成26年度遠野市「学校教育指導指針」	22
	(2) 遠野市「学校教育構想図」	26
	(3) 学校一覧	29
	(4) 市立保育所幼稚園、市立小中学校、県立高等学校要覧	31
	(5) 平成26年度校長・副校長・各主任者等一覧	50
	(6) 主要事業	51
	(7) 生徒指導の重点	63
	(8) 平成26年度学校評価	67
	(9) 学校保健	69
	(10) 奨学資金	72
5	教務課の運営方針と計画	75
	(1) 運営方針	75
	(2) 重点施策	75
	(3) 施策の概要と事業計画	75
6	総合食育センター 学校給食センターの運営方針と計画	77
	(1) 運営方針	77
	(2) 重点施策	77
	(3) 施策の概要	77
	(4) 事業計画	77
7	総合食育センター 総合食育推進課の運営方針と計画	78
	(1) 運営方針	78
	(2) 重点施策	78
	(3) 施策の概要	78
	(4) 事業計画	78

8	社会教育行政（生涯学習スポーツ課）の運営方針と計画	79
(1)	運営方針	79
(2)	重点施策	79
(3)	施策の概要	79
(4)	事業計画	80
9	子育て総合支援センターの運営方針と計画	83
(1)	運営方針	83
(2)	重点施策	83
(3)	施策の概要と事業計画	85
10	文化行政（遠野文化研究センター文化課）の運営方針と計画	88
(1)	運営方針	88
(2)	重点施策	88
(3)	施策の概要	88
(4)	事業計画	89
11	文化行政（遠野文化研究センター調査研究課）の運営方針と計画	90
(1)	運営方針	90
(2)	重点施策	90
(3)	施策の概要	90
(4)	事業計画	90
12	地区センター（地区公民館）の運営方針と計画	91
(1)	遠野地区センター（遠野地区公民館）	91
(2)	綾織地区センター（綾織地区公民館）	94
(3)	小友地区センター（小友地区公民館）	96
(4)	附馬牛地区センター（附馬牛地区公民館）	98
(5)	松崎地区センター（松崎地区公民館）	100
(6)	土淵地区センター（土淵地区公民館）	102
(7)	青笹地区センター（青笹地区公民館）	104
(8)	上郷地区センター（上郷地区公民館）	107
(9)	宮守地区センター（宮守地区公民館）	110
12	平成26年度 月別事業計画	115

遠野市民憲章

わたくしたちは、悠久の時を越えて継承してきたうるわしい郷土と、
伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝^{たから}玉を、さらに「永遠の日本^{にほん}
のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章を
さだめます。

わたくしたちは

- 1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくります。
- 1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります。
- 1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくります。
- 1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくります
- 1 共に考え支えあって、未来を望む協働のまちをつくります。



市の木「いちい」



市の鳥「やまどり」



市の花「やまゆり」

遠野市民歌

作詞・作曲 船越由佳

深き霞 天^{そら}にほどき

そびゆる蒼き早池峰

希望を乗せ 風よ飛び立て

朝露ゆらし 彼方へ

透きとおる夏に

憧れを追いかけて

黄金^{こがね}の秋

遥かな明日を祈った

いとしき人よ ほほえむ人よ

いつも心で寄り添い合えば

瞳に光る まばゆき遠野

燃ゆる残照 水面に抱き

流るる清き猿ヶ石

木々よ眠れ 夢を受け継ぎ

遠き未来へ語ろう

雪明^{ゆきあけ}かりの冬

銀河をかすめる流星^{ほし}

芽吹く春に

願いはかなうと信じた

優しき友よ 変らぬ友よ

いつも心で名前を呼べば

めぐる季節に きらめく遠野

今日も日は沈み

ひとつずつ灯はともり

そしてまた日は昇る

やまゆり照らして

いとしき人よ 優しき友よ

いつも心で君を想えば

瞳に光る まばゆき遠野

1 遠野市の状況

○ 遠野市の概況と特性

遠野市は、東西、南北ともに約38km、総面積は 825.6km²であり、北上高地の中央部に位置しています。標高 1,917mの早池峰山を最高峰に、標高 300m～ 700mの高原群が周囲を取り囲み、市域の中央部にある遠野盆地に中心市街地を形成しています。

冷涼な気候と豊かな自然環境を生かした農林業を基幹産業とし、米を中心に、野菜、ホップ、わさび、葉たばこ等の作物、畜産が複合経営されているほか、乗用馬の生産地としても知られています。

また、四季が織り成す豊かで美しい広大な自然は全国の人々に親しまれており、『遠野物語』をはじめとした豊富な地域資源を活かして、歴史や文化によるまちづくりを推進するとともに、コミュニティビジネスによる地域活性化に取り組んでいます。

○ 人口構造の変化

遠野市の人口は、平成17年の国勢調査では 31,402人でしたが、平成22年の国勢調査では 29,331人となっており、今後も減少傾向が続くと予想されます。同時に少子高齢化が進み、平成32年には年少人口比率が 9.2%、高齢人口が 41.4%となると推測されています。

こうした人口減少・少子高齢化の流れの中において、遠野市が発展し、市民が安心して生活を送るためには、生活基盤の整備と産業の発展に取り組み、定住人口や交流人口を拡大し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するとともに、今後増加する高齢者が充実した生活を営むことができるよう、健康づくり、医療、福祉、教育等をさらに充実させていくことが求められています。

遠野市の沿革

	遠野市	宮守村
明治初期	30あまりの小村	上宮守村、下宮守村、達曾部村、上鱒沢村、下鱒沢村の5村
町村制（明治22年）	遠野町、松崎村、綾織村、小友村、附馬牛村、土淵村、青笹村、上郷村の1町7村	宮守村、達曾部村、鱒沢村の3村
昭和の大合併	遠野市（昭和29年12月1日）	宮守村（昭和30年2月11日）
平成の大合併	遠野市（平成17年10月1日）	

	人口（人）			0～14歳	15～64歳	65歳以上	世帯数（世帯）
	男	女	合計				
平成17年	15,506	16,858	32,364	3,931	18,262	10,171	10,675
平成18年	15,367	16,705	32,072	3,871	18,013	10,188	10,690
平成19年	15,191	16,543	31,734	3,782	17,690	10,262	10,734
平成20年	15,028	16,343	31,371	3,699	17,418	10,254	10,730
平成21年	14,775	16,079	30,854	3,586	17,015	10,253	10,706
平成22年	14,576	15,879	30,455	3,476	16,753	10,226	10,673
平成23年	14,392	15,643	30,035	3,360	16,624	10,051	10,554
平成24年	14,282	15,464	29,746	3,280	16,400	10,066	10,705
平成25年	14,209	15,378	29,587	3,223	16,171	10,193	10,795
平成26年	14,107	15,203	29,310	3,180	15,850	10,280	10,875

資料：住民基本台帳（各年3月31日現在、ただし、平成17年は10月1日現在）

面積と土地利用の状況

（単位：k㎡）

	総面積	田	畑	宅地	山林	牧場	原野 雑種地	その他
面積	825.62	39.62	30.34	9.46	422.84	22.13	55.29	245.94
構成割合	100.0%	4.8%	3.7%	1.1%	51.2%	2.7%	6.7%	29.8%

資料：総務部税務課「土地に関する概要調書報告書」（平成25年1月1日現在）

近年の気象の状況

	気温（℃）			日照時間（h）	降水量（mm）
	最高極	最低極	平均		
平成17年	35.1	-17.2	9.4	1428.5	1158.0
平成18年	33.7	-17.1	9.7	1459.4	1085.0
平成19年	33.4	-14.3	10.5	1662.6	1343.0
平成20年	32.3	-14.9	10.0	1627.3	1132.5
平成21年	32.3	-12.5	10.1	1511.2	1091.6
平成22年	35.3	-14.1	10.6	1419.3	1341.5
平成23年	33.7	-18.0	9.8	1507.9	1175.7
平成24年	35.1	-18.0	9.6	1555.0	946.5

資料：盛岡地方気象台（遠野消防署で測定）

2 遠野市の教育行政

(1) 地方分権と広域行政への取組

少子化に伴う人口の減少や高齢化の進行、社会情勢の急激な変化等により行政ニーズがますます多様化する中、市町村は、地域における総合的な行政の主体として、地域の実情に即した住民に身近な行政サービスを提供することが求められています。

その一方で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって甚大な被害を受けた沿岸地域の復興に向けた支援活動の継続や、防災、環境問題、医療、地域経済の活性化など、個々の市町村の枠を越えて対応していかなければならない行政課題も増加しています。

遠野市においては、東北横断自動車道釜石秋田線の延伸等により、沿岸と内陸、さらには他県や首都圏方面との移動時間が短縮され、人やものの交流が活発化し、震災からの復興支援が進んでいくことが予想されます。

このことから、広域的な視点に立ち、近隣市町村との連携を積極的に図りながら産業の振興に取り組むとともに、行財政基盤の充実・強化、政策形成能力の向上等に努め、より効率的かつ総合的な行政を推進していくことが求められています。

(2) 教育行政の取組

平成25年4月1日から新しい中学校3校が開校し、新たな歴史を歩み始めて1年が経過しました。

また、平成26年4月1日には、市政の最重要課題の一つである「少子化対策、子育て支援」のため「子育てするなら遠野推進本部」を設置し、関係団体である社会福祉法人遠野市保育協会と連携しながら施策の事業実施を推進しています。

学校教育においては、『知・徳・体のバランスのとれた人間形成～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～』の実現に向け、「基礎的な知識・技能の習得及び課題解決のための思考力等の育成」「豊かな心の育成」「健やかでたくましい心身の育成」の3点を重点課題とした取組を行っています。

市民センターにおいては、生涯学習スポーツ課が、生涯学習の充実とスポーツを中心とした健康づくりの推進に取り組んでいます。

生涯学習分野においては、市民協働の視点を重視しながら、地域における教育・学習・文化の活動拠点である市民センター及び地区センターの機能の充実に努めるとともに、市民による芸術活動の推進に取り組んでいます。

スポーツ振興・健康づくり分野においては、市民の健康の増進と生涯スポーツ社会の実現に向け、「健康づくり総合プログラム」を実践するとともに、競技スポーツやジュニアスポーツのレベルアップを図るなどの取組を行っています。

文化行政においては、遠野市の豊かな地域資源や文化を後世に継承するため、文化財の保全や郷土資料・民俗資料の調査・研究を行い、その成果を広く発信する取組を行っています。

(3) 遠野市教育振興基本計画

基本的な考え

この計画の背景や、それを踏まえた教育の基本的な課題の解決に向けて、計画のめざす基本的方向を次に示します。

1 基本理念

遠野市教育振興基本計画の目指す基本理念を、次のとおりとします。

ふるさとの文化を生かし、『夢』と『誇り』を育む 学びのまちづくり

この理念は、次の考えに基づき掲げることとします。

- 教育基本法の理念に基づき、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進します。
- 遠野市の目指す方向や施策をまとめ、遠野市におけるまちづくりの最上位に位置づけられ、まちづくりの目標とその実現方法を示す計画である「遠野市総合計画」の理念に基づき、学びのまちづくりを進めます。
- 少子高齢化の進展など、社会環境の大きな変化の中で、新しい時代を切り拓いていく心豊かでたくましい人間を育てていくことを目指し、すべての人が安全、安心でゆとりある子育てができる支援と環境整備を、地域を含めた社会全体で進めます。
- 市民一人一人が、郷土の豊かな自然や文化にふれあい、希望をもって学ぶことを通して、郷土への愛着や誇りを培うとともに、未来を拓く知恵と豊かな人間性を身に付けていくことを目指します。
- 誰もが生涯にわたり、学ぶことができる環境を整備するとともに、芸術文化活動やスポーツなどに親しむ機会を充実させ、潤いのある生活と明日への活力を生み出すことを目指します。

2 基本方針

基本理念を実現するために、次の基本方針を掲げて、遠野市の教育の振興を図ります。

(1) ふるさと教育の推進

《生きる力を育む教育を目指した環境づくりを、地域とともに進めます》

子どもたちが安心して教育を受けられ、個性や能力を発揮できる教育の環境づくりを進めるとともに、時代の変化に的確に対応した学校適正化の推進を図り、明日の遠野を担う子どもたちが、郷土に誇りを持ち、夢を育むことができる教育の実現を目指します。

さらに、学校給食においては、地域の食文化への理解を深めるとともに、地産地消及び食育の推進を図ります。

また、多様なニーズに対応した保育サービスの充実や施設の改善など、遠野わらすっこプランを確実に実施し、安心して子どもを産み育てる環境を整えます。

(2) 生涯学習の推進

《いつでも、どこでも、だれもが学習できる環境と優れた芸術に触れる機会の充実に努めます》

市民がいつでも自由に選択して学習できる「生涯学習社会」を目指し、市民のニーズに応じた学習機会の拡充を進めます。

芸術振興においては、遠野物語ファンタジーに代表される市民協働の理念のもと、優れた芸術に触れる機会の充実に努め、潤いのある生活と豊かな感性を備えた人材育成に努めます。

(3) ふるさとの文化の継承・創造

《誇りあるふるさとの文化を大切にすることを育み、次世代につなげます》

文化財の保護と、図書館・博物館を拠点施設として『遠野物語』をはじめとした郷土の調査・研究を進めます。また、その成果を広く発信し、文化の継承と創造を図ります。

(4) 健康づくりの推進

《生涯にわたる健康で豊かなスポーツライフを応援します》

健康づくり総合プログラムの推進を図るとともに、子どもの体力、運動能力の向上に努めます。
また、市民への夢と感動を与える競技スポーツや、スポーツ少年団活動などの促進を図りスポーツの普及、振興に努めます。

(4) 教育委員会

(平成26年4月1日現在)

① 教育委員

職名	氏名	就任年月日	委員の任期
委員長	中 浜 艶 子	平成25年11月26日	平成29年11月25日
委員長職務代理者	角 田 直 樹	平成24年11月26日	平成28年11月25日
委員	三 浦 芳 昌	平成22年11月26日	平成26年11月25日
委員	馬 場 明 子	平成23年11月26日	平成27年11月25日
教育長	藤 澤 俊 明	平成25年11月26日	平成29年11月25日

② 教育委員会事務局・教育機関

機関名	所在地	電 話
遠野市教育委員会事務局	遠野市東館町8-12	☎0198-62-4412 F A X 0198-62-2789
遠野市教育研究所	同 上	同 上
遠野市子育て総合支援センター	同 上	☎0198-62-2111 F A X 0198-62-9422
遠野市民センター	遠野市新町1-10	☎0198-62-4411 F A X 0198-62-3302
遠野市勤労青少年ホーム	同 上	☎0198-62-4413 F A X 0198-62-3302
遠野市少年センター	同 上	同 上
遠野市立図書館	遠野市東館町3-9	☎0198-62-2340 F A X 0198-62-5758
	宮守ゆうYOUソフト館 遠野市宮守町下宮守30-48-2	☎0198-67-2012
遠野市立博物館	本館 遠野市東館町3-9	☎0198-62-2340 F A X 0198-62-5758
	とおの物語の館 遠野市中央通り2-11	☎0198-62-7887
	遠野城下町資料館 遠野市中央通り4-6	☎0198-62-2502
	遠野蔵の道ギャラリー 遠野市中央通り4-28 加守田章二陶房跡 遠野市青笹町糠前9-5-3	☎0198-62-2680 —
遠野市総合食育センター (学校給食センター)	遠野市松崎町白岩31-44-1	☎0198-62-2032 F A X 0198-62-2032
遠野市中央公民館	遠野市新町1-10	☎0198-62-4411 F A X 0198-62-3302
遠野市遠野地区公民館	同 上	同 上
遠野市綾織地区公民館	遠野市綾織町下綾織字且の鼻26	☎0198-62-2838 F A X 0198-62-2838
遠野市小友地区公民館	遠野市小友町16-105-1	☎0198-68-2001 F A X 0198-68-2001
遠野市附馬牛地区公民館	遠野市附馬牛町下附馬牛11-40-1	☎0198-64-2001 F A X 0198-64-2001
遠野市松崎地区公民館	遠野市松崎町白岩字葉研淵1-3	☎0198-62-2885 F A X 0198-62-2885
遠野市土淵地区公民館	遠野市土淵町土淵6-5-3	☎0198-62-2837 F A X 0198-62-2837
遠野市青笹地区公民館	遠野市青笹町青笹13-1-8	☎0198-62-2836 F A X 0198-62-2836
遠野市上郷地区公民館	遠野市上郷町板沢11-5-4	☎0198-65-2022 F A X 0198-65-2022
遠野市宮守地区公民館	遠野市宮守町下宮守29-77	☎0198-67-2115 F A X 0198-67-2157

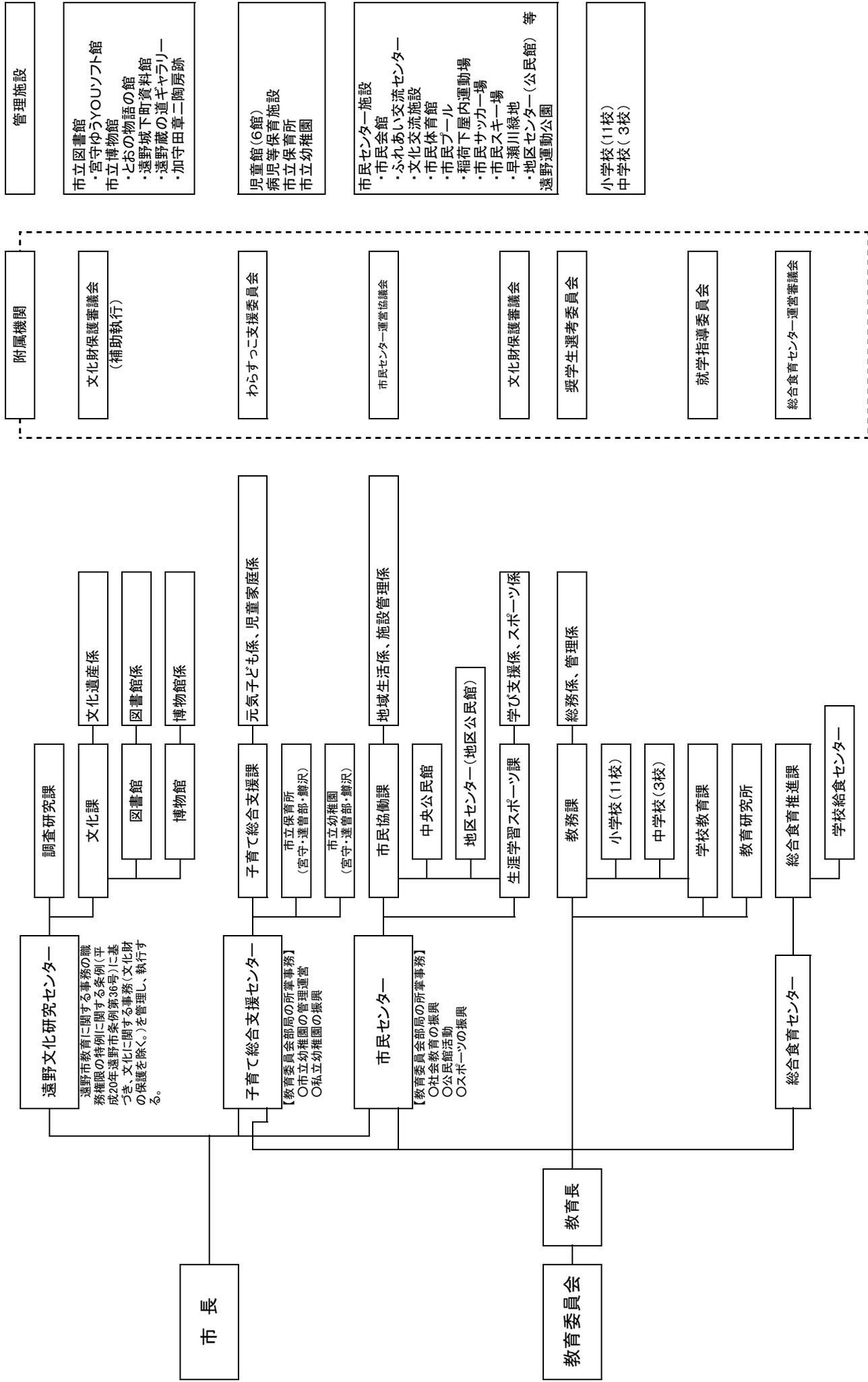
③ 岩手県立高等学校

学校名	所在地	電 話
遠野高等学校	遠野市六日町3-17	☎0198-62-2823 F A X 0198-62-2805
遠野緑峰高等学校	遠野市松崎町白岩21-14-1	☎0198-62-2827 F A X 0198-62-2828

④ 幼稚園・保育所

幼稚園・保育所名	所在地	電 話
遠野市立宮守幼稚園(保育所)	遠野市宮守町下宮守26-87-2	☎0198-67-2130 F A X 0198-67-2130
遠野市立達曾部幼稚園(保育所)	遠野市宮守町達曾部15-31	☎0198-67-6131 F A X 0198-67-6131
遠野市立鱒沢幼稚園(保育所)	遠野市宮守町下鱒沢33-218-1	☎0198-66-2210 F A X 0198-66-2210
遠野聖光幼稚園	遠野市中央通り3-10	☎0198-62-2150 F A X 0198-62-4493
光の園幼稚園	遠野市東穀町14-7	☎0198-62-3341 F A X 0198-62-3341
遠野保育園	遠野市材木町3-21	☎0198-62-2034 F A X 0198-62-2034
神明保育園	遠野市六日町8-22	☎0198-62-2036 F A X 0198-62-2036
綾織保育園	遠野市綾織町下綾織字且の鼻37-36	☎0198-62-2812 F A X 0198-62-2812
岩滝保育園	遠野市小友町16-105-3	☎0198-68-2333 F A X 0198-68-2333
附馬牛保育園	遠野市附馬牛町下附馬牛11-31-2	☎0198-64-2330 F A X 0198-64-2330
白岩保育園	遠野市松崎町白岩13-42-1	☎0198-62-2395 F A X 0198-62-2395
松崎保育園	遠野市松崎町駒木24-50	☎0198-62-2826 F A X 0198-62-2826
土淵保育園	遠野市土淵町土淵3-53-3	☎0198-62-2458 F A X 0198-62-2458
青笹保育園	遠野市青笹町青笹11-22-4	☎0198-62-2022 F A X 0198-62-2022
上郷保育園	遠野市上郷町板沢11-6-2	☎0198-65-2030 F A X 0198-65-2030

(5) 遠野市教育委員会機構図（平成26年4月1日現在）



(6) 平成26年度遠野市教育行政推進の基本方針

平成26年3月遠野市議会定例会が開会されるに当たり、平成26年度の教育行政推進の基本方針について申し述べます。

はじめに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災からまもなく3年経とうとしております。改めて、亡くなられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、今なお、不自由な生活を余儀なくされているみなさまに、心からお見舞い申し上げます。

平成25年3月31日に、これまで地域とともに歩んできた歴史ある中学校8校が閉校して、平成25年4月1日、新しい中学校3校が開校しました。

平成25年4月から生徒は、新しい友達や先生との出会い、スクールバスでの通学、新しい環境での授業、クラブ活動や学校行事などを通じて、互いに切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っております。

中学校再編によって、地域に中学校が無くなることで、地域行事への参加が難しくなるのではとの懸念もありましたが、学校、保護者、地域の協力によって、積極的に地域行事などへ参加することができました。

地域の方々との関わりの中で得られる経験は、児童生徒の人間形成に好ましい影響を与えるとともに、人間性を豊かにするものと確信しておりますので、今後とも、学校、保護者、地域の連携を強めて、それぞれの地域の特色ある文化や芸能を大切に、自ら地域の一員として守り育てていく心を育む学校運営に努めてまいります。

また、東日本大震災の被災体験を踏まえ、児童生徒が自らの未来を切り拓く力を育む「復興教育」をさらに推進するとともに、遠野の宝である児童生徒が、ふるさと遠野に夢と誇りを持ち、将来における多くの難問・課題を克服し、郷土遠野、日本、さらには世界を舞台に、その発展に貢献することができる人材となるよう、一層の教育振興の施策の推進に取り組んでまいります。

子育て対策として、平成26年度に市が策定する「子育てするなら遠野構想」の一翼を担う教育行政の面で、幼児期から小中学校、高等学校、さらには社会教育をも含め、教育全体における総合的な環境の整備に取り組み、子どもたちを取り巻く社会の様々な環境の変化にも的確に対応できるよう努めてまいります。

以下、遠野市総合計画及び遠野市教育振興基本計画に沿って、平成26年度の主要な施策の概要について申し上げます。

第1は、就学前教育の充実についてであります。

幼児期は、生活や遊び等からの体験を通して、情緒的な発達や知的な発達、あるいは社会性を涵養するというような、人間としてより良く生きるための基礎を培うための大切な時期ですので、幼児の生活の場である家庭や地域、そして幼稚園、保育所等との連携、さらには就学に向けて、小学校との情報共有や相互理解を深める積極的な連携、交流の場を確保してまいります。

また、教育の機会均等を確保するため、引き続き、就学前教育における保護者の保育料負担の軽減を図り、幼稚園教育の振興に努めてまいります。

幼児の内面に働きかけ、一人一人の良さや可能性を見いだし、その芽を伸ばしていくためには、多様なニーズに応え、より質の高い教育と保育を受けることができるよう、また、保護者が自由に園を選択できる環境を継続するため、三つの公立保育所幼稚園の「認定こども園」化に向けた取り組みを推進し、保護者や地元住民との検討や遠野市保育協会との協議を重ねてまいります。

第2は、学校教育の充実についてであります。

まずは、教育内容の充実について申し上げます。

平成26年度も引き続き、児童生徒の「生きる力」を育むため、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」に向けた取組を進めてまいります。

そのために、「基礎的な知識・技能の習得及び課題解決のための思考力等の育成」「豊かな心の育成」「健やかでたくましい心身の育成」の3つの視点で、次の5項目に重点を置き、教育内容の充実に努めてまいります。

重点の1つ目は、「学力向上の推進」であります。

今年度体制構築したそれぞれの中学校区において、小中学校が連携し、義務教育9カ年に渡り、学力向上の推進を実施してまいります。教育委員会としましては、学校教育専門員や指導主事の学校への派遣、各種研修会の開催などを引き続き実施し、教員の授業力の向上を支援してまいります。

また、児童生徒の基礎的な知識・技能の習得には、基本的な生活習慣や家庭学習を含む学習習慣の確立が重要であることから、家庭の理解と協力を得ながら、望ましい学習習慣づくりを目指してまいります。

重点の2つ目は、「特別支援教育の充実」であります。

平成26年度は、小友小学校、青笹小学校、上郷小学校に、新たに特別支援学級が開設されることから、小学校9校、中学校3校に、特別支援学級が設置されることになります。

加えて、各学校の通常学級に在籍する、特別な支援が必要な児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えられるよう、引き続き特別支援教育支援員を配置し、より一層の支援体制を整えてまいります。

また、小中学校と県立花巻清風支援学校遠野分教室との一層の連携を図りながら、児童生徒の適切な就学支援を進めてまいります。

重点の3つ目は、「豊かな心を育む教育の推進」であります。

平成21年度から小学校で実施している「JFAこころのプロジェクト 遠野わらすっこ『夢の教室』」を引き続き実施し、児童の「夢」を育む教育を推進してまいります。

また、道徳教育、復興教育はもとより、学校行事における体験活動、読書活動など、

あらゆる教育活動を通じて、豊かな感性を育み、命と思いやりの心を大切にする教育を推進してまいります。

特に、道徳の時間は、自己の生き方についての考えを深める大切な領域と捉え、保護者や地域と一緒に心の教育を考える「公開講座」を継続して実施してまいります。

さらに、いじめや不登校などの問題については、今後も保護者を対象としたアンケート調査を実施するとともに、多様化する生徒指導上の問題に対処するため、各学校の教育相談体制への支援を図り、スクールカウンセラーや外部機関とも積極的に連携しながら、問題の早期発見、早期解決を目指してまいります。

重点の4つ目は、「特色ある学校づくりの推進」であります。

小中学校が、それぞれの校長のリーダーシップのもと、地域の特性や児童生徒の実態に応じ、創意工夫を生かした教育活動を展開していく「特色ある学校づくり事業」を推進してまいります。

そして、重点の5つ目は、「学校経営の質的向上」であります。

小中学校が、それぞれの学校経営において、特に重視すべき取組についての具体的な目標を「まなびフェスト」として設定し、学校、家庭、児童生徒、地域が目標を共有して達成に努めるとともに、学校評価を通して、学校経営のさらなる充実に取り組んでまいります。

次に、教育環境の充実について申し上げます。

学校施設の整備については、引き続き、児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備を進めてまいります。

遠野中学校は、Ⅱ期工事として多目的ホール・音楽室棟の工事、遠野西中学校は、旧宮守学校給食センターを多目的教室棟として使用するための大規模改造工事や屋外照明施設の整備を行います。

附馬牛小学校は、旧附馬牛中学校を小学校校舎として使用するための大規模改造工事を行います。

また、通学対策では、スクールバスによる安全かつ効率的な運行に努めるとともに、教材の整備、就学援助など、質の高い教育を支える学習環境の向上を引き続き図り、地域の特性を活かした人材を育成するため、市内県立高校との連携を深めてまいります。

次に、学校給食の充実について申し上げます。

高度な衛生システムを備えた総合食育センターは、開設2年目を迎えますが、調理配送業務委託業者、食材納入業者及び学校との連携を十分に図りながら、安全衛生管理の徹底に努めるとともに、給食メニュー、調理方法に工夫を加え、おいしい給食の提供に努めてまいります。

地産地消の推進については、遠野市産直給食会と連携を図り、地元食材の安定的な

供給と利用拡大に努めてまいります。

また、児童生徒が、学校給食を通して郷土の食文化や地域の農産物への理解を深める「遠野まるごと給食」を引き続き実施するとともに、栄養教諭による学校訪問を積極的に実施し、「食育」と「健康教育」の一層の推進を図ってまいります。

第3は、社会教育の充実についてであります。

社会教育については、市民協働の視点を大切にしながら、市民のみなさんがともに学び、ともに活動できる生涯学習の環境づくりを、遠野市教育文化振興財団と連携しながら進めてまいります。

また、芸術文化活動の活性化を図るため、平成26年度から民間ならではの手法を取り入れ、市主催の公演事業や遠野物語ファンタジーの制作支援等についても、同財団と連携しながら進めてまいります。

地区公民館として位置づけされている各地区センターにおいては、生涯学習講座を社会教育関係団体等と連携しながら進めてまいります。

また、児童生徒の「知・徳・体」を総合的に育む人間形成には、学校教育のみならず、家庭や地域社会がそれぞれの教育的機能を発揮し、学校と一体となって児童生徒の教育に当たることが重要となります。このことから、家庭や地域社会の教育力の充実を図るため、児童生徒、親、学校、地域、行政の5者が連携し、教育振興運動の共通課題に取り組んでまいります。

読書活動の推進については、市内小学校単位で組織されている地域教育協議会の実践活動を支援してまいります。家庭学習の充実については、「放課後子ども教室」を継続して実施し、家庭学習の習慣化による学習意欲の向上を目指してまいります。

さらには、ふるさとの良さを発見し、郷土に誇りを持って成長できるための活動、友好都市との交流活動などを通じて、人との関わり方やふるさとを愛する心を育ててまいります。

また、国際性豊かな「世界に羽ばたく遠野人」の育成を図るため、遠野市教育文化振興財団が行うアメリカ合衆国・テネシー州チャタヌーガ市への中学生派遣事業を支援してまいります。

第4は、スポーツの振興についてであります。

スポーツは、市民の健康増進をはじめ、子どもたちの心身の健全な発達に重要な役割を果たしています。

市民の健康づくり活動を推進するため、日常的に生涯にわたってスポーツに親しむことを目指す「健康づくり総合プログラム」の実践を引き続き推進してまいります。

子どもの体力向上については、幼児を対象としたリズム体操をはじめとする運動教室の実施や、体力向上月間を各小学校と連携しながら設定し、生活習慣の改善に努めるとともに、スポーツ・運動することの楽しさを子どもに伝えられるよう、スポーツ・運動の普及を進めてまいります。

また、スポーツ少年団等の活動の促進及び指導体制の強化を図りながら、経験豊かな指導者やトップアスリートを招き、ジュニアスポーツの競技力の向上に努めてまいります。

第5は、文化財の保存と継承についてであります。

文化財は、先人の営みを知る大切な遺産であることから、これを後世に確実に継承していくことを基本に据え、文化財への理解と関心を深める学習機会の充実を図ってまいります。

また、本年度公有化した国指定重要文化財の「千葉家住宅」は、修理と保存に向けた取り組みを推進し、伝承園にある「菊池家住宅」は、復元修理を行い、貴重な文化財の保護を図ってまいります。

以上、平成26年度の教育行政推進に関する基本的方向と主要な施策の概要について申し述べました。

教育は「未来」をつくるものであります。子どもたちが、自分の将来をしっかりと見据え、夢と志をもって、力強く生き抜いていくことができるよう、「生きる力」を身につけさせることこそが、教育の役割であり、使命であります。

教育委員会では、市長部局との相互補完の関係を一層深め、引き続き学校現場、地域とより密着した「活動する教育委員会」として、子どもたちの豊かな学びを創造し、遠野の未来を担う人づくりに邁進してまいりますので、議員各位、そして市民のみなさまの御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

(7) 教育予算（教育委員会部局関連）の概要

○平成26年度遠野市一般会計・歳入歳出当初予算

歳 入		(単位：千円、%)	
科 目	予 算 額	構 成 比	
市 税	2,478,317	13.8	
地 方 譲 与 税	284,000	1.6	
利 子 割 交 付 金	3,600	0.0	
配 当 割 交 付 金	2,000	0.0	
株式等譲渡所得割交付金	400	0.0	
地方消費税交付金	272,000	1.5	
自動車取得税交付金	29,000	0.2	
地方特例交付金	4,000	0.0	
地方交付税	7,892,167	44.0	
交通安全対策特別交付金	3,778	0.0	
分担金及び負担金	138,684	0.8	
使用料及び手数料	334,384	1.9	
国庫支出金	1,906,977	10.6	
県 支 出 金	1,312,394	7.3	
財 産 収 入	22,421	0.1	
寄 附 金	4	0.0	
繰 入 金	726,214	4.1	
繰 越 金	1	0.0	
諸 収 入	635,159	3.6	
市 債	1,884,500	10.5	
歳 入 合 計	17,930,000	100.0	

歳 出		(単位：千円、%)	
科 目	予 算 額	構 成 比	
議 会 費	177,868	1.0	
総 務 費	2,867,026	16.0	
民 生 費	4,620,359	25.8	
衛 生 費	1,521,140	8.5	
労 働 費	79,579	0.5	
農 林 水 産 業 費	1,380,832	7.7	
商 工 費	737,990	4.1	
土 木 費	1,673,089	9.3	
消 防 費	521,923	2.9	
教 育 費	1,762,382	9.8	
災 害 復 旧 費	40,000	0.2	
公 債 費	2,527,811	14.1	
諸 支 出 金	1	0.0	
予 備 費	20,000	0.1	
歳 出 合 計	17,930,000	100.0	

○教育費等の予算の内訳

単位：千円

款 項	目	26年度予算額	所 管 課
10 教育費		1,720,133	
1 教育総務費		215,627	
	1 教育委員会	3,246	教 務 課
	教育委員会費	3,246	
	2 事務局費	156,501	
	①事務局職員人件費	89,417	
	②事務局一般事務費	22,592	
	小 計	112,009	
	①学校教育一般事務費	2,312	学校教育課
	②文化行事奨励費	277	
	③外国人講師招へい事業費	5,184	
	④就学指導委員会費	148	
	⑤特色ある学校づくり事業費	2,473	
	⑥平成・南部藩寺子屋交流事業費	915	
	⑦特別支援教育推進事業費	17,008	
	⑧遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	1,338	
	⑨いわての復興教育学校支援事業費	600	
	小 計	30,255	
	①私立幼稚園運営費補助金	1,018	子育て総合 支援センター
	②私立幼稚園就園奨励事業費	10,893	
	③私立幼稚園保育料助成事業費	2,326	
	小 計	14,237	
	3 教育研究所費	11,160	学校教育課
	①教育研究所費	54	
	②学力向上対策事業費	11,106	
	小 計	11,160	
	4 育英事業費	44,720	教 務 課
	育英事業費（貸付金含む） （継続分：61人【大学等61人】 新規分：35人【大学等30人・高校5人】）	44,720	
2 小学校費		243,072	
	1 学校管理費	168,608	
	①学校管理関係職員人件費	60,437	
	②小学校管理費	98,253	
	③学校保健管理費	9,918	
	小 計	168,608	

款 項	目	26年度予算額	所 管 課	
2 小学校費	2 教育振興費	66,018	教 務 課	
	①通学対策費	36,071		
	②教材整備費	16,098		
	③就学援助費	11,575		
	④特別支援教育関係費	1,361		
	小 計	65,105		

	①体育・文化行事奨励費	913	学校教育課	
	小 計	913		
	3 学校建設費	8,446	教 務 課	
①プール改修整備事業費	8,446			
小 計	8,446			
3 中学校費		180,501	教 務 課	
	1 学校管理費	70,016		
	①学校管理関係職員人件費	17,759		
	②中学校管理費	46,937		
	③学校保健管理費	5,320		
	小 計	70,016		
	2 教育振興費	79,491		
	①通学対策費	50,014		
	②教材整備費	9,235		
	③就学援助費	15,406		
	④特別支援教育関係費	713		
	小 計	75,368		

①体育・文化行事奨励費	4,123	学校教育課		
小 計	4,123			
3 学校建設費	30,994	教 務 課		
①遠野中学校改築整備事業費	15,333			
②プール改修事業費	4,511			
③遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	11,150			
小 計	30,994			
4 幼稚園費		11,650	子育て総合 支援センター	
	1 幼稚園費	11,650		
	①幼稚園関係職員人件費	7,523		
	②幼稚園運営事業費	4,127		
小 計	11,650			

款 項	目	26年度予算額	所 管 課
5 社会教育費		499,502	
	1 社会教育総務費	159,837	生涯学習スポーツ課
	①社会教育総務関係職員人件費	89,934	
	②生涯学習一般事務費	375	
	③生涯学習のまちづくり推進費	38,141	
	④青少年活動サポート事業費	1,664	
	⑤芸術文化振興事業費	9,691	
	⑥と・お・のいきいき参画プラン推進事業費	489	
	⑦都市交流推進事業費	4,845	
	⑧放課後子どもプラン推進事業費	3,256	
10款1項2目 事務局費	⑨地域教育文化振興事業費	766	
3款1項3目 老人福祉費	⑩老人クラブ育成指導費	2,914	
3款2項1目 児童福祉総務費	⑪青少年健全育成活動事業費	3,597	
5款1項1目 勤労青少年ホーム管理費	⑫勤労青少年ホーム運営事業費	4,165	
	小 計	159,837	
	2 公民館費	99,788	市民協働課
	①公民館関係職員人件費	47,570	
	②公民館一般管理費	34,605	
	③文化交流施設管理費	17,613	
	小 計	99,788	
	4 図書館博物館費	123,454	遠野文化研究センター文化課
	①文化課職員人件費	49,676	
	②図書館・博物館一般管理費	20,833	
	③図書館費	24,809	
	④博物館費	18,114	
	⑤視聴覚教育振興費	503	
	⑥遠野蔵の道ギャラリー管理費	3,179	
	⑦宮守ゆうYOUソフト館管理費	3,388	
	⑧ブックスタート事業費	400	
	⑨加守田章二陶房跡管理費	284	
	⑩遠野市立博物館映像等整備事業費	2,268	
	小 計	123,454	
	5 文化財調査保護費	116,423	遠野文化研究センター文化課
	①文化財調査保護費	2,810	
	②埋蔵文化財発掘調査費	10,325	
	③遠野遺産認定事業費	2,544	
	④まちなか・ドキ・土器館管理費	1,454	
	⑤旧菊池家住宅茅葺屋根改修事業費	43,005	
	⑥重要文化財千葉家住宅管理費	10,562	
	⑦重要文化財千葉家住宅整備事業費	45,723	
	小 計	116,423	

款 項	目	26年度予算額	所 管 課
6 保健体育費		569,781	
	1 保健体育総務費	44,035	生涯学習スポーツ課
	①保健体育総務関係職員人件費	20,844	
	②スポーツ振興一般事務費	6,797	
	③競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	11,722	
	④岩手国体準備事業費	4,672	
	小 計	44,035	
	2 学校給食費	282,096	学校給食センター
	①学校給食センター職員人件費	31,887	
	②学校給食事業費	208,033	
	③ふるさと食材給食事業費	1,800	
	④総合食育センター管理費	40,376	
	小 計	282,096	
3 体育施設費	243,650	市民協働課	
①体育施設管理費	98,771		
②岩手国体サッカー会場整備事業費	144,879	生涯学習スポーツ課	
小 計	243,650		
2 総務費		8,000	
1 教育総務費	5 財産管理費	8,000	教 務 課
	①公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）	6,000	
	②公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）	2,000	
小 計	8,000		
4 衛生費		4,181	
1 保健衛生費	3 健康づくり推進事業費	4,181	生涯学習スポーツ課
	健康スポーツプログラム推進事業費	4,181	
小 計	4,181		

3 地域教育協議会

(1) 設立の背景

教育基本法（平成18年法律第 180号）第13条に規定する「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」を図るため、岩手県教育委員会では、「いわて型コミュニティ・スクール構想」による学校経営改革の推進を図っている。

合併前の遠野市では、平成14年度から各町に地域教育協議会を設立し、小・中学校の地域教育を推進しており、平成17年の合併後は、遠野市地域教育協議会連絡会（会長：教育長）を設立し、各町の地域教育協議会の相互連携による情報交換、教育委員会からの情報提供等を行い、「開かれた学校づくり」を推進している。

現在は、市内全域（11小学校区単位）に地域教育協議会が設立されている。

(2) 地域教育協議会の役割

地域教育協議会は、地域内で教育活動等を行っている幼稚園、保育所、学校及び各関係団体が、それぞれの活動を紹介しあいながら、相互の理解と協力のもとに活動しやすい環境をつくるとともに、地域の教育力を押し上げるため、次のような活動を行っている。

ア 地域教育協議会の開催

学校は地域に運営方針を伝え、また、地域は希望や考え方を述べ、地域教育協議会がこれらを調整し、地域や団体が活動を推進する。会議は、年に2～3回開催している。

イ 地域教育協議会活動方針

地域で育む「心豊かでたくましい子どもたち」

①伝統や文化、自然などの地域資源を活かした体験活動を通して、ふるさとを愛する子どもを育てます。

②家庭、学校等と連携し、地域全体で子どもを育て、地域の教育力向上を目指します。

ウ 事業の推進

① 共通取組事項の設定

市全体の取組事項を設定し、各地域教育協議会が取り組む。

- ・「早寝・早起き・朝ごはんの推進」
- ・「読書活動の推進」
- ・「とおの家族の日（毎月第3日曜日）の推進」

② 推進方針の設定

推進方針を設定し、地域内への周知を図りながら、各関係団体や地域住民が共通して活動を実践する。

③ 活動内容の整理

重点項目を定めている地区や、地域内で開催される事業を整理して情報を共有している。

④ 地域教育協議会機関紙の発行

地域教育協議会の活動を地域の方々に理解していただくため、年に2～3回機関紙を発行している。

エ 協力体制の確立

各関係団体で情報を交換しながら、同じ活動を推進することができるため、関係団体間の協力体制が確立される。市全体としては、地域教育協議会連絡会を年3回開催し、活動の紹介や情報交換を行っている。

オ 活動の効果

地域教育協議会は、学校や団体にとっては応援隊に、地域住民にとっては地域活動の推進隊となる。学校と地域団体が互いの方針や活動内容を理解することにより、学校は地域住民の理解のもとに教育活動を進めることができ、地域団体はその活動内容を地域住民に周知することができ、活動がしやすくなる。

また、児童・生徒が世帯にいない家庭でも、学校活動に参加する機会ができる。

(3) 地域教育協議会の構成員

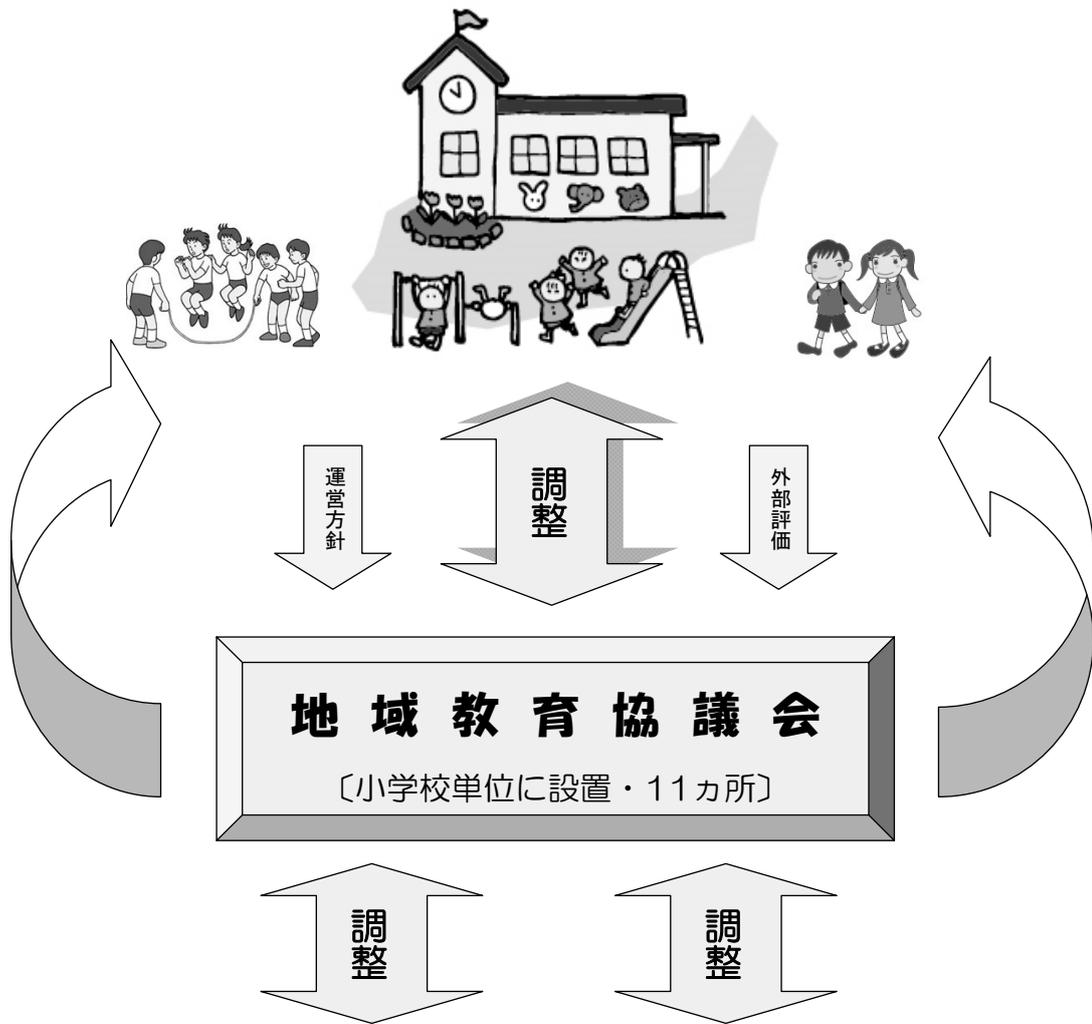
地域教育協議会は、おおむね次のような構成となっている。

- 学校等 幼稚園・保育所、小学校、中学校、児童館
- 家庭 PTA、幼稚園・保育所保護者会
- 地域 地域づくり連絡協議会、区長会、スポーツ少年団指導者、少年委員、民生児童委員、郷土芸能指導者等
- 行政 地区センター

(4) 地域教育協議会の運営

各町の地域教育協議会は、会長、副会長、事務局長等を置き、年に3回程度の会議を開き、運営に関する意見交換を行っている。また、構成員は、会議で話し合われた結果を持ち帰り、それぞれの団体等の活動に反映させている。

また、事務局は、学校と地区センターが協力して担っている。



学校支援活動に参加する意欲のある地域の方々

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が行う学習活動への支援
例：地域料理
読み聞かせ
部活動指導
芸術・文化活動支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 校内環境整備の支援 ○ 樹木の剪定、草刈り等
【登下校時の安全管理】 ○ 登下校中における見守りと安全指導
【その他】 ○ 学校が地域に協力してもらいたいこと |
|--|--|



【A校の例】

読書推進：読み聞かせボランティア、標語募集、ステッカー作成配布
昔の遊び：みずき団子づくり、昔の遊び、雪中田植え
PTA文集：地区にも原稿依頼、全戸配布

【B校の例】

祭り参加：学校として御輿の参加
地域行事：地区センターでみずき団子づくり（世代間交流）
見守り：交通安全母の会、人権擁護委員の見守り活動

4 学校教育

(1) 平成 26 年度 遠野市「学校教育指導指針」

I 遠野市「学校教育目標」

知・徳・体のバランスのとれた人間形成
～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～

「遠野・日本・世界の発展に貢献する人材」とは、グローバル社会にあって、世界で通用する人材のことであり、次のような人間となることを指す。

- ① 幅広い知識と柔軟な思考力を身に付けた人間
- ② 価値観や言語の違う人々とも理解し合えるコミュニケーション能力を身に付けた人間
- ③ よく考え、自信を持って自分の意見を発信できる人間
- ④ 自分の特性にあった進路を選択し、社会で活躍できる人間
- ⑤ 夢や希望を持ち、難問課題を克服するために努力できる人間
- ⑥ 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心を持った人間
- ⑦ 心身ともに健康で、たくましく未来を切り拓いていく人間

【遠野市「学校教育目標」設定の理由】

1. 時代背景から

社会情勢

21 世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代である。知識基盤社会の特質としては、〔①知識には国境がなく、グローバル化が一層進む ②知識は日進月歩であり、競争と技術革新が絶え間なく生まれる ③知識の進展は旧来のパラダイム（一時代の支配的な物の見方）の転換を伴うことが多く、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる〕などが挙げられる。

このような社会では、知識を更新する能力が重要であり、パラダイムの転換に少しずつではなく一挙に対応する力が求められる。

日本の児童生徒の実態

OECD（経済協力開発機構）の PISA 調査などの調査から、〔①思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式問題、知識・技能を活用する問題 ②読解力で成績分布の分散が拡大しており、その背景には家庭での学習時間などの学習意欲、学習習慣・生活習慣 ③自分への自信の欠如や自らの将来への不安、体力の低下〕といった課題が見られた。

文部科学省（国）の方針

このような時代を担う子どもたちに必要な能力こそ「生きる力」である。生きる力とは、①基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、②自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、③たくましく生きるための健康や体力などである。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とこれらを活用する力の育成をいわば車の両輪として伸ばしていくことが必要である。

2. 遠野市内児童生徒の実態から（全国学力・学習状況調査質問紙、各小中学校研究計画等から）

【長所】

- ① 学習態度は、授業中の私語もなく落ち着いている。
- ② 明るく素直でまじめな子どもたちである。
- ③ 勉強の大切さや分かるようになりたいという意識は高い。

【課題】

- ① 教科の勉強が好きであるという児童生徒の割合が低い。
- ② 教科の授業内容がよく分かるという児童生徒の割合が低い。
- ③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得、活用ともに課題があり、学年があがるにつれて課題が大きくなり、学力の二極化が進んでいる。
- ④ 家庭での時間活用に課題がある。（テレビ視聴時間）
- ⑤ 学習態度は、受け身であり主体性や学習意欲に欠ける。
- ⑥ 自分の考えに自信が持てず、考えを表現することを苦手としている。
- ⑦ 固定化された人間関係の中で生活しており、切磋琢磨しながら向上しようという姿勢にかける。

Ⅱ 遠野市「学校教育目標達成に向けた視点」

1. 学習や生活の基礎力を身に付けた子どもの育成
2. 豊かな心をもつ子どもの育成
3. 心身ともに健康でたくましい子どもの育成

Ⅲ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取り組みの重点」

1. 学力向上の推進

(1) 確かな学力の育成（基礎的・基本的な知識・技能の習得とその活用、学習意欲）

9年間の義務教育を終え、社会に出たときや高等学校に進学したときに、困らない学力を確実に身に付けさせること。

【指標】 諸調査において、全国平均・岩手県平均を上回る。

遠野市総合計画 後期基本計画 まちづくり指標 H26年度 小：県平均+1.9 中：県平均+0.8

※岩手県学習定着度状況調査の推移（全実施教科の平均点）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
岩手県小学校	76.0	77.0	76.0	71.2	67.4	68.7	68.5	70.5	71.7	70.9
遠野市小学校	73.0	74.0	75.0	71.8	65.5	70.1	71.6	72.6	71.1	72.6
県との差(小)	-3.0	-3.0	-1.0	0.6	-1.9	1.4	3.1	2.1	-0.6	1.7
岩手県中学校	66.0	67.0	66.0	64.9	59.6	59.7	59.4	60.9	57.4	60.8
遠野市中学校	62.0	65.0	65.0	65.7	58.9	59.7	59.6	58.4	54.4	57.9
県との差(中)	-4.0	-2.0	-1.0	0.8	-0.7	0.0	0.2	-2.5	-3.0	-2.9

※全国標準学力検査（NRT）の推移（全実施教科の平均偏差値）

遠野市総合計画 後期基本計画 まちづくり指標 H26年度 小：53.4 中：50.7

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
遠野市小学校	—	—	51.5	52.7	52.7	53.2	52.2	52.5	53.4	53.4
遠野市中学校	—	—	49.6	50.2	49.8	50.3	49.3	49.1	48.5	47.7

(2) 児童生徒にとって「よく分かる授業」の実践

【指標】 児童生徒の意識調査で「授業がよく分かる」と回答する児童生徒の割合の向上を図る。

※岩手県学習定着度状況調査

（「学校の授業がどのくらいわかりますか」 数字は%）

学 年	小4				小5				中1				中2			
	H22	H23	H24	H25												
よく分かる	26.7	48.9	51.1	60.6	23.4	47.6	55.8	45.2	13.3	34.3	29.9	35.5	9.4	26.3	30.6	24.3
だいたい分かる	61.0	42.7	39.5	34.5	65.3	43.4	35.5	45.4	67.1	47.1	48.8	48.0	63.2	49.3	48.6	49.5
分からないことが多い	10.7	5.0	8.0	3.9	10.5	7.9	6.9	8.2	17.6	14.8	15.6	13.8	23.3	19.0	15.3	18.4
ほとんど分からない	1.5	2.6	1.4	1.0	0.8	0.6	1.0	1.2	2.0	3.3	4.5	2.7	4.1	5.3	5.2	7.9

※合計が100にならないのは無回答があったため

(3) 家庭学習の工夫（宿題中心の家庭学習への転換、週末課題の実施）

【指標】 中学3年生になった時点で、全員が2時間以上の家庭学習が実施できる力を発達段階に応じて育てる。

※岩手県学習定着度状況調査

（「平日に学校の授業以外で、一日にどのぐらい勉強しますか」 数字は%）

学 年	小4				小5				中1				中2			
	H22	H23	H24	H25												
3時間～	2.2	1.3	0.4	3.2	1.8	0.9	1.3	2.3	1.9	0.8	2.0	1.8	1.4	0.8	0.4	4.9
2時間～	6.4	6.2	5.8	10.4	5.9	7.1	8.8	5.0	11.2	12.2	16.3	3.6	8.5	8.5	19.9	7.4
1時間～	30.2	27.6	25.6	48.6	40.6	49.1	49.1	41.0	44.6	56.6	47.4	22.7	39.5	46.1	52.1	34.4
30分～	48.6	54.2	59.6	29.3	41.9	36.2	35.8	46.8	30.9	25.3	25.5	45.5	34.0	32.8	22.9	42.2
30分未満	8.9	6.7	6.7	6.3	7.1	4.0	2.7	4.5	8.2	3.4	6.8	20.9	9.8	6.5	3.0	9.8
ほとんどしない	3.7	4.0	1.8	2.3	2.7	2.2	2.2	0.5	3.2	1.7	0.4	5.5	6.8	5.3	1.7	1.2

※合計が100にならないのは無回答があったため

(4) 家庭生活の指導

【指標】 平日1日のテレビ視聴時間を短縮する。テレビを見ながら等の「ながら勉強」を解消する。

※全国学力・学習状況調査

（「月～金曜日、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか」 = 3時間以上と答えた割合）

年 度	H19	H20	H21	H22	H24	H25
全国小学校	34.3	46.1	45.7	43.3	42.7	38.6
岩手県小学校	38.9	51.7	50.9	47.5	42.0	40.1
遠野市小学校	42.4	52.2	51.9	54.6	47.6	50.6
全国との差	8.1	6.1	6.2	11.3	4.9	12.0
全国中学校	39.6	33.1	38.0	36.5	32.5	29.7
岩手県中学校	47.6	40.1	44.9	42.5	34.4	32.4
遠野市中学校	49.5	39.0	47.5	41.1	37.1	33.1
全国との差	9.9	5.9	9.5	4.6	4.6	3.4

※平成23年度は調査として実施せず

(5) 適度なスポ少活動・部活動の実施

【指標】 休養日を設定する。1日の活動時間を設定する。

(6) 学校教育専門員、指導主事の派遣による授業改善

市内全小中学校で1年間に3回以上の全体授業研究会を実施し、授業改善を進める。また、中学校の数学担当教員については、1年に2回以上、学校教育専門員の指導を受ける。

(7) 学力向上対策会議（年3回）及び学力向上研究員部会（年6回）の実施（教育研究所主催 後述）

学力向上対策会議：学力向上研究員部会長（副校長）及び各学校の教務主任・研究主任で構成

学力向上研究員部会：中学校区ごとに開催。運営委員1（中学校区校長）、部会長1（中学校区副校長）、研究主任で構成

※(1)～(6)については、教育委員会が示した指標を意識し、各小中学校で数値目標を設定する。

2. 特別支援教育の充実

(1) 特別支援教育支援員の配置

市内小中学校に 16 名を配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援体制を構築する。

(2) 学習指導講師の配置

教育委員会等に 1 名配置し、通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学習支援及び発達上の課題改善に向けた支援等を行う。

(3) 就学指導委員会の充実

教育委員会は、1 年に 3 回の就学指導委員会と就学相談（適宜）を開催し、障がいのある児童生徒とその教育に対する正しい理解を進め、適切な教育上の判断や支援を促進する。

市内各学校は、特別支援教育推進会議（教育委員会主催）への参加及び定期的な就学指導委員会の開催等を通じて、特別支援教育の充実を図る。

3. 豊かな心を育む教育の推進

(1) 道徳教育全体計画の作成及び道徳地区公開講座の実施

全小中学校が作成、実施する。

(2) JFA ころのプロジェクト遠野わらすっこ「夢の教室」の実施

今年度は、市内 5 小学校で 7 回実施する。

(3) 文化行事奨励事業への支援

小中学校児童生徒作品展等への支援を実施する。

(4) 平成・南部藩寺子屋交流事業の実施

市内全小学校の 6 年生児童 26 人(予定)で実施（遠野小・遠野北小は 4 名、他の小学校は 2 名）

(5) いじめ・不登校の撲滅

年 2 回以上、「いじめアンケート（児童生徒・保護者）」を実施し、実態を把握し、生徒指導上の問題（課題）解決を図る。

(6) 情報モラル教育の徹底

情報モラル教育の推進を図る。

4. 特色ある学校づくりの推進

(1) 校長のリーダーシップのもと、特色ある学校づくり事業を推進する。

全小中学校で事業を実施する。

5. 学校経営の質的向上

(1) 「まなびフェスト」の設定と目標の共有

市内全小中学校で「まなびフェスト」を設定し、学校、児童生徒、家庭、地域で目標を共有し目標の実現に向けて組織的な取り組みをすることにより、学校経営の質的改善を図る。

(2) 学校評価の充実

学校評価を通して学校経営を見直し、経営の質的改善を図る。

(3) 教員の研修機会の充実

自校以外での、1 人 1 研修以上の参加（遠野市教育研究所発表会を含まない）を進める。

(4) 学校懇談会の実施

(5) 教務主任会議の実施

(2) 遠野市「学校教育構想図」

遠野市「学校教育目標」

知・徳・体のバランスのとれた人間形成

～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～

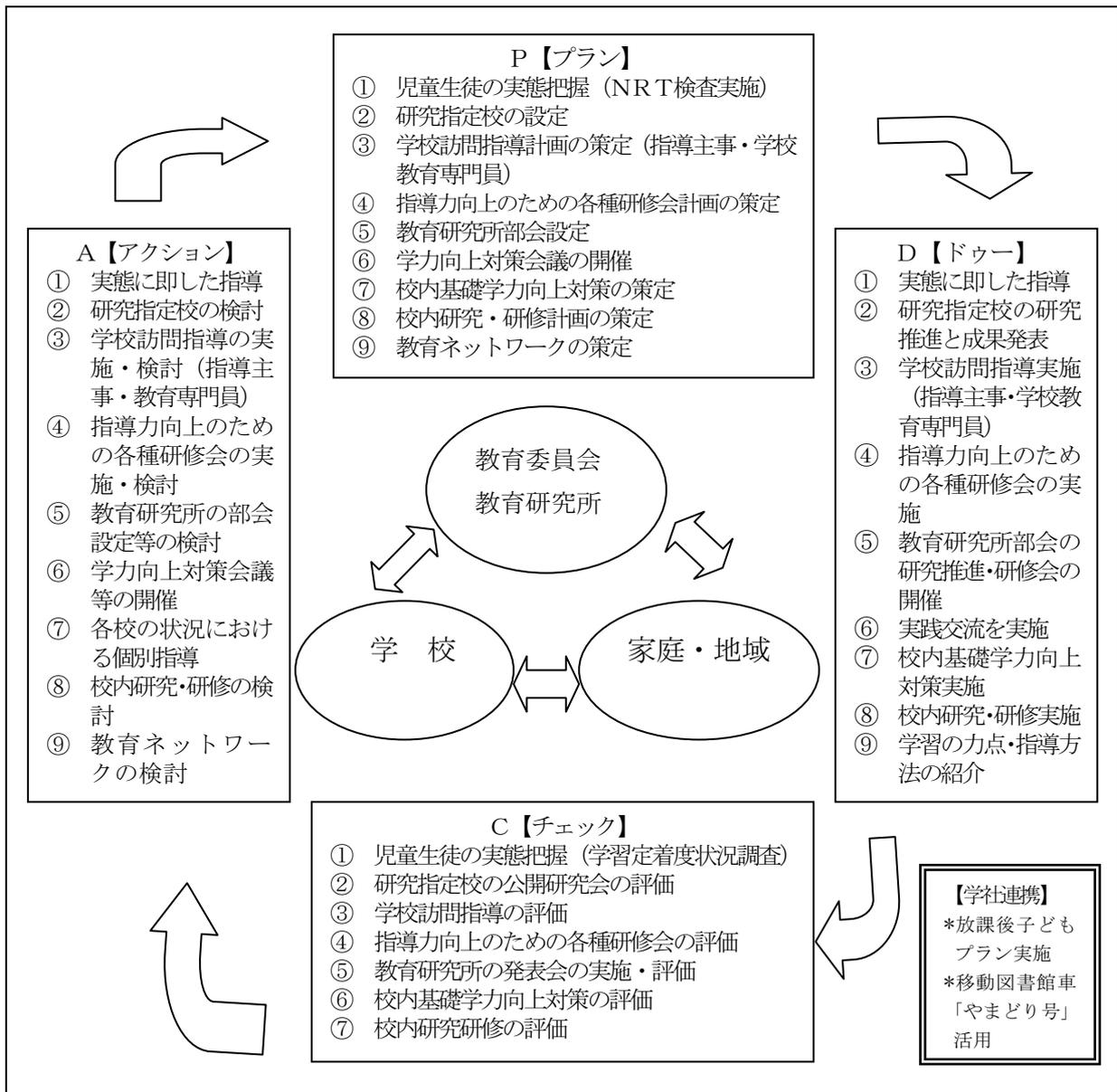


【取り組みの視点】

【取り組みの重点】

<p>1. 学習や生活の基礎力を身に付けた子どもの育成</p> <p>2. 豊かな心をもつ子どもの育成</p> <p>3. 心身ともに健康でたくましい子どもの育成</p>	<p>1. 学力向上の推進</p> <p>(1) 確かな学力の育成</p> <p>(2) 児童生徒にとって「よく分かる授業」の実践</p> <p>(3) 家庭学習の工夫（宿題中心の家庭学習への転換、週末課題の実施）及び家庭生活の指導</p> <p>(4) 適度なスポ少活動・部活動の実施</p> <p>(5) 学校教育専門員、指導主事の派遣による授業改善</p> <p>(6) 学力向上対策会議の実施</p>
	<p>2. 特別支援教育の充実</p> <p>(1) 特別支援教育支援員の配置</p> <p>(2) 学習指導講師の配置</p> <p>(3) 就学指導委員会の充実</p>
	<p>3. 豊かな心を育む教育の推進</p> <p>(1) 道徳教育全体計画の作成及び道徳地区公開講座の実施</p> <p>(2) JFAこころのプロジェクト遠野わらすっこ「夢の教室」の実施</p> <p>(3) 文化行事奨励事業への支援</p> <p>(4) 平成・南部藩寺子屋交流事業の実施</p> <p>(5) いじめ・不登校の撲滅</p> <p>(6) 情報モラル指導の徹底</p>
	<p>4. 特色ある学校づくりの推進</p> <p>(1) 校長のリーダーシップのもと、特色ある学校づくり事業を推進</p>
	<p>5. 学校経営の質的向上</p> <p>(1) 全小中学校での「まなびフェスト」を設定し、学校、児童生徒、家庭、地域が目標を共有</p> <p>(2) 学校評価を通して学校経営のさらなる向上</p> <p>(3) 教員の研修機会の充実</p> <p>(4) 学校懇談会の実施</p> <p>(5) 教務主任会議の実施</p>

「確かな学力」育成のための、「PDCA サイクル」による学習指導



(3) 学校一覧

平成26年5月調べ 注：()内は特別支援学級再掲

学 校 名	学級数	児童数 (人)	所在地	電話	創立年月	校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)				屋内運動場(㎡)		屋外運動場 (㎡)	教室数(室)			プール(㎡)	
							鉄筋コンク リート造	鉄骨造	木造	計	面積	構造		普通	特別	計	面積	構造
遠野小学校	14(2)	290(4)	遠野市東館町11-28	62-3231	明治6年5月	24,951	5,340			5,340	1,092	木造	13,870	14	10	24	325	RC
遠野北小学校	14(2)	324(4)	遠野市松崎町白岩字薬研淵43	62-2030	昭和46年4月	21,069	3,263	147	276	3,686	1,273	木造	8,948	14	8	22	400	AL
綾織小学校	5	72	遠野市綾織町下綾織13-13-5	62-2803	明治6年12月	19,039			2,348	2,348	860	鉄筋コンクリート造	9,003	5	9	14	400	ST
小友小学校	6(2)	47(5)	遠野市小友町16-133	68-2220	明治7年12月	18,652	1,854	34		1,888	715	鉄骨造	9,693	6	6	12	400	ST上屋有
附馬牛小学校	6(1)	51(1)	遠野市附馬牛町下附馬牛11-31-1	64-2220	明治7年10月	22,310	1,898		20	1,918	603	鉄筋コンクリート造	10,340	7	6	13	350	AL上屋有
土淵小学校	7(1)	88(1)	遠野市土淵町土淵6-1	62-2804	明治10年10月	24,269	2,256	37	14	2,307	702	鉄骨造	11,427	7	9	16	350	AL
青笹小学校	7(1)	134(1)	遠野市青笹町青笹11-1	62-2802	明治8年2月	24,705			2,936	2,936	1,074	鉄筋コンクリート造	10,354	7	10	17	350	AL上屋有
上郷小学校	7(1)	109(1)	遠野市上郷町佐比内46-56-1	65-2031	明治7年11月	17,127			3,107	3,107	900	木造	9,995	6	10	16	350	AL
宮守小学校	8(2)	100(6)	遠野市宮守町下宮守26-6	67-2135	明治7年	20,363	2,422	64		2,486	711	鉄筋コンクリート造	5,462	8	7	15	350	RC
達曾部小学校	6	51	遠野市宮守町達曾部15-10	67-6133	明治7年	32,083	886		1,474	2,360	600	鉄骨造	15,245	6	7	13	400	RC
鱒沢小学校	5(1)	43(1)	遠野市宮守町下鱒沢17-5	66-2270	明治7年	15,491	1,354	40		1,394	708	鉄骨造	6,602	5	5	10	425	RC
計		1,309(24)				240,059	19,273	322	10,175	29,770	9,238		110,939	85	87	172	4,100	
学 校 名	学級数	生徒数 (人)	所在地	電話	創立年月	校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)				屋内運動場(㎡)		屋外運動場 (㎡)	教室数(室)			プール(㎡)	
							鉄筋コンク リート造	鉄骨造	木造	計	面積	構造		普通	特別	計	面積	構造
遠野中学校	14(2)	419(2)	遠野市松崎町白岩11-30	62-2814	平成25年4月	41,666	4,021		2,202	6,223	1,738	鉄筋コンクリート造	17,842	14	11	25	400	RC
遠野東中学校	7(1)	151(1)	遠野市青笹町青笹10-16	62-2816	平成25年4月	30,353	485		2,033	2,518	854	木造	25,111	7	9	16	325	ST
遠野西中学校	6(1)	136(3)	遠野市宮守町下宮守39-65	67-2139	平成25年4月	30,104	2,779	33	10	2,822	975	鉄骨造	14,385	7	11	18	400	RC
計		706(6)				102,123	7,285	33	4,245	11,563	3,567		57,338	28	31	59	1,125	

※ 青笹小学校、遠野中学校屋内運動場の面積には地域学校連携施設分を含む。

(4) 市立保育所幼稚園、市立小中学校、県立高等学校要覧

遠野市立 宮守保育所幼稚園

所在地	〒028-0304 遠野市宮守町下宮守26-87-2		
電話	0198-67-2130	FAX	0198-67-2130
所長園長	山口 尚子	園児数	76名
		職員数	14名

●主な沿革

- 昭和35年 宮守村立宮守保育所開所
- 昭和56年 宮守村立宮守保育所新築移転
宮守村立宮守幼稚園新築開園
隣接敷地に建設し幼・保の質的一体化
運営を開始
- 平成7年 給水管取替工事
- 平成10年 宮守保育所乳児室増築工事
- 平成12年 空室を利用し放課後学童クラブを開始
- 平成14年 岩手県国公立幼稚園研究大会で「道徳
性の芽ばえをはぐくむ保育を考える」
を発表
- 平成17年 市村合併で遠野市立宮守幼稚園、遠野
市立宮守保育所と改称
遠野市総合施設研究フォーラム開催
宮守幼稚園・保育所公開保育シンポジ
ウム
暖房取替工事
- 平成19年 下水道切替工事
- 平成22年 給食調理室、休憩室改装工事
- 平成23～24年 園庭遊具取替修繕工事
- 平成25年 外灯増設

●地域の状況

本園は、山々に囲まれ、自然に恵まれた高台にあ
り、近くには宮沢賢治の名作「銀河鉄道の夜」のモ
デルとなったといわれている「めがね橋」がある。

家族の形態は、核家族が増えつつあるが、三世代
同居が多く、祖父母に対して敬愛の気持ちを持って
いる。

●保育・教育目標

- 心も体も生き生きとした子ども —
- ・健康で元気な子
 - ・よく感じよく考える子
 - ・思いやりのある子
 - ・自然に親しむ子

●本年度の研究主題

豊かな言葉をはぐくむための、幼児理解と援助の
在り方

●特色ある保育教育活動

- 1 保育所及び幼稚園を一体化し、それぞれの機能
を大切にしながらも、相互に長所を取り入れ補完
し合いながら地域の実状に即した幼児教育を目指
している。
- 2 一人一人を大切にし、生活や遊びの中で直接的
・具体的体験を重視した保育を行っている。
- 3 恵まれた自然環境を保育に多く取り入れている。
(散歩、泥んこ遊び、水遊び、紅葉、木の実、
木の葉、畑、野菜栽培、草花など)
- 4 特別養護老人ホームみやもり荘等との交流
- 5 宮守小学校、遠野西中学校との交流会

遠野市立 達曽部保育所幼稚園

所在地 〒028-0305
遠野市宮守町達曽部15-31
電 話 0198-67-6131 FAX 0198-67-6131

所長園長 米 内 優 子 園児数 28名
職員数 9名

●主な沿革

- 昭和37年 社会福祉協議会達曽部保育園開園
昭和52年 宮守村立達曽部保育所となる
昭和58年 宮守村立達曽部幼稚園、達曽部保育所一
体化運営開設
平成10年 宮守村立達曽部幼稚園 達曽部保育所と
宮守村立中斉保育所が統合
スクールバス運行開始
平成12年 空室を利用し、学童クラブを開設
平成17年 市村合併で遠野市立達曽部幼稚園、遠野
市立達曽部保育所と改称
平成18年 トイレの水洗化、施設内補修工事
平成21年 岩手県幼稚園教育課程研究協議会研究発
表で「特別な支援を必要とする幼児と他
の幼児が共に育ち合うためには、どのよ
うな計画的、組織的な指導の工夫が必要
か」を発表
平成23年 岩手県国公立幼稚園協議会 幼稚園研究
大会で「協同性をはぐくむ保育」を発表
平成23～24年 園庭遊具取替修繕工事
平成25年 乳児室、園児室にエアコン設置

●地域の状況

本園は、山々に囲まれ鳥の囀^{さえず}りが響きわたって
いる。名水が湧く稲荷穴があり、清流とわさびの
里として知られている。園内外は自然に恵まれて
いる。家庭環境は三世代、四世代家族が多く、幼
児は家庭の中でのびのび育てっており、明るく素直
である。父母や地域の方々には本園に対し理解、関
心は高く、協力的である。

●保育・教育目標

- 心も体も生き生きとした子ども —
- ・健康で元気な子
 - ・よく感じよく考える子
 - ・思いやりのある子
 - ・自然に親しむ子

●本年度の研究主題

聞く力、話す力、伝える力を育む保育を目指して
～自分の思いや考えを言葉で表すための環境と援
助の在り方を探る～

●特色ある保育教育活動

- 1 幼稚園・保育所一体化教育・保育
 - ・0歳児から5歳児までの発達を見通し、一貫し
た教育・保育を行う。
- 2 生きる力を育てる
 - ・乳幼児の主体的な活動を促し、自然環境を活か
し、人との関わりなど直接的、具体的体験を重
視した教育・保育の展開
 - ・乳幼児一人一人の発達をチームティーチング
で支える。
- 3 地域との交流
 - ・老人クラブ、介護老人保健施設やまゆりの里、
児童クラブとの交流

遠野市立 鱒沢保育所幼稚園

所在地 〒028-0303

遠野市宮守町下鱒沢33-218-1

電話 0198-66-2210 FAX 0198-66-2210

所長園長 中村 繁子 園児数 16名

職員数 7名

●主な沿革

- 昭和39年 公民館を使用し、鱒沢児童館として保育を開始
- 昭和40年 児童館を新築。12月から新築にて保育
- 昭和53年 迷岡へき地保育所が鱒沢児童館に統合
スクールバス運行開始
- 昭和54年 児童館廃止が承認され、鱒沢保育所として認可
- 昭和57年 幼保一体化運営となり、旧鱒沢中学校校庭に移転新築
- 昭和63年 旧鱒沢中学校校舎が取り壊され、園庭を半分に仕切り保育所敷地をフェンスで囲む
- 平成6年 岩手県国公立幼稚園教育研究大会で「人とのかかわりの面から発達を捉える」を発表
- 平成12年 空室を利用し、学童クラブ（鱒沢児童クラブ）を開設
- 平成17年 市村合併で遠野市立鱒沢幼稚園、遠野市立鱒沢保育所と改称
- 平成18年 遠野市保育協会との人事派遣交流
トイレ簡易水洗化工事
- 平成19年 鱒沢児童クラブが保育協会に委託運営となり、12月から鱒沢小学校で開設
- 平成23年～24年 園庭遊具取替修繕工事
- 平成24年 岩手県学校安全優良校受賞
- 平成25年 乳児室にエアコン設置

●地域の状況

本園は、JR釜石線と平行して走る国道283号と国道107号の分岐点から約500mほど進んだ小高い丘にある。平成24年に東北横断自動車道釜石秋田線の宮守ICが完成し、内陸と沿岸部をつなぐ要衝となっている。

園舎の周りには散歩コースがたくさんあり、地域の方々とのふれあいも多く、温かく見守ってくれている。また、地域の方々は、園行事や環境整備にも協力的である。

●保育・教育目標

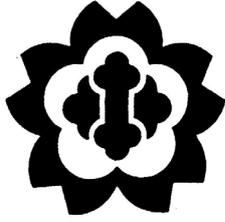
- 心も体も生き生きとした子ども —
- ・健康で元気な子
 - ・よく感じよく考える子
 - ・思いやりのある子
 - ・自然に親しむ子

●本年度の研究主題

豊かな言葉をはぐくむための幼児理解と援助の在り方

●特色ある保育教育活動

- 1 幼保一体化保育
 - ・幼稚園・保育所それぞれの機能や長所を取り入れ、また、補充し合いながら保育を行う。
- 2 地域交流
 - ・障がい者支援施設高館の園との、園外保育(散歩など)や様々な行事を通して交流を図る。
- 3 自然豊かな保育環境での活動
 - ・広い園庭、土手や築山など、身近な自然を保育に取り入れている。
 - ・野菜畑を通して栽培や収穫に関心を持つ。
- 4 異年齢とのふれあい交流
 - ・小規模園ならではの異年齢のかかわりを大事にした保育
- 5 絵本の貸し出し
 - ・家庭での読み聞かせ習慣を図る。



遠野市立 遠野小学校

所在地 〒028-0515 遠野市東館町11-28
電 話 0198-62-3231 FAX 0198-62-8922

校 長 菊 池 都代子 児童数 290名
副校長 佐 藤 均 職員数 26名

●主な沿革

明治6年 瑞応院に横田村第一小学校として創設
昭和23年 遠野小学校と改称
昭和36年 遠野東小学校が分離創設
昭和43年 遠野東小学校火災
昭和44年 遠野小学校と遠野東小学校が名目統合
昭和45年 新校舎に引っ越し
昭和46年 遠野北小学校設置に伴い、一部名目分離、
遠野北小学校遠野校舎を設置
昭和48年 遠野北小学校遠野校舎が廃止
遠野北小学校として分離
遠野小学校創立百周年記念式典挙行
昭和49年 ことばの教室開設
昭和58年 きこえの教室開設
昭和62年 情緒障害児学級開設
平成4年 遠野小学校創立 120周年記念式典挙行
平成5年 校舎大規模改造事業開始
平成8年 校舎大規模改造事業完成
平成13年 西体育館解体
ことばの教室増設（通級）
平成14年 遠野小学校創立 130周年並びに全校表現活
動20周年記念講演会開催
平成16年 東体育館屋根修理
平成18年 全校表現活動25周年
平成19年 岩手県立花巻養護学校（現・岩手県立花巻
清風支援学校）分教室開室
平成21年 特別支援学級増設（自閉症・情緒障がい）
耐震化工事完成
平成23年 全校表現活動30周年
平成24年 体育館完成

●地域の状況

本校は、遠野市の行政、文化関連施設のある中心市街地に位置している。

学区は商業住宅地域であり、父母や地域住民の教育に対する理解と関心が高い地域である。

●教育目標

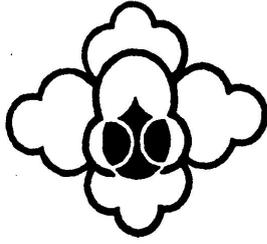
- 1 本気で自ら学ぶ子ども（知育）
- 2 心豊かでやさしい子ども（徳育）
- 3 たくましく丈夫な子ども（体育）

●本年度の研究主題

目的をもち、いきいきと自分の考えを表現できる子どもの育成

●特色ある教育活動

- 1 総合的な学習の時間を活用した郷土学習と全校表現活動「遠野の里の物語」の展開
- 2 ゆとりの時間「いきいきタイム」を活用した多様な活動
- 3 地域と連携した復興教育の推進



遠野市立 遠野北小学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩字薬研淵43
電 話 0198-62-2030 FAX 0198-62-2031

校 長 菊 池 和 子 児童数 324名
副校長 門 田 徹 職員数 29名

●主な沿革

- 昭和46年 遠野市立遠野北小学校名目統合（松崎・駒木・遠野校舎）
- 昭和47年 校舎新築工事竣工
- 昭和48年 屋内体育館竣工・校庭整備完了
- 昭和53年 プール並びに白岩児童館落成式
- 昭和55年 校舎増築工事（4教室）竣工
開校10周年記念式典並びに祝賀会（校旗・校章旗披露）
- 昭和56年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成2年 文部省指定「社会科」学校公開
開校20周年記念式典並びに祝賀会（薬研太鼓編成・緞帳設置他）
- 平成7年 ことばの教室開設
- 平成9年 コンピュータ室設置
遠野市教育委員会指定「社会科・生活科」学校公開
- 平成11年 児童トイレ全面簡易水洗化
- 平成12年 創立30周年記念式典並びに祝賀会（薬研沼造成）
- 平成14年 岩手県教育委員会・遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成15年 交通安全優良校として全国表彰受賞
- 平成16年 学力向上フロンティアスクールとして学校公開
- 平成20年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
校舎改造工事竣工
- 平成21年 プール・体育館完成
- 平成22年 太陽光パネル発電設備・多目的ホール棟完成・屋外環境整備工事完成
情緒障がい児学級開設
創立40周年・教育環境整備完成記念式典並びに祝賀会
- 平成23年 職員室拡張工事・給食搬入口移設工事・薬研沼移設工事等完成
- 平成24年 ことばの教室開設20周年記念式典並びに祝賀会
- 平成25年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
岩手県算数教育研究大会会場校
岩手ユネスコ賞文化賞受賞「薬研太鼓」

●地域の状況

本校は、早瀬川の北寄りから清流猿ヶ石川に沿った遠野盆地の中央に位置し、松崎町全域と遠野町第12区、第13区を学区としている。バイパスの開通に伴い、住宅化と商業地域としての再開発が進み、ますます市街化が拡大している。

文化的には、横田城跡、松崎観音、母也神社など遠野物語にまつわる史跡も多く、訪れる人も多い。

本校は、昭和46年、遠野小学校の一部と松崎小学校、駒木小学校の3校の統合により設置され、平成22年で創立40周年を迎えた。

歴史は浅いが、教育に対する理解と関心が高い地域である。

●教育目標

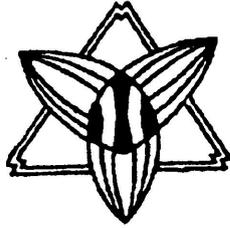
- 『豊かな心を持ち 心身ともに健康な子ども』の育成
- ・よく学びよく考える子ども
 - ・明るく思いやりのある子ども
 - ・心身ともに健康な子ども
 - ・進んで仕事をする子ども

●本年度の研究主題

- 算数科における思考力を高める指導のあり方
－思考型に応じた学び合いの工夫を通して－

●特色ある教育活動

- 1 算数科の思考型に応じたコース別学習を通じて、基礎的・基本的事項の指導徹底を図る。
- 2 キャリア教育をめざした郷土理解学習や地域人材・場の活用を図りながら、地域と連携した教育活動の推進を図る。
- 3 薬研太鼓を中心とした表現力を高める教育活動の推進を図る。
- 4 学校とPTAが協働して「まなびフェスト」に取り組み、基本的生活習慣の確立と豊かな心の醸成を図る。



遠野市立 綾織 小学校

所在地 〒028-0532 遠野市綾織町下綾織13-13-5
電 話 0198-62-2803 FAX 0198-62-2803

校 長 多 田 功 一 児童数 72名
副校長 富士川 澄 職員数 11名

●主な沿革

- 明治6年 光明寺庫裡に綾織小学校開校
明治45年 綾織尋常小学校校舎、新崎尋常小学校校舎、山口尋常小学校校舎改築落成式を3校合同で挙行
大正6年 綾織尋常小学校となる
昭和13年 綾織、新崎、山口の3校を合併し、綾織尋常小学校と称する
昭和22年 綾織小学校と改称、綾織中学校を創設し、本校内に併置
昭和28年 小学校創立80周年記念式典を挙行
昭和33年 校歌制定式典を挙行
多田邦子作詞、千葉了道作曲
昭和38年 学校プール完成
昭和42年 若竹鼓笛隊結成
昭和47年 新校舎に移転完了、校舎鉄筋2階建屋内体育館完成、落成式、校章制定
昭和48年 創立100周年記念式典並びに祝賀会、記念誌発行、記念造園を実施
平成5年 綾織小学校創立120周年並びにプール落成記念式典及び祝賀会を挙行
平成10年 コンピュータ室設置
平成14年 校歌碑建立
平成15年 交通安全教育推進地域として実践
平成16年 運動大好き岩手っ子育成事業実践校指定（県教委）
文科省「体力向上実践校」指定
青少年赤十字「金色有功章」受賞
平成17年 岩手県学校安全優良校賞受賞（県教委）
平成19年 小規模交流学习（小友小）
平成20年 パソコン19台更新
平成21年 校舎改築工事開始
平成22年 新校舎完成
平成23年 校舎供用開始、落成記念式典挙行
平成24年 市教委指定学校公開研究会「国語科」
平成25年 多年にわたる「水生生物による水質調査」に感謝状（県）
旧綾織中学校校舎を小学校特別教室に改造

●地域の状況

綾織町は、遠野盆地の西部に位置し、南部及び北部、西部と山地に囲まれている。中央部の平野は水田として開け、米が主要産物となっている。最近では兼業農家が大半であるが、国道283号沿いの道の駅「風の丘」では、地元農家の野菜直売が人気を集めている。「遠野物語」に関わる観光名所も多く、縄文後期の遺跡も注目されている。学区内の商店数は極めて少なく、買い物も勤め先もほとんどが遠野市内であり、両親共働き家庭が大半を占める三世帯家族が多い。経済的には比較的恵まれており、教育的関心も学校行事への参加率も高く、協力的である。

●教育目標

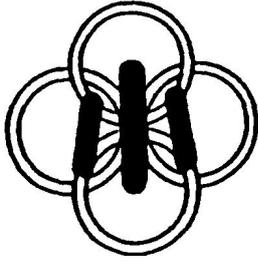
- 豊かな心を持ち、自ら学び続けるたくましい子ども
- 心をあわせすすむ子ども [やさしく]
 - すすんで勉強する子ども [かしこく]
 - たくましく生きる子ども [たくましく]

●本年度の研究主題

「見通しをもち筋道を立てて考え、表現する力を育てる算数科の指導」
～基礎的・基本的な知識・技能の定着と学び合いの充実を通して～

●特色ある教育活動

- ◇地域に根ざした「ふるさと綾織学習」
- ① 米栽培…地域人材活用
田植え・稲刈り・収穫祭
 - ② さき織り…地域人材活用
タペストリーの制作
 - ③ 子ども語り部
昔話を題材とした表現活動
 - ④ 交流学习
石上の園、祖父母との交流
 - ⑤ 農業体験学習
勤労体験（畑の作物）
- ◇ 徳・知・体のバランスのとれた教育推進
◇ 「まなびフェスト」達成に向けた取組
◇ 生命の尊重と安全教育の推進



遠野市立 小友小学校

所在地 〒028-0481 遠野市小友町16-133
電 話 0198-68-2220 FAX 0198-68-2220

校 長 鈴 木 祥 子 児童数 47名
副校長 佐々木 和 彦 職員数 13名

●主な沿革

- 昭和58年 鮎貝小学校、小友小学校、長野小学校、鷹鳥屋小学校の4校の統合により遠野市立小友小学校創立
(在校児童数 152名、教職員数11名)
- 昭和59年 校章、校歌を制定
- 昭和61年 校旗作成委員会から校旗を寄贈
- 昭和63年 プール完成、築山設置(キリン山と命名)
遠野市立小友小学校落成式挙行
野球バックネット取付工事
- 平成元年 学校花壇設置(P T A奉仕活動)
- 平成3年 かぜの子学級(特殊学級)新設
- 平成4年 生活科実践推進協力校指定(岩手県)
普通学級1学級増設
開校10周年記念式典
- 平成6年 教員住宅(公舎)1棟二世帯竣工
- 平成7年 スクールバス更新・発進式
- 平成8年 スポーツ活動推進校指定(岩手県)
- 平成9年 人権教育開発実践校指定(遠野市教育委員会)
人権教育研究指定(文部省)
- 平成10年 「人権教育」学校公開
- 平成13年 第51回県へき研久慈大会において研究発表
第17回東北地区へき研山形大会において研究発表
- 平成14年 プール上屋落成式
開校20周年記念式典
- 平成15年 わかる授業創造授業公開
- 平成16年 青少年赤十字加盟20周年表彰受賞
- 平成17年 FMF 米国教育者学校訪問受入れ
- 平成21年 道徳教育研究指定(遠野市教育委員会)
遠野物語発刊 100周年記念ステージに
全校児童参加
スクールバス更新
- 平成22年 道徳学校公開研究会
プール塗装工事・ろ過器更新
- 平成24年 財団法人遠野市教育文化振興財団「教育文化奨励賞(団体の部)」受賞
岩手県教育委員会より復興教育推進校に
指定
- 平成25年 岩手県教育委員会より道徳教育推進事業
実施校に指定
開校30周年記念式典

●地域の状況

小友町は、遠野市の南西端に位置し、西部は奥州市、南部は住田町に接しており、総面積は102km²である。集落は、長野川に沿った長野地区、鷹鳥屋川と山谷川に沿った鷹鳥屋地区と山谷地区、長野川と鷹鳥屋川の合流点を中心とした小友地区、小友川の下流に沿った鮎貝地区の5地区で形成されている。各地区は、それぞれ険しい山に囲まれた寒冷地である。交通路は、国道107号が南北に縦断し、町の中心部小友地区から遠野・江刺線が西方に横断している。地区内の生産状況は、米づくりを主体とする山地農業であり、他に、畜産、ハウス野菜栽培が盛んである。小友は、慶長年間に長野に金鉱が発見されて大きく発展を遂げた。金鉱景気は明治から昭和初期まで続いた。広大な面積を占める山林の仕事に従事している人もいるが、第2種兼業農家が大方を占めており、夫婦共稼ぎの家庭が多い。各地区には郷土芸能や伝統行事があり、小・中学生が伝承活動を行っている。学校の教育活動とタイアップした活動は、地域の教育の源泉となり、子どもの健全育成の大きな力となっている。

●教育目標

- 「進んで学びよく考える子ども」
 - ① 自分の考えを進んで発表します。
 - ② 学習習慣を身につけ、進んで学習に取り組みます。
- 「明るくて思いやりのある子ども」
 - ① 相手のことを考えて行動します。
 - ② 人の役に立つよう進んで行動します。
- 「健康でねばり強い子ども」
 - ① めあてを決めて進んで運動します。
 - ② 規則正しく生活し、健康な体をつくります。

●本年度の研究主題

「心豊かに進んで学ぶ児童を育てる授業改善」
ー算数科及び道徳教育を中心とした授業実践を通してー

●特色ある教育活動

- ・伝承活動
「小友の話っこ聞きたいな」の表現活動
小友地区に伝わる昔話やしし踊りや歌で構成されており、全校児童一体となって取り組んでいる。
- ・ふれあい活動
ふれあいホーム小友への訪問交流
被災地の福祉施設への訪問交流
地域の独居老人宅へ手作りカレンダーや年賀状を届ける活動



遠野市立 附馬牛小学校

所在地 〒028-0663

遠野市附馬牛町下附馬牛11-31-1

電話 0198-64-2220 FAX 0198-64-2220

校長 佐々木 一人 児童数 51名

副校長 佐藤 弘幸 職員数 12名

●主な沿革

- 昭和51年 遠野市立附馬牛小学校（明治7年創立）、遠野市立東禅寺小学校（明治9年創立）及び同小出分校の3校を統合して遠野市立附馬牛小学校とする
屋内運動場完成
- 昭和52年 新校舎、屋内運動場、プール並びに地区センター庁舎完成による合同落成式挙
- 昭和54年 遠野市教育委員会指定「理科」学校公開
- 昭和58年 学校林体験校指定校
遠野市教育委員会指定「国語」学校公開
- 昭和59年 教育の森造林
- 昭和60年 遠野市教育委員会指定「学校林実験校」
- 昭和62年 遠野市教育委員会指定「勤労体験推進校」
- 昭和63年 学校環境衛生優良校表彰
- 平成3年 ノースロップ賞受賞（学校林緑化推進活動）
- 平成4年 岩手県指定「自然保護モデル校」
- 平成5年 遠野市教育委員会指定「特別活動」学校公開
- 平成6年 創立120周年記念式典挙
- 平成8年 県・市指定「環境教育推進校」
- 平成9年 授業実践交流会「作文指導」自主公開
- 平成10年 プール上屋完成
- 平成11年 森林ボランティアのぞみの森調整事業
第48回全国へき地教育研究大会会場校
- 平成13年 岩手県教育表彰学校教育賞受賞
- 平成14年 授業実践交流会「総合的な学習の時間」自主公開
- 平成16年 第47回岩手県造形教育研究大会遠野地区大会会場校
- 平成17年 遠野地区小規模・複式学校教育研究会授業研究会（3学年算数）
- 平成19年 大出小中学校閉校（3月）に伴い、学区が7区となる
- 平成21年 へき地教育研究事業（みずほ財団）による山田南小学校との交流学习開始
- 平成22年 遠野市教育委員会研究指定
- 平成23年 遠野市教育委員会研究指定学校公開（小中連携・算数）
- 平成24年 日航財団スカラシップ交流事業でアジア・オセアニア・ヨーロッパ12カ国との交流会

●地域の状況

本校は、遠野市の市街地から北に約12km、猿ヶ石川に沿ってバスで約30分のところに位置し、周囲は自然美に恵まれ、遠くに霊峰早池峰を望む景勝の地にある。

学区は7区からなり、その中心部は上柳集落及びその周辺で、保育所、地区センター、郵便局、診療所、お寺、商店街があり、人家も密集している。

その他の地区は、20戸～30戸位の集落を形成し、各地に点在している。

この地は、遠野郷文化発祥の地ともいわれ、早池峰山信仰を中心に早くから山岳信仰、仏教、神道の拠点ともなった地域でもある。

●学校教育目標

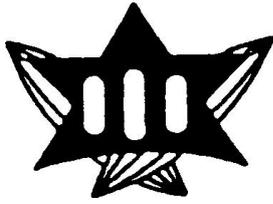
- 1 生命を尊重し、思いやりのある心豊かな子の育成
- 2 学ぶ意欲にあふれ、進んで学習する子の育成
- 3 健康と安全を心がけ、進んで体を鍛える子の育成

●本年度の研究主題

子どもが「わかる」「できる」を実感できる授業づくり

●特色ある教育活動

- 1 附馬牛の郷に学ぶ
地域の人材を活用しながら地域を素材とした学習を進めていく中で、先人の生き方を学び、郷土愛を高めるとともに、自分の生き方を考える。
- 2 小規模校の特性を活かした活動
たてわり班清掃・体力づくり（マラソン・長縄跳び）
- 3 ふれあいホームや障害者支援施設遠野コロニーとの交流



遠野市立 土淵小学校

所在地 〒028-0555 遠野市土淵町土淵6-1
電話 0198-62-2804 FAX 0198-62-2804

校長 川崎 一弘 児童数 88名
副校長 佐藤 嘉宏 職員数 13名

●主な沿革

明治10年 土淵常堅寺に創立
明治14年 公立土淵小学校と改称
明治23年 土淵町留場内に位置変更
明治37年 校舎新築落成式
大正5年 飯豊分教場、山口分教場開設
昭和7年 琴畑分教場開設
昭和22年 土淵村立土淵小学校と改称
昭和26年 柄内分校が土淵第二小学校に独立
昭和29年 遠野市立土淵小学校と改称
昭和47年 遠野市教育委員会指定図工科公開
昭和50年 遠野市交通安全研究指定校
昭和52年 遠野市教育委員会指定算数科公開
昭和53年 現在地に新校舎建築・山口分校閉校
昭和54年 創立100周年記念式典挙行
水泳用プール完成
昭和57年 遠野市教育委員会指定道徳公開
昭和58年 岩手県道徳教育研究大会会場
昭和59年 土淵第二小学校本校に統合
平成元年 校庭拡張
平成4年 IBC作文学校賞
平成7年 県学校安全優良校表彰
道徳教育公開、県道徳研究大会会場
平成8年 昔語り伝承活動テレビ放映
平成9年 創立120周年記念式典
平成10年 文部省教育映画「生涯学習」に出演
民放テレビ「ドキュメント'98」で全国放送
平成11年 市P連、東北P連表彰
県学校環境衛生優良校
「子ども語り部」の発表(教振運動)
平成12年 市民憲章運動推進協議会から「実践活動」
受賞
平成13年 県歯科医師会優良校表彰
平成15年 学校公開(国際理解教育)
平成16年 岩手県学校歯科保健優良校表彰
平成19年 日本赤十字社「青少年赤十字金色有功章」
受章
平成20年 児童会資源回収等で遠野市から環境表彰
基金協力校として岩手県共同募金会から感謝状
子ども語り部活動でふるさと公社から感謝状
体育館トイレ水洗化工事完了
平成21年 いわてユネスコ文化賞受賞(2回目)
教育文化奨励賞受賞(2回目)
遠野市教育委員会指定小中連携教育研究公開
児童用トイレに洋式トイレ寄贈
平成22年 特別支援学級設置
平成25年

●地域の状況

本学区は、遠野市の北東部に位置し、国道340号をはさんで南北にやや細長く非常に広い。南部ほど平坦で水田が比較的によく見られるが、北上するにつれて傾斜地となり、畑地の割合が多く、また、山林が国道の両側にせまってくる。集落は、国道340号沿いと、それから入った枝道に点在し、純然たる農山村である。

産業の中心は農業で、水稻、たばこ、ハウレンソウ、ピーマン等が栽培されている。近年は、副業として誘致企業やスーパー等への就業が増えている。

また、土淵町は、柳田国男の「遠野物語」の生みの親である民俗学者佐々木喜善の生まれ育った地でもあり、それを語り継ぐ子ども語り部の活動が行われている。また、しし踊りや神楽、さんさ踊り等の郷土芸能も継承されている。

●教育目標

美しい笑顔が溢れる子どもの育成

- ・思いやりのある心豊かな子ども(心の学力)
 - ・よく考え進んで勉強する子ども(知の学力)
 - ・健康でねばり強くやりぬく子ども(体の学力)
- “遠野で一番、元気で明るく楽しい土淵小学校”

●本年度の研究主題

自ら学び、考えを深める児童の育成

～国語科・算数科における言語活動に

重点を置いた学習活動の工夫を通して～

●特色ある教育活動

- 1 グローバル社会を「生き抜く力」が身に付く創造的教育活動の推進
- 2 土淵固有の自然・文化・人材を生かしたふるさと学習の充実
- 3 「土小まなびフェスト」の積極的な実施と評価・改善



遠野市立 青 笹 小 学 校

所在地 〒028-0503 遠野市青笹町青笹11-1
電 話 0198-62-2802 FAX 0198-62-2802

校 長 吉 野 新 平 児童数 134名
副校長 奥 田 恵 司 職員数 13名

●主な沿革

- 明治8年 青笹小学校創立
昭和41年 青笹小学校名目統合発表（2校1分校）
昭和42年 統合校舎新築工事落成
昭和43年 体育館工事落成
昭和46年 上閉伊管内国語教育研究会開催
昭和48年 特殊学級1学級設置・市指定国語教育研究公開開催
昭和50年 放送教育研究（国・社・理）公開開催
昭和51年 創立100周年並びに学校統合10周年記念行事挙行
昭和55年 市教委指定国語（作文）研究公開
昭和57年 飯豊地区学区変更（土淵小学校へ）
昭和58年 博報賞受賞（国語教育）
昭和59年 教育文化奨励賞受賞（国語教科）
昭和60年 よい歯の学校表彰受賞
交通安全模範校の学校表彰受賞（岩手県知事）
昭和61年 教育文化奨励賞受賞（交通安全）
昭和63年 日本赤十字岩手支部青年赤十字加盟
平成2年 特殊学級（情緒）設置
平成3年 健康優良学校奨励賞受賞（岩手県教育委員会）
平成5年 交通安全学校表彰（東北管区警察局長賞、東北交通協会会長賞受賞）・遠野市功労者表彰（交通安全）
平成8年 市教委指定国語（作文）研究公開開催
平成11年 体育館完成
平成13年 新校舎・上屋付きプール完成
平成14年 外の物置・駐輪場完成
平成15年 花壇整備
平成18年 市教委指定小中連携教育研究公開
平成19年 日本赤十字社「青少年赤十字金色有功章」受章
平成21年 岩手県学校環境衛生「優良校」受賞
平成20年～平成22年 「地球温暖化を防ごう隊」県表彰
平成24年 青笹小学校PTA岩手県教育表彰
平成25年 青笹小学校PTA優良PTA文部科学大臣表彰
平成26年 特別支援学級1学級（知的）設置

●地域の状況

本校学区は、遠野市の中心市街地から東方約5kmに位置し、学区の中央を国道283号が走り釜石市へ通じている。周囲は東に六角牛山、北に早池峰山、西に石上山のいわゆる遠野三山を眺めることができる自然に恵まれた静かな農村地帯である。

ここ数年、児童数に大きな変化は見られない。農家の家庭も多いが、保護者は会社員として市内や近隣地域に働きに出ている。

また、学区内には遠野運動公園野球場、陸上競技場などのスポーツ・レクリエーション施設や遠野市総合防災センターが整備され、将来の発展が期待されている。

●教育目標

- ・よく考え、本気で学ぶ子ども（知育）
- ・豊かな心で、思いやりのある子ども（徳育）
- ・強い体で、たくましい子ども（体育）

●本年度の研究主題

確かな学力を身につけた子供の育成
～算数科の指導過程における言語活動の工夫を通して～

●特色ある教育活動

- 1 朝読書や図書ボランティアの読み聞かせ、本の広場の開放を通じた読書活動の充実
- 2 郷土の誇りを育てる無形文化財「青笹しし踊り」の伝承活動
- 3 心のふれあいを育てる「笹っ子」たてわり班活動
- 4 「早寝・早起き、朝ごはん、健脚通学」による健康安全教育の推進



遠野市立 上郷小学校

所在地 〒028-0771 遠野市上郷町佐比内46-56-1
電話 0198-65-2031 FAX 0198-65-2031

校長 佐藤 智一 児童数 109名
副校長 千葉 裕之 職員数 13名

●主な沿革

- 明治7年 上郷小学校の前身である板沢小学校を曹源寺内に開校
- 明治8年 平倉に平倉小学校開校
- 明治10年 来内に来内小学校開校
- 明治13年 佐比内・細越に佐比内小学校、東細越小学校、西細越小学校開校
- 昭和24年 校歌を制定
- 昭和29年 町村合併による遠野市の誕生で遠野市立上郷小学校と改称
- 昭和41年 統合校舎新築落成記念式典挙行
完全給食開始
- 昭和49年 開校 100周年記念式典挙行
校庭等に体力づくり施設設置
- 昭和56年 プール完成落成式
- 昭和57年 校舎大改装工事完了
- 平成6年 開校 120周年記念式典挙行
- 平成7年 健康推進学校県代表として全国表彰
- 平成10年 市環境教育開発実践校（平成10・11・12年地域指定）
- 平成11年 学校安全優良校
- 平成12年 日本赤十字から銀色有功章受章
- 平成13年 県小学校国際理解（英会話）調査研究校（平成13・14年）指定
- 平成14年 国際理解教育（英語活動等）公開授業
- 平成15年 新校舎建築基本設計完成
- 平成16年 ジョイント・スクール推進事業（小・中連携・県指定）
校舎改築工事開始
- 平成17年 小・中連携教育公開研究会（平成15～17年市指定、平成15・16年県指定）
- 平成18年 校舎、体育館改築工事完成
- 平成19年 校舎落成記念式典並びに創立 130周年記念式典挙行
- 平成21年 外国語活動研究推進校（文科省指定）
- 平成22年 管内外国語中核教員研修会公開授業
- 平成24年 学校環境優良校表彰
- 平成25年 地球温暖化を防ごう隊事業表彰

●地域の状況

本校は、昭和29年の町村合併以前における「上郷村」全域を学区としている。本校学区は市の東部に位置し、北東には六角牛山、東部には大開山がある。

町内を早瀬川と猫川が流れ、その川沿いの低地では米、野菜、葉たばこ、ホップ等が生産されている。

上郷は、昔から遠野盆地と三陸沿岸地方とを結ぶ交通及び物資流通上の要路に当たり、さらに釜石製鉄所の創業や大峰鉱山の開山により農産物を中心とした物資や労働力の供給地として栄えていた。しかし、昭和46年の大峰鉱山閉山以降、人口は減少し、高齢化が進んでいる。

●教育目標

- ・すすんで「学ぶ」子ども
- ・美しい心で「表現する」子ども
- ・つよい体に「きたえる」子ども

●本年度の研究主題

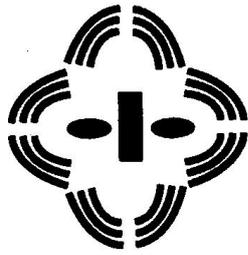
算数科における思考力・表現力を高める指導のあり方

～考えを表現する場の工夫を通して～

●特色ある教育活動

～豊かな心と丈夫な体を培う教育の推進～

- ◎ 心を育てるふれあい活動
 - ・縦割り班活動等を通した異年齢児童との交流
 - ・英語活動を通した異文化との交流
 - ・上郷しし踊りを通した地域文化の伝承
 - ・「なでる牧場」等の地域素材や人材との体験学習
- ◎ 体をきたえる実践活動
 - ・意欲をもって日常的に運動する児童をめざした取組
 - ・陸上、水泳、スキー等による体力づくり
 - ・保健安全意識と基本的生活習慣の定着をめざした取組



遠野市立 宮守小学校

所在地 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守26-6
電 話 0198-67-2135 FAX 0198-67-2135

校 長 菊 池 香南子 児童数 100名
副校長 小 野 紀 子 職員数 15名

●主な沿革

- 明治7年 公立下宮守小学校を開校
明治8年 公立上宮守小学校を開校
明治9年 宮守小学校第1分校を開校（塚沢小学校）
宮守小学校第2分校を開校（鹿込小学校）
昭和52年 宮守・塚沢・鹿込・上宮守の4小学校統合
により宮守村立宮守小学校となる
スクールバス運行を開始
校歌・校章を制定
昭和54年 学校公開研究会（国語科）
昭和58年 新校舎完成
昭和59年 新体育館完成
昭和59年 学校公開研究会（国語・算数科）
昭和60年 学校公開研究会（国語・算数科）
昭和63年 学校公開研究会（国語科）
平成3年 開校15周年記念で校訓を制定
平成4年 学校公開研究会（国語科）
平成6年 学校安全優良校表彰（県教委）
平成8年 学校公開研究会（国語科）
平成10年 学校安全優良校表彰（県教委）
平成12年 学校公開研究会（総合）
平成15年 体育館と校舎東1階・2階トイレ水洗化
平成16年 学校公開研究会（算数科）
平成17年 市村合併で遠野市立宮守小学校と改称
平成18年 創立30周年事業（遊具設置・記念バザー
・記念誌発行）
伝統芸能伝承活動「宮小さんさ踊り」を
取り入れる
優良少年消防クラブとして全国表彰
平成19年 伝統芸能「宮小さんさ踊り」を開始し、
遠野まつりに参加
平成20年・21年 農山漁村におけるふるさと生活体験推進
校として、5年生が宿泊体験活動
平成23年 少年消防クラブが岩手県幼少婦人防火委
員会長表彰
平成24年 岩手県学校歯科保健優秀校受賞
平成25年 岩手県学校歯科保健優秀校受賞

●地域の状況

学区は、四方を山に囲まれた農村地帯である。北側に国道396号、南側に国道283号とJR釜石線が走る内陸部と沿岸部とを結ぶ交通の要所でもある。父母や地域の教育に対する理解、関心は極めて高く、学校への協力、援助は大きい。社会教育、就学前教育、健康教育にも大きな力が注がれている。

●教育目標

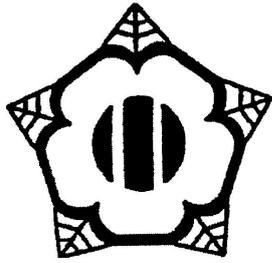
- 心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成
- 1 明るく、思いやりのある子
 - 2 よく考え、学習する子
 - 3 健康で、たくましい子

●本年度の研究主題

意欲的に学ぶ子どもを育てる算数指導のあり方
～言語活動を充実させた
授業展開の工夫を通して～

●特色ある教育活動

- 1 地域から学ぶ・地域を学ぶ「かがやき学習」
 - ・さんさ踊りの伝承芸能活動
 - ・地域探検・観察・調査、郷土食づくり
 - ・みやもり荘や宮守幼稚園・保育所との交流
- 2 異年齢の交流により、協力や思いやりの心を育む縦割り班活動
- 3 朝読書やブックボランティアの読み聞かせを通しての読書活動



遠野市立 達曾部 小学校

所在地 〒028-0305 遠野市宮守町達曾部15-10
電 話 0198-67-6133 FAX 0198-67-6133

校 長 高 橋 悦 子 児童数 51名
副校長 佐々木 俊 子 職員数 14名

●主な沿革

- 明治7年 第七大学第十九中学区第十一番小学校として開校
- 昭和53年 達曾部小学校と中斉小学校の2校が統合して宮守村立達曾部小学校が創立
- 昭和55年 体育館落成式、旧達曾部中学校に移転
- 昭和57年 県学校環境緑化コンクールで入選
- 昭和62年 学校統合10周年記念式典を挙（トランペット鼓隊披露）
- 平成5年 文部省・村教委指定「道徳」の公開研究会
- 平成9年 村教委指定「国語」の公開研究会
- 平成10年 県へき地・小規模教育研究大会で実践発表
村立小中学校統合20周年記念式典が村民体育館で開催
- 平成12年 新校舎落成式典、祝賀会挙
行
統合20周年記念誌発行
- 平成13年 体育館改修工事開始
校庭及び遊具完成
- 平成14年 プール完成
宮守村教育委員会指定「総合・生活科」の公開研究会実施
- 平成15年 岩手県グリーンスクール研究校指定（平成15・16年度）
- 平成17年 市村合併で遠野市立達曾部小学校と改称
- 平成18年 学校安全優良校として受賞（県教委）
- 平成19年 統合30周年記念事業実施
- 平成20年 中国地域保健研修視察団来校
- 平成21年 県小規模・複式学校教育研究大会で実践発表
- 平成23年 岩手県学校歯科保健優良校受賞
- 平成24年 岩手県学校歯科保健優良校受賞
- 平成25年 市教委指定「国語」の公開研究会
岩手県学校歯科保健優良校受賞

●地域の状況

本校学区は遠野市の西に位置し、地区は達曾部と中斉の二つからなっている。周りには水田が広がり、達曾部川と里山に囲まれたのどかなこの地は、昔は盛岡と遠野・沿岸部を結ぶ交通の要地となっていた。また、豊かな清流を生かしたわさびが特産物となっていて、いろいろな食品に加工されている。

●教育目標

「地域に根ざし、確かな力を身につけた児童の育成」

- 1 すすんで学習する子ども
- 2 明るく思いやりのある子ども
- 3 強くたくましい子ども

●本年度の研究主題

「確かに読む力を育てる指導の在り方」
～読みの視点を明確にした授業実践を通して～

●特色ある教育活動

- 1 発表の機会の工夫や根拠をはっきりさせた発表により、思考を深め、確かな力をつける学習
- 2 学校や地域に対して、誇りや愛着を持たせるような調べ学習や伝承活動
- 3 心のふれあいを育てる縦割りなかよし班活動
- 4 地域の方々の協力による図書ボランティア活動



遠野市立 鱒沢小学校

所在地 〒028-0303 遠野市宮守町下鱒沢17-5
電 話 0198-66-2270 FAX 0198-66-2270

校 長 猪 股 正 光 児童数 43名
副校長 藤 田 知 也 職員数 12名

●主な沿革

明治7年 上鱒沢小学校創立
下鱒沢小学校創立
明治32年 下鱒沢小学校迷岡分教場開始
昭和22年 上鱒沢小学校を鱒沢村立上鱒沢小学校と改称
下鱒沢小学校を鱒沢村立鱒沢小学校と改称
昭和23年 鱒沢村立迷岡小学校独立昇格
昭和30年 鱒沢村立上鱒沢小学校、同鱒沢小学校、同迷岡小学校をそれぞれ宮守村立上鱒沢小学校、同鱒沢小学校、同迷岡小学校と改称
昭和46年 宮守村立鱒沢小学校、同上鱒沢小学校を統合し、宮守村立鱒沢小学校創立
昭和46年 水泳プール完成
昭和47年 鉄筋3階建統合校舎完成
昭和49年 創立100周年記念式典挙行
昭和52年 宮守村立鱒沢小学校、同迷岡小学校を統合し、宮守村立鱒沢小学校創立
昭和58年 「よい歯の学校」全国表彰
昭和61年 屋内運動場落成
平成3年 屋外運動場拡張工事竣工
平成6年 特別教室（図工室・図書室）竣工
平成10年 文部省地域指定研究「エイズ教育」学校公開研究会開催
平成13年 スキーグレンデ完成
平成17年 市村合併で遠野市立鱒沢小学校と改称
平成18年 統合30周年記念誌を発刊
平成19年 遠野市指定研究「算数」学校公開研究会
鱒沢児童クラブ併設
平成20年 防火扉の改修工事
遠野物語コンサートに全校児童の賛助参加
平成21年 耐震補強工事完成
県特別支援教育研究大会・授業公開
平成22年 緊急雇用対策事業による遊具の塗装
平成23年 特別支援学級設置
校庭南側雑木林（本校及びJR東日本の敷地）大規模伐採
平成24年 岩手県PTA連合会広報コンクール最優秀賞受賞
平成25年 本校PTA岩手県教育表彰

●地域の状況

鱒沢は、宮守町南部に位置し、猿ヶ石川の両岸に広がる農山村地域である。

学校は、この猿ヶ石川、国道283号と107号の分岐点、JR釜石線鱒沢駅を見下ろす高台にある。

学区民の教育に寄せる関心は高く、学校教育に対しても協力的である。

●教育目標

- 1 進んで学ぶ子
- 2 体のじょうぶな子
- 3 思いやりのある子
- 4 ねばり強い子

●本年度の研究主題

自分の考えを持ち

伝えあうことのできる児童の育成

～国語科・読むこと領域における読み取りの指導を通して～

●特色ある教育活動

- 1 地域の人々に学ぶ活動
 - ・郷土芸能しし踊りの伝承活動
 - ・ふるさと学習活動
- 2 全校児童が心をつなげて表現する合唱奏「故郷の詩」の伝承活動
- 3 業間や放課後を活用した諸活動
 - ・はきはき広場や学団集会
 - ・ハッスルタイムやとことんタイム
- 4 図書ボランティアによる読書活動
 - ・読み聞かせ
- 5 環境教育と関連づけた資源回収活動



遠野市立 遠野中学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩11-30
電話 0198-62-2814 FAX 0198-60-2433

校長 牧野 和 男 生徒数 419名
副校長 石橋 和 彦 職員数 31名

●主な沿革

平成23年 校舎改築第一期工事開始

平成25年2月 校舎改築第一期工事（普通教室棟ほか）
完成

4月 遠野市立中学校再編成計画に基づき、
遠野中学校、綾織中学校及び附馬牛中学校
を閉校し、遠野市立遠野中学校を開校（生
徒数413名、職員数32名）

4月 遠野中学校開校式並びに第一回入学式

8月 サッカー部全国大会出場（ベスト8）

10月 駐輪場・クラブハウス完成

11月 岩手県数学教育研究大会会場校

平成26年2月 校舎改築第二期工事開始

●地域の状況

本校は、遠野盆地の中央部に位置し、学区は市街地（遠野町）と遠野バイパス周辺の新興在宅地（松崎町）、西に広がる田園地帯（綾織町）、北に伸びる農村地帯（附馬牛町）から構成されており、それぞれが交通の要路をなし、文化や産業交流の中心となっている。

学区民の教育に対する関心は高く、学校教育に対しても熱心で協力的である。

●教育目標

「学びの心をもって知性と体力を磨き、郷土を愛し、たくましく未来を拓く生徒の育成」

《校訓》 勤勉・協働・開拓

ふるさとに学び、ふるさとを語れる遠野人の育成

●本年度の研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成

～課題意識を持続できる学習過程の工夫を通して～

●特色ある教育活動

「地域を知り地域に学ぶ」郷土学習の積極的な推進と、新たな歴史づくりに邁進する生徒会活動の活性化

- 1 地域の人材を活用した多様な教育活動の展開（総合的な学習の時間を中心に）
- 2 地域の産業や施設を生かした職場体験をはじめとする体験学習の推進
- 3 「予習的課題」等を活用した授業と連動した家庭学習の確立
- 4 新たな歴史を創る生徒会活動の活性化
- 5 花巻清風支援学校分教室との日常的な交流・連携



遠野市立 遠野東中学校

所在地 〒028-0503 遠野市青笹町青笹10-16
電話 0198-62-2816 FAX 0198-62-2816

校長 三浦和人 生徒数 151名
副校長 高橋栄子 職員数 21名

●主な沿革

平成25年 校舎増築、大規模改造工事完成

遠野市立中学校再編成計画に基づき、土淵中学校、青笹中学校及び上郷中学校を閉校し、遠野市立遠野東中学校を開校（生徒数163名、職員数20名）

遠野東中学校開校式並びに第一回入学式

平成26年 倉庫・駐輪場・太陽光発電建築工事

自転車マナーアップモデル校指定

●地域の状況

本校の学区は、遠野市の南東部に位置する上郷地域と北東部に位置する土淵地域と東部に位置する青笹地域の3地域で構成されている。純農村地帯であるが、ほとんどが兼業農家であり、米作・葉たばこ・ホップ等の栽培に従事し共働きの家庭が多い。

古くから沿岸との交通の要所であったが、最近では沿岸部復興の物資輸送のための道路網の整備が進み、交通量も増えてきている。

土淵地域は「遠野物語」の中心地であり、観光資源が豊富である。また、学区全体を通して、伝承活動が盛んであり子供たちも重要な担い手となっている。教育文化に関わる地域の関心は高く保護者は教育熱心であり、地域で子供を育てようという姿勢に長けている。

●教育目標

「知・徳・体を鍛え

未来を拓く人間性豊かな生徒の育成」

●本年度の研究主題

学び合い、考えを深める生徒の育成

～学びの場における言語活動の充実を通して～

●特色ある教育活動

- 1 地域の歴史、文化、産業等を理解する。
 - ・地域人材やそれぞれの専門分野の知識が豊富な方から学ぶ機会を通し、郷土への理解を深める学習をする。
 - ・伝承活動に参加し、地域文化の継承者としての自覚を高める学習をする。
- 2 地域の人々とのつながりを深める。
 - ・地区行事などへの参加を通して交流を深めるとともに、地域社会の構成者としての役割を果たす学習をする。
 - ・地域の施設設備の清掃やボランティア活動を行い、奉仕の精神を身につける学習をする。
- 3 東日本大震災からの復興の状況を理解する。
 - ・復興事業に取り組んでいる方からのお話により、その状況を理解する。
 - ・災害復興に向けて、自分ができることを考え今後の活動に対する学習を深める。



遠野市立 遠野西中学校

所在地 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守39-65
電 話 0198-67-2139 FAX 0198-67-3513

校 長 菊 池 塔 寿 生徒数136名
副校長 小 向 敏 夫 職員数 18名

●主な沿革

平成25年 遠野市立中学校再編成計画に基づき、小友中学校及び宮守中学校を閉校し、遠野市立遠野西中学校を開校（生徒数145名、職員数18名）
遠野西中学校開校式並びに第一回入学式
東北中学校陸上競技大会女子砲丸投げ
第3位 浅沼 花南（12m62）

●地域の状況

本校は、平成25年、宮守町に設置されていた宮守中学校と小友町に設置されていた小友中学校が統合し、遠野西中学校として新設された。

遠野市の西部に位置する小友町と宮守町の全体が学区となっており、北は花巻市大迫町、西は花巻市東和町、奥州市江刺区、南は住田町と隣接している。

小友町、宮守町ともに米作りを主体とする農業が盛んである。水がきれいで県内有数のワサビの産地でもある。また、御祝や神楽などの伝統芸能も各地区で大切に伝承されてきた。

保護者や学区民の教育に対する関心は高く、たいへん協力的である。また、新たな学校に対する地域の期待も大きい。

●教育目標

「新しい時代をたくましく生き抜く人間の育成」

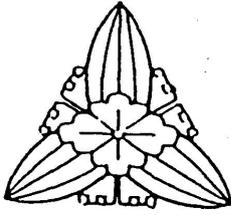
- ・【知】意欲を持って学習する人
- ・【徳】思いやりのある人
- ・【体】心身ともに健康な人
- ・【心】頑張りぬく人

●本年度の研究主題

「自ら学び、考え、表現できる生徒の育成」
～言語活動を工夫した授業づくりを通して～
〈研究の目標〉
・自ら学び考え、表現できる生徒の育成をはかる。
・言語活動を工夫した授業づくりをとおした指導のあり方を実践的に明らかにし、授業改善に役立てる。

●特色ある教育活動

- 1 「あいさつ」「合唱」「応援」を柱とした新たな校風づくり
 - (1) 心のこもったあいさつが交わされる学校
 - (2) 生徒どうしが心を一つにし、日常に歌声が響き合う学校
 - (3) 旧2校の良さを生かし、新たな応援を創り出し、お互いを励まし合える学校
- 2 地域の教育力を生かした学校づくり
 - (1) 地域の講師による「銀河ドリーム教室」（ふるさとの達人に学ぶ）の実施
 - (2) 地域の伝統芸能の推進
 - (3) 学校通信「西中 文の風」の学区内全戸配布
- 3 わかる授業づくり
 - (1) 全学年の数学・英語でのティームティーチングの実施
 - (2) 楽しく、わかる授業の研究と実践
「遠野西中教師の10カ条」実践
 - (3) 効果的な家庭学習の指導
 - (4) 小中連携による学力向上実践



岩手県立 遠野高等学校

所在地 〒028-0525 遠野市六日町3-17
電話 0198-62-2823 FAX 0198-62-2805

校長 桐田 千秋 生徒数 434名
副校長 熊谷 渉 職員数 40名

●主な沿革

- 明治34年 岩手県立遠野中学校として六日町（現地）に開設
- 大正14年 創立25周年記念式典を挙行
- 昭和5年 創立30周年記念式典を挙行
- 昭和15年 創立40周年記念式典を挙行
- 昭和23年 岩手県立遠野第一高等学校と改称
- 昭和24年 遠野第一、第二高等学校合併、岩手県立遠野高等学校となる
- 昭和26年 創立50周年記念式典を挙行
- 昭和33年 農業科設置
- 昭和35年 創立60周年記念式典を挙行
- 昭和38年 商業科設置
- 昭和39年 農業科が岩手県立遠野農業高等学校として独立
- 昭和39年～昭和45年
3期に分けて新校舎竣工
- 昭和45年 鋼板高床式プール完成
- 昭和46年 創立70周年記念式典を挙行
- 昭和49年 城西会館竣工
- 昭和56年 創立80周年記念式典を挙行
- 昭和59年 商業科産振棟、第2体育館、格技場竣工
- 平成元年 グラウンド改修工事竣工
- 平成3年 創立90周年記念式典を挙行
- 平成4年 商業科閉科
- 平成8年 新校舎改築工事着工
- 平成10年 新校舎竣工（県立高校初の瓦屋根校舎）
- 平成12年 セミナーハウス（城西会館）竣工
- 平成13年 創立100周年記念式典を挙行
- 平成14年 創立100周年記念事業「哲学の庭」竣工
- 平成19年 第1体育館竣工
- 平成22年 情報ビジネス校閉校
- 平成23年 創立110周年記念式典を挙行

●地域の状況

鍋倉城址の西、旧桜馬場に位置し、武家屋敷跡や愛宕神社が近くにある落ち着いた環境で、威風堂々とした瓦屋根の校舎が勉学に相応しい雰囲気を醸し出している。遠野地域の高等教育の中核としての歴史と伝統をもち、学業はもとより、部活動や様々な活動において活躍し、有為なる人材を数多く輩出している。

●教育目標

教育基本法及び学校教育法に基づき、次のような人間の育成を目標とする。

- (1) 豊かな知性と人間愛をもつ人
- (2) 高い徳性と美を求める心をもつ人
- (3) 強い体力と自主・自立の精神をもつ人

●校訓

「修徳尚武」

徳を修め、武を尊び、心身ともに豊かになること。

●校是

「師弟一如」

先生と生徒が一つとなって、真理を探究し、校訓を実践すること。

●特色ある教育活動

ア 「遠野郷の人は遠野で育てる」高校として、保護者・地域から信頼される学校

イ 「修徳尚武」の精神で、高い徳性と文武両道を実現する学校

ウ 磨けば光る原石である遠高生の多様な能力を開発・伸長させる学校

エ 自主的に生き生きと生徒が活動する魅力ある学校

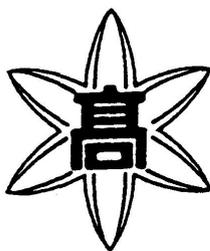
オ 「師弟一如」の精神で、教師と生徒が信頼しあい共に真理の探究に努める学校

○ 充実した進路指導

国公立大学合格者が11年連続30名以上。昨年は34名。就職率は13年連続100%で、公務員合格者が増加している。質の高い進学就職の達成のために全校を挙げてさらなる指導の充実を図っている。

○ 伝統行事として、全国唯一の「うさぎ狩り」を実施している。

○ サッカー部は、全国選手権において平成17年度は第3位、平成19年度はベスト8、平成22年度は3年ぶり22回目の出場を果たし、昨年度も23回目の出場を果たした。また、美術部、理科学研究部、吹奏楽部が全国大会レベルの活躍をしている。



岩手県立 遠野緑峰高等学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩21-14-1
電話 0198-62-2827 FAX 0198-62-2828

校長 佐々木 重喜 生徒数 177名
副校長 高橋 まり子 職員数 38名

●主な沿革

- 昭和23年 県立遠野第一高等学校土淵分校として開校
昭和31年 普通科から農業科に学科変更
昭和32年 現在地に新校舎落成移転
昭和33年 全日制課程農業科設置
昭和39年 県立遠野高校より分離独立、県立遠野農業高等学校となる
- 昭和55年 新校舎落成並びに創立30周年記念式典
昭和63年 創立40周年記念式典挙行政
平成2年 情報処理科新設（1学級募集）
校名を岩手県立遠野緑峰高等学校と改称
平成3年 アメリカ・テネシー州チャタヌーガCSA
S校に生徒派遣（第1回）
平成4年 総合農業科・生活科学科各1学級を募集停止し、生産技術科を新設（1学級募集）情報処理科2学級募集
平成10年 創立50周年記念式典挙行政
第49回日本学校農業クラブ連盟全国大会プロジェクト発表Bの部 最優秀賞農林水産大臣賞受賞
平成11年 岩手県教育委員会「はばたき賞」いわてユネスコ科学賞受賞
平成12年 第51回日本学校農業クラブ連盟全国大会プロジェクト発表Bの部 最優秀賞農林水産大臣賞受賞
平成13年 岩手県教育委員会「はばたき賞」優秀賞受賞
農業鑑定競技農業の部 優秀賞受賞
岩手県教育表彰（事績顕著者学校教育）情報処理科1学級募集
平成14年 第53回日本学校農業クラブ連盟全国大会農業鑑定競技生活科学の部 優秀賞受賞
第12回全国産業教育フェア意見・体験発表大会 文部科学大臣奨励賞受賞
平成15年 第54回日本学校農業クラブ連盟全国大会農業鑑定競技生活科学の部 優秀賞受賞
平成16年 「畑のヨーグルト遠野からのおくりもの」商標登録
平成20年 創立60周年記念式講演会
第59回日本学校農業クラブ連盟全国大会農業鑑定競技の部最優秀賞・農林水産大臣賞受賞
平成21年 岩手県教育委員会「はばたき賞」2名（個人）受賞
平成22年 第40回岩手県高等学校生徒商業研究発表大会第1位
平成23年 岩手県高等学校珠算・電卓競技大会新人大会電卓団体の部優勝
平成24年 岩手県高等学校珠算・電卓競技大会電卓団体の部優勝、新人大会電卓団体の部優勝

●地域の状況

市内を一望することができる松崎町に位置し、最近住宅化が進んではいるが、付近に遠野八幡宮があるなど、緑が多く自然環境に恵まれている。四季の移ろいのよく分かるこの美しい環境のもとで、生徒は伸び伸びと部活動や学習に励んでいる。

●目指す学校像

- 1 農と商の融合
専門性の深化、地域の産業界への対応、農・商教育による人づくり
- 2 地域を支える人材の育成
確かな学力（基礎学力・健康な体・豊かな心社会的マナー等の定着）
- 3 地域ニーズへの対応・中学生が学びたいと思う学校づくり
教育内容の充実（魅力ある教育課程）、情報発信の工夫

●今後の取組方針

- 1 学習指導の充実＜基礎学力、授業力の向上＞
「わかる授業」「わからせる授業」の実践
- 2 生徒指導の充実＜基本的な生活習慣の確立＞
服装、身だしなみ等の指導の徹底
- 3 進路指導の充実＜個に応じた進路目標の確立と達成＞
- 4 地域との連携・協働の充実＜地域の関連施設等と連携した教育の場の設定＞
- 5 震災復興教育の取組＜安全教育と復興支援＞

●学科の目標

- 1 生産技術科
教科「農業」と「家庭」の各分野の学習を通して、学校生活や社会生活において、自ら課題を見つけ解決できる能力と実践力を育てる。
- 2 情報処理科
ビジネスに関する各分野についての知識と技術を習得させ、社会人として適切に対応できる能力と態度を育てるとともに、地域社会に貢献する人材を育成する。

●特色ある教育活動

- ・農業クラブ・商業クラブ等の自主的活動
（先進農家宿泊研修、意見発表会、チャレンジショップ等）
- ・総合学習による地元学学習・「遠野ゼミナール」
（市内の史跡巡り、遠野物語講演など）

(5) 平成26年度 校長・副校長・各主任者等一覽

平成26年4月1日現在

学校名	校長	副校長	教務主任	研究主任	生徒指導 主事	保健主事	進路指導 主事	司書教諭
1 遠野	菊池 都代子	佐藤 均	佐々木 美紀	柳下 美智代	榊原 正弥	小原 睦子		鈴木 幸枝
2 遠野北	菊池 和子	門田 徹	柄内 秀茂	鈴木 久美子	小原 大祐	渋谷 明美		青山 祥子
3 綾織	多田 功一	富士川 澄	佐々木 収子	市野川 淑子	松浦 英明	中澤山 幸子		
4 小友	鈴木 祥子	佐々木 和彦	菊池 国子	大西 淳子	小泉 正俊	二上 敏哉		
5 附馬牛	佐々木 一人	佐藤 弘幸	小椋 孝史	菊池 和恵	松橋 詞子	菊池 純子		
6 土淵	川崎 一弘	佐藤 嘉宏	阿部 勢津子	小笠原 恵	山岡 勝利	村上 美恵子		
7 青笹	吉野 新平	奥田 恵司	中嶋 るみ	菊池 真紀子	加藤 拓	泉田 智恵子		
8 上郷	佐藤 智一 (坂下 明洋)	千葉 裕之	鈴木 崇	千葉 道子	佐々木 香理	奥田 明代		
9 宮守	菊池 香南子	小野 紀子	菊池 智尋	沖村 正行	川村 透	熊谷 真由美		
10 鱒沢	猪股 正光	藤田 知也	今淵 富士子	沼田 玲子	佐藤 宏往	立花 弥代子		
11 達首部	高橋 悦子	佐々木 俊子	小田島 一恵	菅原 真	廣田 秀樹	佐々木 幸子		
1 遠野	牧野 和男	石橋 和彦	佐々木 比奈子	西田 牧恵	橋本 大助	小泉 礼	土谷 文子	小山 尚也
2 遠野東	三浦 和人	高橋 栄子	鈴木 学	宮島 慶子	前川 貴子	高橋 美智子	鎌田 久美子	
3 遠野西	菊池 塔寿	小向 敏夫	菊池 傑	菊池 ゆかり	赤坂 康紀	阿部 貴子	土谷 雄介	

学校名	1学年主任	2学年主任	3学年主任	4学年主任	5学年主任	6学年主任
小学校						6学年主任 熊谷 真弓
中学校	小泉 礼	浅沼 美紀子	山内 薫			
遠野東			鈴木 学			

○主任事務主査 遠野小学校：菊池 信吉、青笹小学校：千葉 純子、上郷小学校：多田 一也、達首部小学校：佐々木 淳子
遠野中学校：菊池 和子、遠野西中学校：藤原 淳一

○事務主査 小友小学校：藤原 みわ子、宮守小学校：千葉 雅世

○事務主任 遠野北小学校：小田嶋 圭子、土淵小学校：村上 誠一

(6) 主要事業

子どもたちが、将来の多くの難問課題を克服し、夢と希望をもって、たくましく力強く生き抜いて、ふるさと遠野や日本、さらには世界の発展に貢献する人材となるよう育成する。

また、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」に向けて取り組むことにより、子どもたちに「生きる力」を身につけさせる義務教育の機会を保障する。特に、知識基盤社会という時代に対応するための学力向上を、本市の重要課題として重点的に取り組む。

【学力向上の推進】

1 学力向上対策会議（平成 25 年度から遠野市教育研究所が所管する）

2 教育研究指定校（平成 26 年度から遠野市教育研究所が所管する）

(1) 目的

市内小・中学校に研究校を指定し、指定された学校で研究開発や研究実践を進め、その成果を発表することにより、市内小中学校の研究や教育実践の向上を図る。

(2) 教育研究指定校

① 平成 25・26 年度遠野市教育委員会指定

附馬牛小学校（教育課程一般） 学校公開研究会 平成 26 年 11 月 7 日（金）

青笹小学校（教育課程一般） 学校公開研究会 平成 26 年 10 月 9 日（木）

宮守小学校（教育課程一般） 学校公開研究会 平成 26 年 9 月 25 日（木）

② 平成 26・27 年度遠野市教育委員会指定

遠野中学校、上郷小学校、鱒沢小学校（いずれも教育課程一般）

3 授業力向上のための「一人一授業」

(1) 目的

学級担任、教科担任をもつ教師が 1 年に 1 度、原則として助言者を位置付けた研究授業を実施することにより、授業技術、教師としての資質向上を目指す。

(2) 取組内容

- ・ 研究授業は、学力向上研究員部会等での授業提供（教育研究所主催事業）、校内研、5 年研、10 年研、市教研、ブラッシュアップ、公開研究会等で代替できる。
- ・ 校内研の場合、全体研でなくてもよい（教科研、学年研等）。
- ・ 教科指導、道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動が対象。
- ・ TT や少人数指導を位置付けている学校は、その形態でよい。
- ・ 助言者は外部からの招聘をはじめ、校長、副校長等とする。
- ・ 授業を担当していない教務主任等は、助言者として研究会に関わる。
- ・ 指導案を作成する。

4 授業力向上のための「相互研修」（含 学力向上研究員部会）

(1) 目的

校内での授業研究会等に他校の教員が参加することにより、公開研究会などと同様に教員研修の場を広める機会を提供する。併せて、校内研修会の活性化の一助とする。

(2) 取組内容

- ・ 3 中学校区内の実施校が学力向上研究員部会及び校内研修会を実施する期日、教科・単元、学年を学区内の各学校へ連絡する。
- ・ 校長は、事業の趣旨を判断し、教員の校内研修会等への参加を奨励する。
- ・ 各学校は実施校に参加者を連絡する。

5 学校教育専門員の活用（平成 26 年度から遠野市教育研究所所属）

(1) 目的

授業に関する具体的指導・支援を行うことを通して、教員の指導力を向上させるとともに、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 主な内容

- ① 学力向上研究員部会での指導・助言
- ② 事前指導（教材研究など）
- ③ 授業参観と助言
- ④ 校内研究会助言
- ⑤ 事後指導

(3) 配置対象校

市内全小中学校

(4) その他

必ずしも全体研究、研修会としなくてもよい。個別研修も可能。

6 外国人講師招へい事業

(1) 目的

国際化の進展に対応し、次代に生きる日本人を育成するために、児童生徒の国際的視野を広げ、国際理解を深め、国際協調の精神を養うとともに、国際社会に貢献できる資質と能力の育成を図る。また、各国の文化を正しく理解し、互いに尊重し合うために外国語伝達能力の向上を図る。

(2) 勤務内容及び勤務場所

- ① 学校訪問の内容は、中学校英語及び小学校外国語活動の指導の助手を主とする。
- ② 学級数に応じて訪問計画を立てることとする。

7 幼稚園・保育園・小学校交流研修会

(1) 目的

市内の幼稚園・保育園（所）・小学校の教職員が、授業や保育を参観し交流を深めることにより、それぞれの実態や改善点を理解し合い、幼・保・小の連携を深めるとともに、幼児期及び少年期の教育の充実を図る。

(2) 内容

- ① 授業（保育）参観と意見交流
- ② 特別支援教育研修

(3) 対象 遠野市内幼稚園・保育園（所）・小学校教職員

(4) 期日及び会場

平成 26 年 6 月 11 日（水） 綾織小学校（授業参観と情報交換会）

平成 26 年 9 月 1 日（月）～30 日（火） 各小学校区で主体的に実施する。

【特別支援教育の充実】

1 特別支援教育推進事業

(1) 特別支援教育支援員の配置

① 目的

通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒(以下「要支援児童生徒」という)に対して、学校生活上の介助、学習活動上の支援等を行う特別支援教育支援員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応える。

② 内容

- ・ 要支援児童生徒の学校生活上の介助
- ・ 要支援児童生徒の学習活動上の支援
- ・ その他目的達成のため所属長が必要と認めた事項で所属長の承認を得たもの

③ 特別支援教育支援員数 16名

④ 配置校

遠野小2名、遠野北小3名、小友小1名、附馬牛小1名、青笹小1名、宮守小1名、鱒沢小1名、達曾部小3名、遠野中1名、遠野東中1名、遠野西中1名

(2) 学習指導講師の配置

① 目的

通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒(以下「要支援児童生徒」という)に対して、学習活動上の支援及び発達上の課題改善に向けた支援等を行う学習指導講師を配置し、一人一人の教育的ニーズに応える。

② 内容

- ・ 要支援児童生徒の学習活動上の支援
- ・ 要支援児童生徒の抱える発達上の課題改善に向けた支援
- ・ その他目的達成のため所属長が必要と認めた事項

③ 学習指導講師数 1名

2 就学指導委員会

(1) 目的

障がいのある児童生徒の適切な就学指導を推進するために、様々な分野の専門家が個々の児童生徒の障がいの種類や程度について調査や審議を行い、市教育委員会に対して助言を行う。

(2) 期日

第1回遠野市就学指導委員会 平成26年5月14日(水)

第2回遠野市就学指導委員会 平成26年10月15日(水)

第3回遠野市就学指導委員会 平成26年11月28日(金)

(3) 事務日程

○ 就学指導事務の日程（特別支援学級による指導を措置する場合）

月日	幼稚園・保育所	小・中学校	市教育委員会 (市就学指導委員会)
4月	・園内就学指導委員会	・校内就学指導委員会 (要観察児童・生徒の確認)	・特別支援学校就学者関係票簿の整理 ・特別支援教育推進会議 (「就学指導のしおり」の説明) ・就学指導計画の策定 ・対象児童生徒の把握 (幼稚園、保育所に照会)
5月			・特別支援教育関係諸調査の処理 ・教育相談と資料収集 ・就学指導委員会①(計画・言語) ※特別支援教育関係諸調査の実施(県) ※就学支援担当者研修会
6月			
7月	・就学相談 ・知能検査 ・園内就学指導委員会	・就学相談 ・知能検査 ・校内就学指導委員会	・就学児の言語検査 ・教育相談会(各園を巡回) ・就学相談会①(就学予定者) ・就学指導説明(校長会議)
8月	・就学指導個票作成	・就学指導個票作成	
9月	※特別支援学級見学	※特別支援学級見学	・就学相談会②(就学予定者)
10月	・就学指導個票提出	・就学指導個票提出	・就学予定者学齢簿作成
10月15日	・審議結果を受けての園内 就学指導委員会の開催	・審議結果を受けての校内 就学指導委員会の開催	・就学指導委員会②(知的・情緒等)
10月22日 ～	・就学指導委員会結果を参 考に、就学相談を実施	・就学指導委員会結果を参 考に、就学相談を実施	・就学指導委員会の結果通知
11月	・保護者による特別支援学 級見学 ・園内就学指導委員会 (就学相談状況の確認)	・保護者による特別支援学級 見学 ・校内就学指導委員会 (就学相談状況の確認)	・就学児健康診断 ・就学指導委員会③(言語等) ・就学相談会③(就学予定者)
12月	・特別支援学級入級承諾書 の提出 ・園内就学指導委員会 (次年度の就学先、教育措 置の確認)	・特別支援学級入級承諾書の 提出 ・校内就学指導委員会 (次年度の就学先、教育措 置の確認)	・特別支援学級入級承諾書の受領 ・判断が困難な特別支援学校の就 学予定者については県に就学助 言を依頼する
12月上旬 まで	・保護者による特別支援学 校での教育相談	・保護者による特別支援学 校での教育相談	
12月15日	・障がいの証明に足りる関 係書類の提出 ○児童相談所等の判定 書(写) ○就学指導個票(写) ○身体障害者手帳(障が い名及び障がいの程度が記 載されたページの写) ※いずれか1点	・障がいの証明に足りる関係書 類の提出 ○児童相談所等の判定書 (写) ○就学指導個票(写) ○身体障害者手帳(障がい 名及び障がいの程度が記 載されたページの写) ※いずれか1点	
12月末日			・県教育委員会に対する就学通知 と学齢簿謄本の送付
1月			・就学通知
2月			
3月		・特別支援学級入級者の決定 ・特別支援学級入級者名簿提 出	

○ 就学指導事務の日程（通級・巡回による指導を措置する場合）

月日	小・中学校	子育て総合支援課 (幼児ことばの教室)	市教育委員会 (市就学指導委員会)
4月	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室設置校では、通級・巡回指導を受けている児童の状況を把握し、就学指導個票を作成する。 他の学校では、特別な配慮を要する児童がいないかを確認し、必要な場合は言語検査を行う。この場合において、保護者の同意を必ず得てから検査を実施する。 前年度就学指導委員会において通級による指導が適当と判断された児童及び言語検査を実施した結果通級による指導が適当となる可能性のある児童の就学指導個票の作成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議 検査員の委嘱 ことばの教室巡回指導計画作成 ことばの教室巡回指導開始 	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導計画の策定 ことばの教室巡回指導計画作成 ことばの教室巡回指導開始
5月		<ul style="list-style-type: none"> 5歳児言語検査の依頼 (保育園、幼稚園あて) 	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導委員会①（計画）
6月		<ul style="list-style-type: none"> 5歳児言語検査 (保育園、幼稚園を巡回して実施) 検査結果の通知 就学指導の説明（校長会議） 	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導の説明（校長会議）
7月		<ul style="list-style-type: none"> 幼児ことばの教室入級相談 	
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> 校内就学指導委員会 就学指導個票作成 	<ul style="list-style-type: none"> 就学児の言語検査 4歳児言語検査の依頼 (保育園、幼稚園あて) 就学指導個票作成 	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導個票作成
10月	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導個票提出 	<ul style="list-style-type: none"> 4歳児言語検査 (保育園、幼稚園を巡回して実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導委員会②（知的）
			<ul style="list-style-type: none"> 就学指導委員会の結果通知
11月		<ul style="list-style-type: none"> 検査結果の通知 幼児ことばの教室入級相談 	<ul style="list-style-type: none"> 就学時健康診断 就学指導委員会③（言語） 就学指導委員会の結果通知
12月	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導委員会結果を参考に、教育相談を実施 校内就学指導委員会 (就学相談状況の確認) 		
1月		<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室相談会 	
2月			
3月	<ul style="list-style-type: none"> 通級による指導申請 		<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室巡回指導説明 通級・巡回による指導措置決定 学校、保護者へ通知

(4) 委員

①医師 ②識見を有する者 ③関係教育機関の職員 ④関係行政機関の職員

(5) 調査員

遠野市立小中学校に在籍又は就学する児童生徒の適切な就学指導（支援）を行うために、専門的事項を調査することを目的として派遣する。

(6) その他

- 就学指導を進めるにあたっては、特別支援教育推進会議での資料を参照のこと。
- 気になる児童生徒(知的、発達障がい、言語)について、検査を実施する場合は必ず保護者の同意を得ること。
- 望ましい就学先を検討するにあたって、保護者の意見が必要であること。

【豊かな心を育む教育の推進】

1 道徳地区公開講座

(1) 目的

保護者はもとより地域に広く道徳の授業を公開することを通して、道徳教育についての理解を得るとともに、道徳教育の要としての「道徳の時間」の充実を図る。

(2) 実施校

市内全小中学校

2 JFAこころのプロジェクト - 遠野わらすっこ「夢の教室」

(1) 目的

公益財団法人日本サッカー協会（JFA）によって運営されている「JFAこころのプロジェクト」を活用し、人格形成において重要な時期である小学校高学年の児童が、指導講師（夢先生）の授業を通し、夢や目標を持ち、自律及び共同の精神や規範意識に基づき主体的に生きていく心情や態度等、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深めさせる。

(2) 平成26年度の実施校（市内5小学校、全7回）

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| ① 遠野小学校 | 5年生（2回） | 8月26日（火） |
| ② 遠野北小学校 | 5年生（2回） | 8月27日（水） |
| ③ 青笹小学校 | 5年生 | 9月2日（火） |
| ④ 上郷小学校 | 5年生 | 9月29日（月） |
| ⑤ 宮守小学校 | 5年生 | 11月13日（木） |

(3) その他

(2)で示した日程の前後であれば、「夢の教室」のため来遠した講師を活用し、講演会、実技指導等を実施することができる。

ただし、講師謝礼が別途必要になるので、希望する場合は連絡すること。（中学校、PTA、地域からの依頼でも可能）

3 文化行事奨励事業

(1) 目的

各種文化行事を実施することにより、芸術に親しみ児童生徒の感性や表現力を養うとともに、学校間の交流を通して目標に向かって努力すること、学校としてのまとまりや所属感、向上心、友情などを養い、もって心の教育の充実に資する。

(2) 内容

- | | |
|---------------|--|
| ① 小中学校児童生徒作品展 | 平成26年12月26日（金）～平成27年1月9日（金）
※会場 市民センター大ホール ホワイエ
※作品搬入12月25日（木）
※作品搬出1月9日（金） |
| ② 小中学校児童生徒文集 | 応募締切 平成26年10月31日（金）予定 |

4 平成・南部藩寺子屋交流事業

(1) 目的

根城南部氏の縁でつながる八戸市との児童交流を通じ、日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。

(2) 事業内容

- ① 交流事業 児童交流会等
- ② 派遣事業 表敬訪問、市内見学、児童交流会等

(3) 実施期日等

- ① 八戸市小学生使節団との交流事業（以下「交流事業」という。）
平成26年7月28日（月）～7月30日（水）【児童参加28日のみ】
- ② 遠野市少年使節団派遣事業（以下「派遣事業」という。）
平成26年8月2日（土）～8月3日（日）【1泊2日】

(4) 推進日程

- ① 八戸市との事前協議 平成26年5月中旬
- ② 引率者打ち合わせ会 平成26年6月9日（月）
- ③ 事前研修会（引率教員・児童対象） 平成26年7月2日（水）・7月9日（水）
- ④ 記録集「きずな」の発行

(5) 交流の主会場

- ① 交流事業 あえりあ遠野、市立博物館、鍋倉公園
- ② 派遣事業 青森県立種差少年自然の家

(6) 参加者

- ① 児童
遠野市内小学校6年生に在籍する児童とする。学校または地域におけるリーダー的存在であり、学校長の推薦を受けた者
- ② 引率者
教育長が委嘱する者

(7) 参加者数

小学生 26名（予定）遠野小と遠野北小は男女2名ずつ、他の小学校は男女1名ずつ
引率教員 4名
教育委員会事務局員 2名

【特色ある学校づくりの推進】

1 特色ある学校づくり推進事業

(1) 目的

学校が、地域の特性や児童生徒の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。

(2) 内容

- ① 自然を愛し共生する心を育む学習の推進
- ② 「健やかに人が輝くまちづくり」に関する学習の推進
- ③ 「活力を創意で築くまちづくり」に関する学習の推進
- ④ 「ふるさとの文化の継承・創造」に関する学習の推進
- ⑤ 「みんなで考え支えあうまちづくり」に関する学習の推進

(3) 実施期日

平成26年4月1日～平成27年3月31日

【学校経営の質的向上】

1 学校懇談会

(1) 目的

教育委員等が学校を訪問し、授業参観や施設見学等とおして、学校の実態を把握するとともに、学校における教育上の諸問題について懇談し、教育活動の充実及び教育行政の推進に役立てる。

(2) 内容

授業参観、施設視察、懇談会

(3) 期日

平成26年7月4日（金） 遠野小学校

平成26年8月27日（水） 土淵小学校

平成26年11月11日（火） 宮守小学校

(4) 出席者

教育委員 教務課長 学校教育課長 当該校教職員 指導主事等

2 教務主任会議

(1) 目的

平成27年度の岩手県・遠野市の教育行政についての理解を深め、教育課程編成及び実施に役立てる。

(2) 内容

① 次年度の岩手県教育委員会、中部教育事務所、遠野市教育委員会事業について

② 教育課程の編成・年間計画について

(3) 期日 平成27年2月24日（火）

(4) 会場 本庁舎西館 3階 会議室

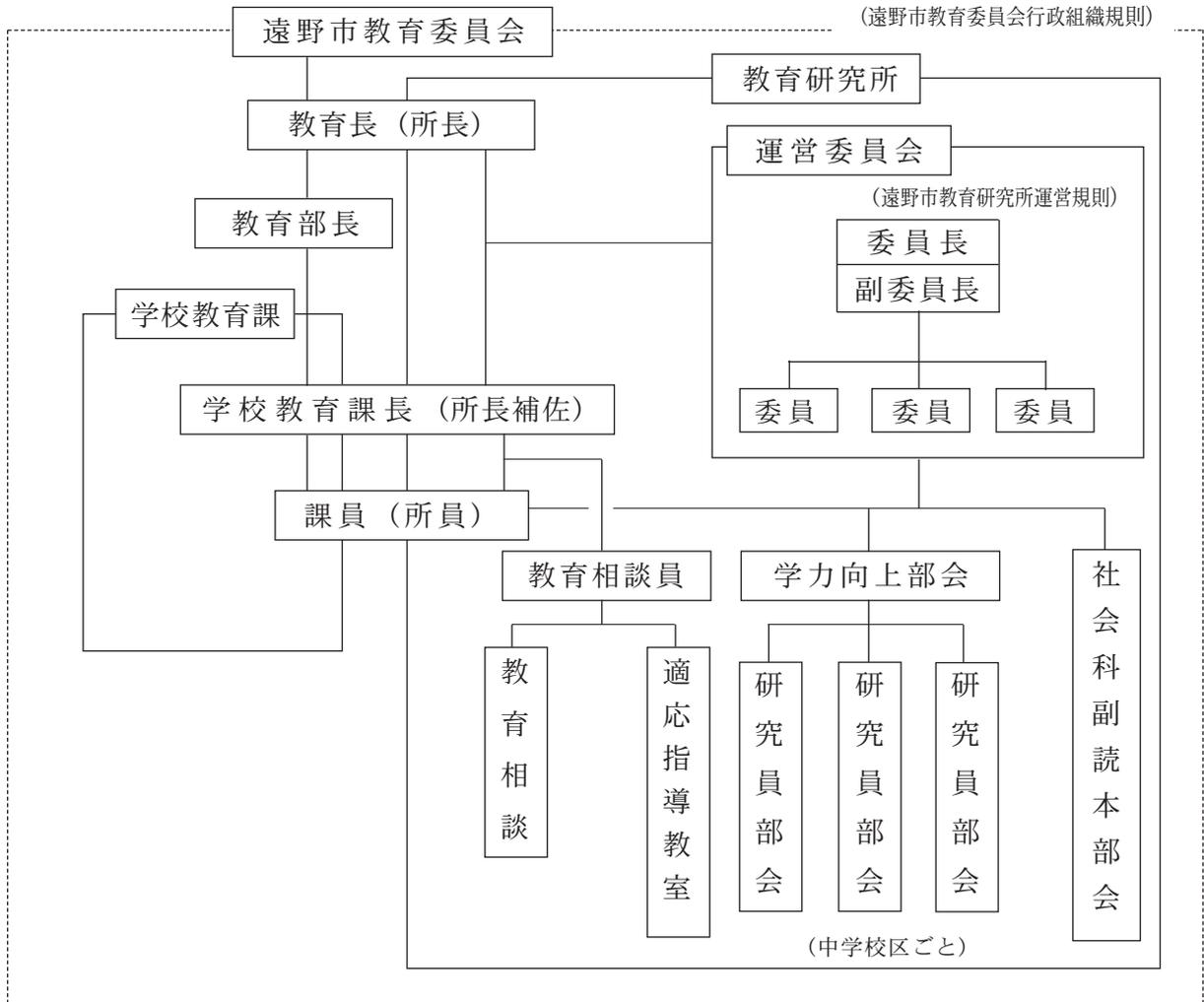
(5) 対象 市内小中学校教務主任

【遠野市教育研究所事業】

1 目的

遠野市学校教育の諸問題について調査・研究し、その成果を教育研究発表会や教育研究所の諸事業で発表することにより、本市学校教育の向上に資する。また、他地区教育研究所との情報交換を通して教育研究についての研修を深める。

2 教育研究所組織図



研 究 推 進	研究員部会	学力向上研究員部会(中学校区ごと 年6回程開催) 社会科副読本部会(年6回程開催)
	研究発表会等	全体研修会 教育研究発表会 環境・科学研究発表会
	学力実態調査	標準学力検査(NRT)及び知能検査の実施 (小学校2年生～中学校3年生対象)
教 育 相 談	まごころ教育相談	教育上の問題点や悩みの相談 学校不適應児童生徒の支援
	適応指導教室	不登校児童生徒の学校復帰支援
事務局	事務局	予算・決算、連絡・調整 運営委員会等の資料準備 他の研究機関との連携

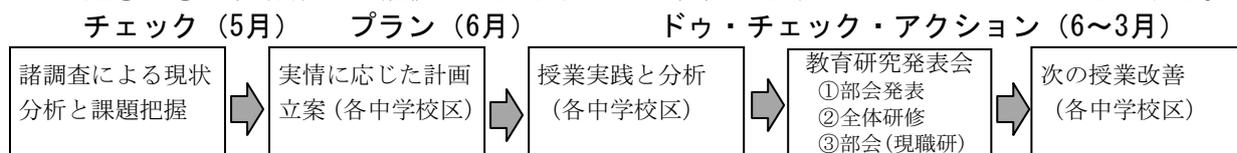
3 研究推進の具体

中学校の再編成を契機に、遠野市学校教育の重要課題である「学力向上の推進」に係り、教育研究所研究推進事業の抜本的な改善を実施する。

具体的には、

- ① 現行の「研究員部会」中の「学力向上部会(算数・数学、外国語活動・英語)」を「学力向上部会(3中学校区)」とし、教科等に縛られない取組とする。
- ② 現行の「学力実態調査(NRTの実施と分析)」を「学力実態調査(NRTと知能検査の実施と分析)」とし、知能と学力の相関をもって、児童生徒一人一人、学年、学校、校種、遠野市の学力実態を把握する。
- ③ 教育研究発表会の内容の明確化(①部会発表、②全体研修、③部会(現職研修))を図る。

上記①～③を、有機的・継続的に実践するため、次のようなサイクルで研究を推進する。



(1) 改善の方向(左の枠組中は従前、右は H25 年度以降)

○学力実態調査について

標準学力検査(NRT検査)



標準学力検査(NRT検査)＋知能検査

- － 標準学力検査(NRT検査)と知能検査でバッテリーを組み、児童生徒の個々の学力を義務教育期間、継続して把握できる仕組みを構築する。
- － 標準学力検査(NRT検査)結果から、各学年の現状分析、課題把握をし、授業によりその課題解決を図る仕組みを構築する。
- － 中学校区ごとに学力向上に取り組み、小中学校の学習面での滑らかな接続ができる仕組みを構築する。

○組織及び会議について

1 組織について

学力向上部会(研究所主催)年6回程度
算数・数学、外国語活動・英語の2
部会。運営委員、事務局、研究員で
組織



学力向上研究員部会(研究所主催)年6回程度
学力向上研究員部会を各中学校区で組
織。運営委員(校長1)、部会長(副校長1)、
研究員(各校研究主任)で組織

- － 中学校区ごとに開催、授業改善に係る協議等を実施する。
- － 上記取組は、各学校の校内研究に反映させ、当該校の実践的な授業改善に資する。
- － 上記取組の成果と課題等については、「遠野市教育研究所研究発表会」で発表する。
- － 教育委員会は、上記部会に「学校教育専門員」、「指導主事」等を派遣し支援する。

運営委員(校長4人)
運営委員長1＋各部会3



運営委員(校長5人)
運営委員長1＋中学校区3＋社会科副読本部会1

- － 運営委員会の委員は、遠野市教育委員会が任命する。(遠野市教育研究所条例施行規則第2条3)
- － 運営委員会の委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。(同規則第2条4)
- － 運営委員会は、10人以内の委員をもって構成し委員の互選による委員長及び副委員長各1人を置く。(同規則第2条2)

事務局(副校長3人)
算数・数学1＋外国語・英語1＋社会科副読
本1



部会長(副校長4人)
中学校区3＋社会科副読本部会
1

- － 部会長は、所属する部会の運営委員の指導の下、「研究員部会」を総理し、運営にあたる。
- － 部会長は、「研究員部会」運営の連絡調整にあたる。

○ 会議について

研究所運営委員会(研究所主催)年3回

→

研究所運営委員会(研究所主催)年3回

- ー 遠野市教育研究所の運営について必要な事項を調査審議するため、遠野市教育研究所運営委員会を置く(遠野市教育研究所条例施行規則第2条)。

期日(予定)	主な内容
4/11(金)	研究所事業及び研究所運営について
11/25(火)	各中学校区の課題の把握 各中学校区の間接総括(県学調の分析を含む) 教育研究発表会について
2/9(月)	今年度総括と次年度計画

学力向上対策会議(教委主催)年3回
年3回、各会出席者が異なる

→

学力向上対策会議(教育研究所主催)年3回
部会長(副校長)、教務主任・研究主任

- ー 教務主任との情報共有等により、各校の実情に応じた取組に係る日程調整が可能となる。
- ー 3回の会議開催予定日及び内容は次のとおり

期日(予定)	主な内容
5/9(金)	学力実態調査による市の現状把握と各中学校区の課題の把握
11/12(水)	各中学校区の間接総括(県学調の分析を含む)と交流、今後の取組
2/2(月)	今年度総括と次年度取組

(2) 改善の具体

○学力実態調査

標準学力検査	小学校2年生～5年生	国語・算数
	小学校6年生～中学校1年生	国語・算数・社会・理科
	中学校2年生～3年生	国語・社会・数学・理科・英語
知能検査	小学校2年生～中学校3年生	
※実施期間	平成26年4月8日(火)～25日(金)	

○学力向上研究員部会(年6回程度、中学校区による3部会がそれぞれの会場で実施する)

- ・ 遠野中学校区(運営委員1(中学校区校長)、部会長1(中学校区副校長)、研究主任5)
- ・ 遠野東中学校区(運営委員1(中学校区校長)、部会長1(中学校区副校長)、研究主任4)
- ・ 遠野西中学校区(運営委員1(中学校区校長)、部会長1(中学校区副校長)、研究主任5)

事業名	主な内容	期日
学力向上研究員部会①	実践研究の進め方について 標準学力検査(NRT検査)と知能検査の現状把握 中学校区の課題の把握	4/28(月)
学力向上研究員部会②	例:中学校1年生の授業参観、研究協議	中学校区毎
学力向上研究員部会③	例:中学校教諭による小学校6年生での出前授業、研究協議	中学校区毎
学力向上研究員部会④	中学校区の間接総括(県学調の分析を含む)と交流 今後の取組	10/31(金)
学力向上研究員部会⑤	例:授業参観及び実践研究のまとめ	12/3(水)
学力向上研究員部会⑥	今年度総括と次年度計画、発表準備	12/26(金)

○社会科副読本部会（年6回程度）

- ・ 運営委員1（校長）、部会長1（副校長）、小学校教諭4、中学校教諭2
- ・ 副読本の有効活用の手立てとして、小学校には評価問題例を提示する。

事業名	主な内容	期日
社会科副読本部会①	研究の進め方について	4/28(月)
社会科副読本部会②	副読本の有効活用の手立て①	6/ 2(月)
社会科副読本部会③	副読本の有効活用の手立て②	8/29(金)
社会科副読本部会④	副読本の有効活用の手立て③	10/31(金)
社会科副読本部会⑤	副読本の有効活用の手立て④	12/ 3(水)
社会科副読本部会⑥	今年度総括と次年度計画	12/26(金)

5 まごころ教育相談

(1) 目的

学校や教職員の教育相談を通して、学校経営の円滑化を図るとともに、児童生徒・保護者の教育相談を通して不安や悩みを解消し、学校生活の意欲化を図る。

(2) 相談内容 教育相談員等による教育相談

(3) 相談日 月曜日～金曜日

(4) 開設場所 教育委員会事務局学校教育課

6 適応指導教室（かりんルーム）

(1) 目的

不登校になった児童生徒の学校復帰を援助することを目的とする。

(2) 援助活動の重点

- ・ 生活のリズムを整え、自立の心を育てる。
- ・ 集団生活への適応力を育てる。
- ・ 学力や体力に対する不安を軽減させる。
- ・ 学校・家庭・教室が一体となって共同支援をする。

(3) 開設場所 市民センター研修室等

(4) 援助体制 教育研究所教育相談員が担当する。

(5) 入級対象児童生徒

本人、保護者が入級を希望する児童生徒

(7) 生徒指導の重点

1 方針

社会の変化に対応しながら、次代をたくましく生き抜く資質を備え、自立した人間の育成をめざす。

- ・ 児童生徒が将来に対し夢をもち、その夢を実現するための規律を身に付けたり、目標達成意欲をもったりすることができるように、健全な環境作りに努める。
- ・ 関係機関・団体との連携を密にし、児童生徒の健全育成のための実践的活動を推進する。

2 指導の重点

- ・ 児童生徒一人一人の居場所がある学級・学校経営の充実
- ・ 学校間・関係機関との連携の強化によるいじめや非行の防止、環境浄化活動の展開
- ・ 情報活用指導の充実（情報モラルやインターネット上のトラブル回避など）
- ・ 自主的・自治的態度を高める児童会・生徒会活動の展開
- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- ・ 児童生徒の悩み等に対する教育相談の充実

3 児童生徒のさまざまな問題への指導

① 「いじめ」に対する取組

「いじめ」は、「どの学校でも、どの子にも起こりうる」問題であることを十分認識し、『いじめ防止基本方針』及び関係機関を含む連携体制を整え、指導の一層の充実を図る。

② 「情報活用」の指導

- ・ 携帯・スマートフォンやインターネットによるトラブルを防止するために、情報モラルやトラブル回避について十分に指導し、健全な情報活用に努める。
- ・ 児童生徒が事件や事故に巻き込まれないようにするために、フィルタリングやペアレンタルコントロール等について、保護者への啓発を図る。

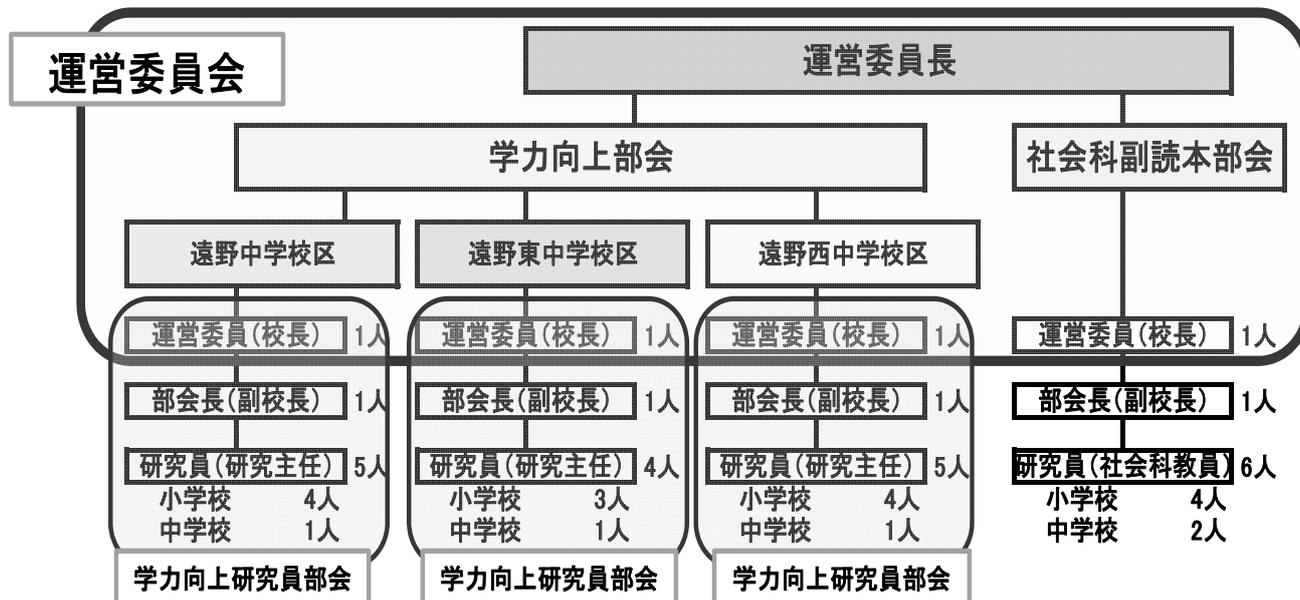
③ 「不登校傾向を有する児童生徒」への指導

不登校児童生徒への指導援助について、校内研修を推進し、意図的・継続的・組織的な指導を実践するとともに、未然防止を目的とした積極的生徒指導に努める。

【参考資料】

平成26年度遠野市教育研究所研究推進事業組織図及び遠野市教育委員会研究指定校一覧

1 平成26年度遠野市教育研究所 研究推進事業組織図



2 遠野市教育委員会 研究指定校一覧

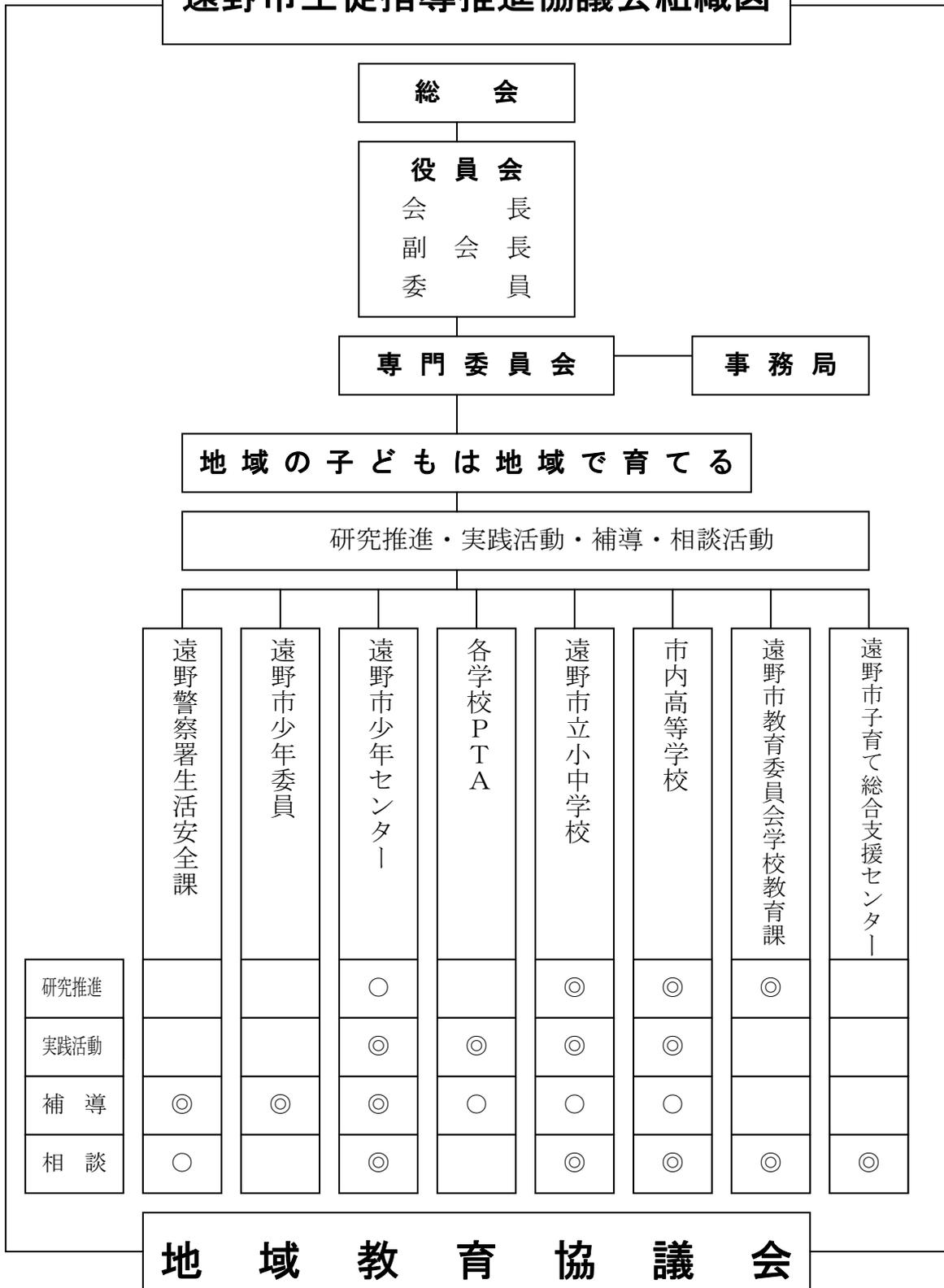
遠野中学校区	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
研究指定校(1年目)	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小
研究指定校(2年目)	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小
運営委員(校長)	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小
部会長(副校長)	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小

遠野東中学校区	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
研究指定校(1年目)	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	
研究指定校(2年目)		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中
運営委員(校長)	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	①	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	②
部会長(副校長)	土淵小	遠野東中	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	①	青笹小	上郷小	土淵小

遠野西中学校区	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
研究指定校(1年目)	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曽部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曽部小
研究指定校(2年目)	達曽部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曽部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小
運営委員(校長)	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曽部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曽部小
部会長(副校長)	小友小	達曽部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曽部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中

- ◎ 部会長は、研究指定校(2年目)の副校長が、翌年度担当することを原則とする。(網掛け参照)
→ このことにより、前年度の公開課題を当該年度の研究員に伝えることができ、課題解決の連続性を図ることができる。
- ◎ 運営委員は、研究指定校(1年目)の校長が、当該年度担当することを原則とする。
- ◎ 学校公開研究会は、各校とも5年に1回の割合で実施する。
- ◎ 遠野東中学区は、学校数が4校であるため、学校公開研究会を実施しない年度がある。
- ◎ 上記に伴って、表中の①、②を担当する学校は、当該学校間で協議し、決定とする。

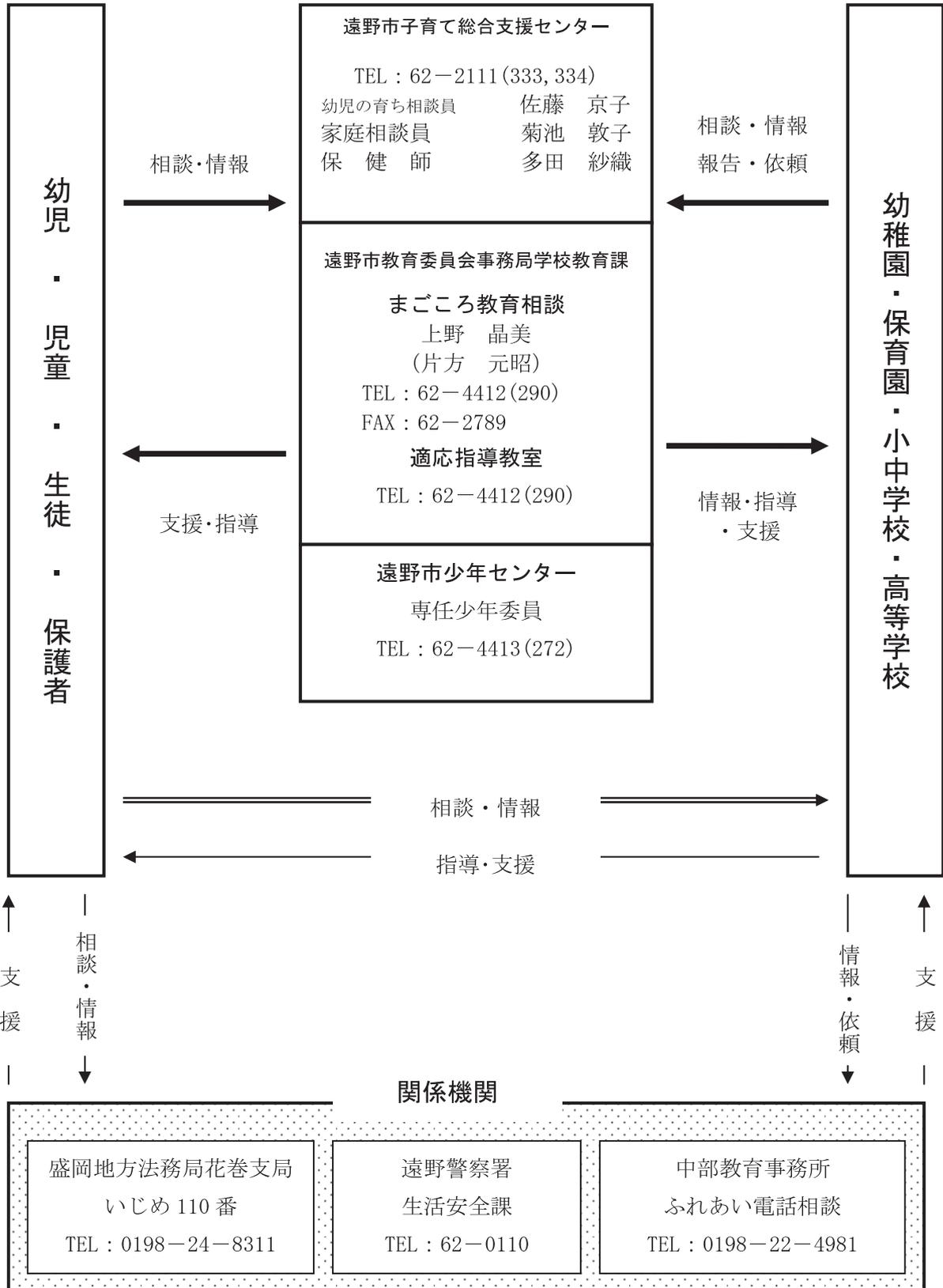
遠野市生徒指導推進協議会組織図



— 関係機関・団体 —

中部教育事務所・遠野市民生児童委員協議会・遠野市社会福祉協議会・遠野市
保育協会・花巻人権擁護委員協議会遠野連絡会・遠野地区保護司会・遠野地区
更生保護女性の会・遠野市少年委員協議会

【 遠野市教育相談ネットワーク 】



(8) 平成 26 年度学校評価

平成 26 年度学校評価実施要項

1 学校評価の目的

児童生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう、学校運営の改善と発展を目指すための取組である。

(1) 学校経営の改善

学校の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を評価することにより、組織的・継続的な改善を図る。

(2) 学校・家庭・地域の連携

学校評価の実施と結果の公表により、適切に説明責任を果たし、保護者や地域住民等の理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

(3) 教育水準の保証・向上

学校評価の結果を踏まえて、設置者（教育委員会）による学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

2 学校評価に関する法令

学校評価は、学校教育法及び学校教育法施行規則に規定されており、各学校は法令上、次の 3 項目を実施する必要がある。

(1) 教職員による自己評価を行い、結果を公表すること。

(2) 保護者などの学校関係者による評価（学校関係者評価）を行うとともに結果を公表するよう努めること。

(3) 自己評価・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること。

3 評価結果の公表・説明と設置者への報告

(1) 評価結果の公表・説明

- ・「学校の自己評価の結果」「学校関係者評価の結果」であることを明らかにして公表する。
- ・その結果を踏まえた今後の改善策について公表する。
- ・広く保護者や地域住民が知ることができる方法により公表する。

(2) 設置者への報告

- ・自己評価・学校関係者評価の結果、改善方策を設置者に報告する。
- ・自己評価を行う際に利用した生徒、保護者、地域住民からの意見や要望、アンケート結果など具体的な情報・資料を含めることとする。

4 留意事項

- ・「まなびフェスト」及び評価項目や指標、計画等について、児童生徒や保護者に知らせることはもとより、第 1 回地域教育協議会にて広く周知を図ること。
- ・評価項目や指標等は、各学校の重点目標等を達成するために必要なものについて、それぞれの特色や課題に応じて設定すること。
- ・岩手県教育委員会学校教育室及び岩手県立総合教育センターから平成 25 年 4 月に発行された、「学校評価の手引（小中学校編）」を参照すること。

5 学校評価推進日程（例）

月	実施者	内 容	対 象	備 考
4月	学校	・評価項目や指標、具体的計画等の共通理解	教職員 児童生徒 保護者 地域住民 地域教育協議会	新年度計画 始業式等 PTA総会 学校だより等 地域教育協議会
7月	学校	・自己評価の実施及び分析、2学期への活用		
12月	学校	・自己評価の実施及び分析、3学期への活用		
1月	学校	・自己評価の実施及び分析、新年度計画への活用		
2月	学校	・学校関係者評価の実施 ・評価結果の公表 ・設置者への報告	地域教育協議会 児童生徒 保護者 地域住民 教育委員会	学校だより等
3月	市教育委員会	・学校評価について報告	教育委員	教育委員会議

(9) 学校保健

① 学校保健関係事業

児童・生徒の健康

- ・児童・生徒の健康診断（年1回）
- ・尿検査（年1回）
- ・寄生虫卵検査（小1から小3まで）
- ・心臓検診（小1、小4、中1）
- ・生活習慣病予防健診（小4、中1）
- ・貧血検査（中1、中2）
- ・脊柱側弯検査（小5、中1）
- ・就学時健康診断（入学予定者）

② 児童生徒の体位（平成25年度男女平均値）

平成25年度 年齢別 身長・体重・座高の平均値

性別	年齢	身長				体重				座高			
		人数	市内平均	県平均	全国平均	人数	市内平均	県平均	全国平均	人数	市内平均	県平均	全国平均
男子平均	6	120	116.0	117.5	116.5	120	21.5	22.1	21.3	120	64.7	65.4	64.8
	7	93	123.4	122.6	122.4	93	25.4	24.3	24.0	93	68.2	67.8	67.6
	8	134	127.8	128.9	128.2	134	28.3	28.4	27.1	134	69.9	70.8	69.9
	9	122	133.8	133.9	133.6	122	31.9	32.8	30.5	122	72.9	73.0	72.6
	10	110	139.2	139.2	138.9	110	34.5	35.1	34.0	110	75.5	75.3	74.9
	11	117	146.1	146.0	145.0	117	40.6	39.8	38.2	117	78.3	78.4	77.5
	12	121	153.0	152.6	152.4	121	46.1	44.9	44.0	121	80.7	81.4	81.3
	13	123	160.6	160.1	159.5	123	52.4	50.1	49.0	123	86.5	85.5	84.9
	14	119	165.1	165.7	165.1	119	54.7	55.5	54.2	119	88.9	88.7	88.2

女子平均	6	121	115.4	116.1	115.6	121	21.2	21.4	20.9	121	64.2	64.7	64.4
	7	106	121.1	122.0	121.6	106	23.9	24.3	23.5	106	67.1	67.7	67.3
	8	83	126.8	128.1	127.4	83	27.2	27.6	26.3	83	69.8	70.3	69.9
	9	103	133.7	133.7	133.4	103	31.1	30.8	29.9	103	73.0	72.9	72.6
	10	120	140.1	140.8	140.1	120	35.5	35.3	34.0	120	76.1	76.4	75.8
	11	117	146.8	146.3	146.7	117	40.6	39.4	38.9	117	79.9	79.1	79.2
	12	103	152.4	151.8	151.9	103	46.7	44.7	43.7	103	83.3	82.1	82.2
	13	126	154.5	154.4	155.0	126	49.4	47.6	47.4	126	84.4	84.1	83.9
	14	126	155.3	156.6	156.5	126	52.5	50.7	49.9	126	85.2	85.3	84.9

③ 平成26年度 検診事業日程

1 教職員関係

内 容	実 施 期 間	対象者
胃がん及び 大腸がん検診	5月2日(金) 受付6:30～8:30 会場：宮守健康管理センター 5月7日(水)、8日(木)、9日(金) 受付6:30～8:30 会場：遠野市総合福祉センター	35歳以上
教職員健康診断	6月18日(水)、19日(木) 受付7:00～11:00 会場：遠野市総合福祉センター 6月20日(金) 受付7:30～11:00 会場：宮守健康管理センター	全員

2 児童・生徒関係

内 容	実 施 期 間	対象者
耳鼻科検診	4月15日(火)から6月18日(水)までの9日間	小1.2.3.5年 中1年
眼科検診	4月10日(木)、5月15日(木) 6月19日(木)	全員
尿 検 査	一次：5月14日(水)、15日(木)、22日(木) 二次：5月30日(金)、6月6日(金)	全員 一次有所見者
寄生虫卵検査	5月14日(水)、15日(木)	小1～3年
心臓検診	一次：5月30日(金) 6月10日(火)、17日(火)、18日(水) 23日(月) 二次：7月15日(火)	小1・4年 中1年
貧血検査	6月23日(月)～26日(木)	中1・2年
生活習慣病 予防健診 (中1は貧血 検査を含む)	6月23日(月)～26日(木)	小4年 中1年
脊柱側弯検診	9月17日(水)、18日(木)、19日(金) 22日(月)、10月6日(月)	小5年 中1年

④ 平成26年度 学校医師及び学校薬剤師分担表

学 校 名		学 校 医 師				学校薬剤師
		内 科	耳鼻咽喉科	眼 科	歯 科	
小 学 校	遠 野	熊 坂 康 二	遠野病院と 委託契約	宮 本 博 之	田 中 勝	奥 寺 徹
	遠野北	守 口 尚	同 上	同 上	打 越 岳	奥 寺 徹
	綾 織	千 葉 純 子	同 上	同 上	佐 藤 圭 士 郎	菊 池 佳 代
	小 友	菊 池 俊 彦	同 上	同 上	深 澤 範 子	八 木 友 治
	附馬牛	荻 野 倫 子	同 上	同 上	飯 高 哲	奥 寺 徹
	土 淵	川 上 格	同 上	同 上	佐々木慶子	田 中 博 子
	青 笹	熊 坂 幸 絵	同 上	同 上	田 中 昭 彦	田 中 博 子
	上 郷	山 口 淳	同 上	同 上	沼 崎 琢 也	田 中 博 子
	宮 守	柏 原 紀 文	同 上	同 上	深 澤 範 子	八 木 友 治
	鱒 沢	柏 原 紀 文	同 上	同 上	深 澤 範 子	八 木 友 治
	達首部	柏 原 紀 文	同 上	同 上	柏 原 宏 則	八 木 友 治
中 学 校	遠 野	菊 池 俊 彦	同 上	同 上	安 部 一 郎	奥 寺 徹
	遠野東	川 上 格	同 上	同 上	松 原 大	田 中 博 子
	遠野西	柏 原 紀 文	同 上	同 上	深 澤 範 子	八 木 友 治

(10) 奨学資金

1 制度の目的

教育の機会均等の精神に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学が困難である方に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。

2 奨学生の資格等

遠野市に住所を有する方の子弟で、高等学校、大学又はこれと同程度の学校に入学を予定している、又は在学している優秀な学生であって、経済的事由により修学が困難と認められる者

3 奨学金の貸与額

- (1) 高等学校又はこれと同程度の学校に在学する者 月額15,000円以内
- (2) 大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者 月額40,000円以内

4 奨学金の貸与期間

正規の修学期間とする。ただし、休学した期間については貸与しない。

5 奨学金の返還

貸与期間が満了し、又は貸与を廃止した月の翌月から起算して6月を経過した月から15年以内に返還するものとする。

平成26年度

遠野市教育委員会事務局

遠野市民センター

遠野市子育て総合支援センター

運営方針と計画

5 教務課の運営方針と計画

(1) 運営方針

子どもたちが安心して教育を受けることができ、個性や能力を発揮することができる学習環境づくりを進めるとともに、時代の変化に的確に対応した学校適正化の推進を図り、明日の遠野を担う子どもたちが郷土に誇りを持ち、夢を育むことができる教育行政の実現を目指す。

(2) 重点施策

- 市内中学校3校のフォローアップとして、開校から1年が経過した実態状況を把握し、今後の学校運営に反映させる。また、スクールバスの運行について、児童生徒及び運行業者への安全指導を徹底する。
- 児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう、遠野中学校の2期改築工事、遠野東中学校・遠野西中学校の環境整備（太陽光発電設備含む）、旧附馬牛中学校校舎の大規模改造など学校施設を計画的に整備するとともに、公共施設ロングライフ事業により、施設の維持補修を適切に実施する。
- 教材の充実、就学援助など児童生徒への質の高い教育を支える環境整備を推進する。
- 子育て総合支援センター、市内県立高校との連携を一層深めながら、幼児期から小中学校、高等学校までの本市の教育全体における総合的な環境の整備に取り組む。

(3) 施策の概要と事業計画

主要な施策	事業名	事業費 (千円)	事業内容
学校施設の整備	遠野中学校 改築整備事業費	237,311	校舎改築工事（繰越） （H25、26継続工事） 215,161千円 屋外運動場照明設置工事 11,000千円 屋体改修設計業務 11,150千円
	遠野東中学校 整備事業	8,123	倉庫・駐輪場建築工事（繰越） 8,123千円
	遠野西中学校 整備事業費	69,859	旧宮守給食センター改修工事（繰越） 39,367千円 屋外運動場照明設置工事（繰越） 25,248千円 工事監理等委託業務ほか（繰越） 5,244千円
	附馬牛小学校 改築整備事業	137,355	校舎改築及び外構工事（繰越） 114,000千円 工事監理等委託業務（繰越） 6,655千円 備品購入（繰越） 16,700千円
	プール改修事業	12,957	綾織小ろ過器更新工事 8,446千円 遠野西中プール改築設計業務 4,511千円
	一般管理工事	2,310	遠野北小冷房移設工事 鱒沢小学校昇降口改修 暖房設備改修（宮守小・鱒沢小）
	施設修繕（集合修繕業務委託料）	6,000	小学校
		2,000	中学校
	その他 （他課所管事業）		太陽光発電整備（遠野北小学校・遠野東中学校・遠野西中学校） 遠野児童館建設（遠野小）

主要な施策	事業名	事業費 (千円)	事業内容
通学対策の整備	通学対策費	小学校 36,071	スクールバス等の運行 ※ 中型バス 4台 マイクロ 2台 ワゴン 3台 タクシー 2台 路線バス 1台 遠距離通学児童への通学費補助 (通学距離4km以上対象) 25名
		中学校 50,014	スクールバスの運行 ※ 中型バス 3台 マイクロ 6台 ワゴン 9台 遠距離通学生徒への通学費補助 (通学距離6km以上対象) 15名
		スクールバス購入 11,421	鱒沢・附馬牛小学校 2台
教材の充実	教材整備費 理科教育設備整備 事業費	小学校 160,098	教材備品、児童用図書、パーソナル コンピュータ借上料、指導用教材等
		中学校 9,235	教材備品、生徒用図書、パーソナル コンピュータ借上料、指導用教材等
教育費の支援	就学援助費	小学校 11,575	経済的理由により就学困難と認めら れる児童生徒の世帯に対する学用品 費、給食費等の援助 ・小学生 166名、中学生103名
		中学校 15,406	
	育英事業費 (貸付分)	44,720	経済的な事由により修学困難な優秀 な学生への学資貸与 ・継続分(61名) 29,280千円 大学生等61名 ・新規分(35名) 15,300千円 高校生5名、大学生等30名

6 総合食育センター 学校給食センターの運営方針と計画

(1) 運営方針

小・中学校における教育の目的を実現するため、成長期にある子供たちに、栄養バランスのとれた食事を提供することを通じて、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成、健康増進などの目標を達成し、学校教育に貢献する。

(2) 重点施策

- 安全安心な学校給食の提供と給食メニューの実施
- 「地産地消」及び「食育」の推進

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
安全安心な学校給食の提供と給食メニューの充実	調理配送業務受託業者、食材納入業者、学校などの給食関係者と連携し、より一層の安全衛生管理の徹底を図り、安全安心な給食の提供に努める。 また、季節に応じた遠野産の食材を使用した給食メニューの提供など、給食メニューの充実を図る。
「地産地消」の推進及び「栄養指導」の実施	遠野市産直給食会と連携して、地元の農畜産物や食材を積極的に使用するとともに食材の安定確保を図る。 子どもたちに遠野の食を伝える「遠野まるごと給食」を実施する。 栄養教諭及び学校栄養職員が学校を訪問し、栄養指導を行う。
学校給食費収納対策	給食費の期限内納付の促進や滞納保護者に対して、訪問等により納付を促すとともに、長期滞納者には学校との連携、協力を密接にして、滞納解消に努める。

(4) 事業計画

事業名	事業費	事業内容
学校給食事業	208,033 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・給食供給人員 2,350 人 (予定) ・小学校年間給食回数(予定) 170 食 (米飯 130 回 パン 40 回) ・中学校年間給食回数 (予定) 168 食 (米飯 129 回 パン 39 回) ・年間給食費 小学生 43,350 円 小学校教員 45,220 円 中学校生徒・教員 50,150 円 ・地場産物使用割合目標 65%
ふるさと食材供給事業	1,800 千円	<ul style="list-style-type: none"> 「遠野まるごと給食」の実施 ・年間 3 回 ・遠野で昔から食べられている郷土食、遠野地方 Y Y 推進女性の会提案メニュー等の提供
学校訪問及び栄養指導事業	—	栄養教諭・学校栄養職員による栄養指導 各学校 年 2 回

7 総合食育センター 総合食育推進課の運営方針と計画

(1) 運営方針

「食を通して健全な心身と身体、生きる力を育む」ことを目的に、家庭・地域・学校・生産者等と連携を図り、市民の心身の健康と豊かな人間形成の実践に取り組む。

総合食育センター「ばすぼる」を食育推進拠点として、子どもから高齢者まで総合的な食育の展開を図るとともに、食生活改善推進員、運動普及推進員など健康づくりサポーターと連携した活動を促進し、地域に広く食生活の改善や運動習慣の定着を図る。

(2) 重点施策

- 市民への食育発信

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
市民への食育発信	子どもから高齢者まで、生涯にわたり明るく充実した生活を送るため、食が基本であることの認識に立ち、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活が実践できるように支援する。

(4) 事業計画

事業名	事業費	事業内容
ばすぼる推進事業費	990 千円	<ol style="list-style-type: none"> 1 ライフステージに応じた食育の推進 遠野市食育推進計画に基づく年代ごとのライフステージに応じた食育事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学童期：望ましい食習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・ちびっこ栄養教室、親子で学ぶ食育講座 (2) 思春期：自立に向けた食生活の基礎づくり <ul style="list-style-type: none"> ・中学生食生活応援教室、高校生健康講座、郷土料理伝承講座 (3) 青年期：健康的な食生活の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・婚活クッキング、料理コンクール (4) 壮年期：健康的な食生活の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・食育アドバイザー研修会、食改善普及講習会 2 食育の祭典の開催 市民の食育への関心を高めるため、市内食育関係機関・団体と連携して開催 3 市内食育推進団体連絡会の開催 遠野市食育推進計画に沿った総合的な食育、市内の食育関係団体・機関の連携のための、連絡会議の開催
総合給食事業	(遠野健康福祉の里所管)	高齢者の見守りを兼ねた、宅配弁当の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 遠野市社会福祉協議会 ・提供予定 週3日 1日50食

8 社会教育行政（生涯学習スポーツ課）の運営方針と計画

(1) 運営方針

あらゆる世代が気軽に参加しやすい生涯学習の場の環境づくりを、遠野市教育文化振興財団や各地区センター及び関係団体と連携し、積極的に推進するとともに、団体の自主活動を助長していく。また、青少年の健全育成と遠野の未来を担う子どもたちを守り育むための社会づくりに努める。

芸術文化振興を推進するため、民間の活力を取り入れ遠野市教育文化振興財団と連携を図り優れた芸術に触れる機会や市民の舞台「遠野物語ファンタジー」や市民芸術祭など、各種団体の活動を支援し、潤いのある市民生活の創造と豊かな感性を持った人材の育成に努める。

健康づくりを推進するため、健康づくり総合プログラムにより、それぞれの年齢や健康状態に応じて健康スポーツ活動に取り組む。

また、平成 28 年開催の希望郷いわて国体において、当市は少年男子サッカー競技会場地となることから、会場整備に取り組むとともに、実行委員会及び関係団体と連携し、大会成功に向け市民の機運の醸成を図るとともに受け入れ体制の構築を図る。

(2) 重点施策

- 郷土の自然、地域との関わりの中で心豊かな青少年を育む活動を実施する。
- 姉妹都市交流、友好都市との児童交流事業を実施する。
- 芸術団体の活動支援や市民の優れた芸術作品を多くの人に披露する機会を創出し、豊かな感性を備えた人材育成に努める。
- 子どもから高齢者まで幅広いスポーツ振興及び生涯スポーツの普及、推進に努める。
- 希望郷いわて国体少年サッカー競技会場地として施設整備や受入体制の構築を図る。

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
生涯学習の推進と社会教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野市教育文化振興財団と連携し、生涯学習講座を実施する。 ・ 市民と協働企画による講座「マナビィ・クラブ」を実施し、より市民ニーズに沿った講座等の提供を行う。 ・ 広報「遠野」やホームページを活用し、講座等の情報提供を行う。 ・ 社会教育団体の認定と出前講座などの活動支援を行い、社会教育団体の活発な活動を推進する。 ・ 学校や地域教育協議会と連携し、「家庭教育ゼミナール」などを開催し、家庭教育の向上を支援する。
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の健全育成のため、子ども・家庭・学校・地域・行政が連携し、市民協働のもと郷土に根付くたくましい子どもたちを育成するための事業を実施する。 ・ 勤労青少年ホームの施設を活用した活動を支援する。 ・ 青少年が健全に過ごせる環境を作るため、関係機関団体と連携を密にし、有害図書撤去や非行防止のための補導・啓発活動に取り組む。
国際・都市交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際性豊かな人材の育成を図るため、遠野市教育文化振興財団が実施するテネシー州チャタヌーガ市への中学生派遣交流事業を支援する。 ・ 平成 26 年サレルノ市との姉妹都市締結 30 周年に向け、記念事業を企画・運営する。 ・ お互いの地域性の違いや生活の共通点、遠野の自然体験や文化の理解をしてもらえるよう武蔵野市の児童と交流を行う。

主 要 な 施 策	施 策 の 内 容
芸術文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化活動の推進のため、平成 26 年度から遠野市教育文化振興財団に市民芸術振興事業の委託をおこない、民間ならではの手法を取り入れ推進して連携しながら活性化を図っていく。遠野市民芸術祭の開催を支援するなど、潤いのある市民生活の創造に努める。 ・ 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊など青少年の情操教育、健全育成の充実を図る。 ・ 遠野物語ファンタジーは市内外から高い評価を受けており、先駆的な事業としてさらなる盛り上げを図る。
スポーツの振興及び健康づくり活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりプログラムを進めるとともに、市民の健康づくり活動の充実を図る。 ・ I C T との連携により健康づくりの意識向上を図る。 (生活習慣病による医療費や介護保険給付費が増大していることから各部署一体となった健康づくり活動の強化・推進に努める。) ・ 子どもの体力、運動能力向上及び生活習慣の改善に努める。 ・ 「平成 28 年希望郷いわて国体」の開催に伴う会場整備及び受入体制の構築を図る。

(4) 事業計画

事 業 名	事 業 の 内 容	事業費 (千円)
○生涯学習の推進		
生涯学習のまちづくり 推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の提供 <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報遠野「学びのいずみ」、ケーブルテレビ、ホームページを活用した情報の提供と一元化 2 各種講座など学習機会の提供 <ol style="list-style-type: none"> (2) 市民センター、地区センターにおける生涯学習講座の開催 (市民協働企画私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」の開催) 3 公民館主事等研修会 (毎月) 4 学びの出前講座 (随時) 5 遠野市教育文化振興財団事業委託 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生涯学習講座事業 (2) 青少年活動事業 (3) 社会教育団体活動支援 (4) 市民センター自主事業 (5) 遠野市民センターバレエスタジオの運営 (6) 遠野少年少女合唱隊の運営 (7) 遠野市民芸術祭の開催 (8) 市民の舞台 遠野物語ファンタジーの公演 (9) 遠野市芸術文化協会の育成と支援 (10) 青少年劇場の開催 	38,141

事業名	事業の内容	事業費 (千円)
○社会教育事業の充実		
社会教育団体活動支援	社会教育団体活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野市地域婦人団体協議会 ・ 遠野市老人クラブ連合会 ・ 遠野市少年委員協議会 ・ 遠野市青年団体協議会 ・ 岩手県更生保護協会（保護司会） ・ 遠野ユネスコ協会 ・ 遠野地区更生保護女性の会 	3,140
家庭教育の充実	地域教育文化振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育ゼミナールの開催 5月～2月 ・ 各地域教育協議会への活動支援 	766
○ 青少年の健全育成		
青少年健全育成活動事業	少年センターを中心に、地域の関係団体と連携し青少年非行防止、健全育成、環境浄化活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期巡回活動 ・ 非行少年を生まない社会づくり（合同巡回活動） ・ 特別巡回活動（七夕祭り） 	3,537
青少年活動サポート事業	1 わらすっこまつりの開催 関係団体と協力し、レクリエーションやポニー乗馬体験、伝承遊びを通じて親子で楽しい一日を過ごす。 2 成人式はたちのつどいの開催 3 全国青年大会への参加助成	1,634
学社連携推進事業	1 地域で子どもを育てる活動発表会 地域活動や伝統文化の継承活動を発表し、今後の活動の参考にするほか、家庭教育講演会を開催し、地域の教育力の向上を図る（1月開催） 2 放課後子ども教室 小学校や児童館（児童クラブ）等と連携し、放課後の子どもの安心安全な居場所を設置する。	3,256
○国際・都市交流の推進		
国際交流事業	国際交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生海外派遣事業支援 ・ サレルノ姉妹都市交流事業 	4,066
都市交流事業	武蔵野児童交流	779
○高齢者教育の充実		
高齢者教育の充実	1 老人スポーツ大会 (1) スポーツ大会（県大会予選） 7月 (2) 県民長寿体育祭への参加 9月 (3) シルバー室内競技大会 3月 2 老人クラブの育成 (1) 健康づくり講座の開催 (2) 岩手県老人クラブ大会 10月 (3) シルバー文化祭 11月 (4) リーダー研修会 1月	521
○芸術文化活動の推進		
芸術文化の振興	1 芸術文化振興事業費補助金 2 市民の舞台 遠野物語ファンタジー補助金 3 芸術文化協会補助金 4 狂言風オペラ公演実行委員会補助金	9,691

事業名	事業の内容	事業費 (千円)
○健康づくり活動の推進		
健康スポーツプログラム推進事業費	1 健康づくり総合大学とすぼ本校及びサテライト校で健康教室を開催 2 健康づくり総合プログラムの実践	3,122
子どもの体力づくりプログラム推進事業費	1 体力向上月間の取り組み(小学校) 2 児童を対象としたスポーツ教室 3 就学前児童を対象とした運動教室(キッズ元気アップ応援隊事業)	1,059
○スポーツの振興		
スポーツ振興一般事務費	1 スポーツ推進委員の活動推進 2 スポーツ活動場所提供としての学校施設開放事業 3 全国市長会損害補償保険 4 各種負担金等	6,797
競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	1 市体育協会及び市スポーツ少年団への補助金 2 イベントスポーツの推進 3 各種スポーツ大会の推進 4 町民運動会の開催 5 スポーツリーダーの養成	11,722
岩手国体準備事業費	1 希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 (1) 国体会場視察等(運営・会場設備) (2) 国体PR 2 国体に係るジュニア選手の強化	4,672
岩手国体サッカー会場整備事業費	運動公園陸上競技場天然芝張替工事費等	144,879

9 遠野市子育て総合支援センターの運営方針と計画

(1) 運営方針

子育て支援については、市政の最重要課題の一つとして位置付け、これまで子どもの権利条例である「遠野市わらすっこ条例」の普及啓発と、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：わらすっこプラン）を着実に推進してきた。

平成26年度は、これまでの事業を継続しつつ、さらにバージョンアップするため、「子育てするなら遠野推進本部」（本部長教育長）を立ち上げて、子育てするなら遠野構想の策定に取り組み、関係機関団体と連携しながら、男女の出会い、結婚、妊娠・出産、子育てから孫育てまで切れ目のない支援を図る。

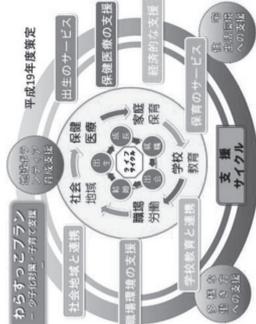
平成27年度から、子ども・子育て支援新制度が本格スタートするため、これに伴う計画策定を着実にを行い、新制度に対応した業務体制を整える。

保育所については、延長保育、一時保育及び休日保育並びに病児等保育施設「わらっぺホーム」での病児、病後児保育など、保護者の多様なニーズに対応した保育環境の充実を図る。

さらに、今年度は放課後児童対策として整備してきた児童館や児童クラブのうち、老朽化が進んでいる遠野児童館の建て替えを行っていく。

(2) 重点施策

- **子育てするなら遠野構想及び子ども・子育て支援事業の策定**
 - ・ 子育てするなら遠野構想の策定及び具体的な施策の企画・立案・推進
 - ・ 子ども・子育て支援新制度への対応
 - ・ 宮守3保育所幼稚園の遠野市保育協会への移管の推進
 - ・ 岩手県立高等学校再編計画への対応
- **わらすっこプランの着実な推進**
 - ・ 「遠野市わらすっこ基金」を活用した事業の展開（地域社会が子育てを支援する環境づくり）
 - ・ わらすっこの誕生応援事業
 - ・ 発達支援の推進、児童虐待及びDV防止対策
 - ・ 遠野児童館改築事業（遠野小学校体育館南側に建築）



わらすっこの事例

子育てするなら「遠野」構想策定プロジェクト Ver.4
 ~各成長ステージにおいて子育てを支援~

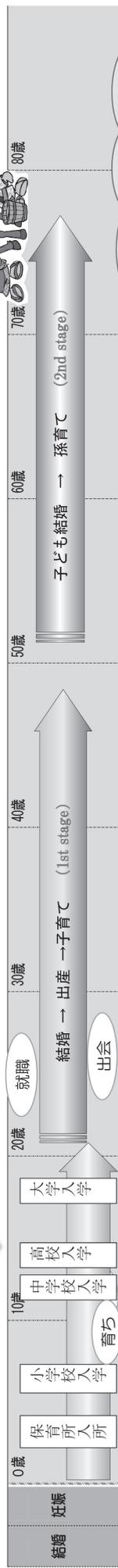
わらすっこの基金

平成26年4月1日
 子育てするなら遠野推進本部

展開

わらすっこのプラン・安心して産み育てられる環境づくり

健康寿命 ↑



遠野わらすっこのプラン

遠野市わらすっこの支援委員会

家庭や子育てを社会全体で支えて
 いく地域社会づくり
 ICT健康塾、
 地域・家族での孫育てサポート

子育てするなら遠野
 推進本部

安産の里WG

安心して産み育てられる環境づくり
 子育てするなら遠野構想調査事業 (H25先行事業)
 不妊治療支援、産後ケアハウス整備

プロジェクトの
 総合調整
 進行管理



出産から子育ての
 切れ目のない支援

わらすっこのプランWG (出会い~出産~幼児期~小中高切れ目のない子育て支援)

更なる子育てしやすい環境づくり
 学校、保育施設の環境整備、学力向上対策
 若者定住対策、子育て住環境整備促進、
 出会い応援、子育て環境の充実 (公園整備なども)

健康寿命WG

ライフスタイルの提案
 医療・福祉の充実と再構築
 生涯学習との連携

子育てするなら遠野
 推進本部

市の関係部署である子育て総合支援センター、教育委員会、健康福祉部及び市民センター並びに関係団体である遠野市保育協会と連携し、総合力で子育て施策を推進させる本部。
 本部長には教育長を充て、企画調整機能 (本部事務局) は、子育て総合支援センターが行う。

平成26年4月1日
 から

(3) 施策の概要と事業計画

事業名	事業費 (千円)	事業の内容
家庭児童・女性相談事業費 (旧婦人相談・母子家庭等対策総合支援・家庭児童相談室事業費統合)	4,944	家庭相談員、女性相談員を配置し、様々な問題を抱えた方からの相談に応じ問題解決のために必要な支援及び助言を行う。また、経済的、社会的に多くの問題を抱える世帯の実情を把握し、自立に必要な相談指導を行う。
わらすっこプラン推進事業費	3,805	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、下記の事業を実施する。 1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業
わらすっこの誕生応援事業費	2,837	新生児誕生への祝意、次子誕生の奨励及び子育ての応援を目的として、新生児の保護者に対し写真立て及びわらすっこ応援券を贈呈する。 わらすっこ応援券は、インフルエンザ等予防接種費用に充てられるほか、病児保育や一時保育（預かり）等を利用する際に使用することのできるクーポン券（1人 10,000円分）であり、小学校入学前まで利用可能である。
看護保育安心サポート事業費	13,773	子育て環境整備の一環として整備した「遠野市病児等保育施設 わらっぺホーム」の運営を遠野市保育協会へ委託し、保護者の就労と子育ての両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図るために実施する。
子育て環境育成事業費	1,400	遠野わらすっこプランに基づき、認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料又は企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成する。このことにより、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、もって子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図る。
わらすっこの育ち療育支援事業費	7,184	1 市内の障がいのある児童が健やかに安全で安心して過ごすことができるよう、療育支援の場を提供する。 また、幼児の育ち相談員を配置し、幼児の発達や就学前の相談業務などを行い、保護者及び家庭の不安の軽減を図る。 2 軽度・中等度の難聴児に対する補聴器具の購入について一部補助を行う。（補聴器購入費助成） 3 日中一時支援事業を利用した児童の保護者に対し、その自己負担分を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減する。

事業名称	事業費 (千円)	事業の内容
障害児通所支援事業費	540	障害児施設措置費（給付費等）国庫負担金等を活用し、就学中の障がい児に、放課後や土日祝日、夏休み等の長期休業期間に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を図ることを目的に、県が指定する障害児通所支援事業所を利用した際の費用等を支給する。
保育所運営委託事業費	768,358	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育できないと認められる場合、保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。遠野市保育協会及び認定こども園遠野聖光保育園への委託等により実施する。
保育所設置者運営事業費	40,666	<p>保育所の円滑な運営を図るには、保育の実施を委託している遠野市保育協会の円滑な運営が基本となることから運営費を補助する。</p> <p>また、保育サービスの向上を図るため、遠野市保育協会に次の事業を委託する。（下記3及び4は、認定こども園遠野聖光保育園への委託を含む。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障がい児保育事業 2 保育所地域活動事業 3 延長保育事業 4 一時保育促進事業 5 休日保育事業 6 地域子育て支援センター事業
わらすっこの居場所事業費	105,782	両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む。
児童扶養手当給付費	119,779	児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当を父又は母等に支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進する。
母子生活支援施設入所委託費	5,059	18歳未満の子どもを養育している母子家庭のうち、経済的理由等により児童を監護することができない母とその子が一緒に入所できる施設である母子生活支援施設への入所を支援し、その自立促進と生活の支援を行う。

事業名称	事業費 (千円)	事業の内容
児童福祉施設 管理費	749	児童館及び児童遊園に係る施設管理費
児童館保育所 施設整備事業 費	69,120	放課後児童対策として市内全地区に整備している児童館や児童クラブのうち、老朽化が進んでいる遠野児童館を建て替える。
保育所運営事 業費	68,355	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる場合、保護者からの申込みにより、保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。
子育て支援環 境整備事業費	1,487	各市立保育施設の改修工事を実施し、より健全な保育環境を整備する。
幼稚園助成事 業費	3,344	遠野わらすっこプランでの経済的支援策として、私立幼稚園に就園する園児の保育料を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の運営経費の一部を助成し、幼児教育の振興を図る。
私立幼稚園就 園奨励事業費	10,893	私立幼稚園に就園する児童の保護者の所得の状況に応じて私立幼稚園の設置者が収納する保育料等を減免した場合に対して補助を行い、保護者の経済的負担を軽減する。
幼稚園運営事 業費	4,127	小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度等の基礎を培う教育を行う。

10 文化行政（遠野文化研究センター文化課）の運営方針と計画

(1) 運営方針

地域の文化資源の収集と掘り起し、調査研究に取り組むとともに、郷土の誇り得る文化の伝承・発展に努め、文化を生かしたまちづくりを推進する。

(2) 重点施策

- 特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信する。
- 指定管理者と協働で、中心市街地の賑わいの拠点施設「とおの物語の館」の適切な管理運営とサービス向上に努め、遠野の貴重な文化資源である『遠野物語』と「昔話」の価値と魅力を高める。
- 柳田國男生誕の地である兵庫県福崎町及びグリム博物館との交流を進め、『遠野物語』と遠野の文化を紹介する展覧会を開催する。
- 国指定重要文化財「千葉家住宅」の防災用道路整備、保存活用基本構想の策定を進める。
- 国指定重要文化財「旧菊池家住宅」の屋根修理を行う。
- 国重要文化的景観「荒川高原牧場」「土淵山口集落」の景観保全を推進する。
- 読書率向上のため、読書に親しむ環境整備の推進に努める。

(3) 施策の概要

主 要 な 施 策	施 策 の 内 容
文化財保護活動	<p>文化財の調査・記録、市の指定などによる適切な保護に努めると共に、説明板の設置など文化財の周知に努める。</p> <p>国指定重要文化財「千葉家住宅」の保全のため、防災用道路整備、保存活用基本構想の策定を進める。</p> <p>国指定重要文化財「旧菊池家住宅」の修繕を行う。</p> <p>国の重要文化的景観「荒川高原牧場」「土淵山口集落」の景観保全に向けた取り組みを推進する。</p> <p>郷土芸能の保存伝承を図るため、映像等の記録・保存に努め、必要な備品整備等に支援を行う。</p> <p>遠野まちなか・ドキ・土器館を埋蔵文化財の学習、情報発信の拠点として活用する。</p> <p>遠野遺産認定の一層の周知に努め、さらなる地域文化の掘り起しと、市民協働による保護・活用事業を推進する。</p>
図書館活動	<p>「遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、学校・家庭・地域の連携協力により読書活動の推進に努める。</p> <p>小中学生の読書の普及と教育環境の充実に向け、図書館と学校図書室、児童館などの施設と連携を図り、施設貸出文庫の充実と移動図書館車の充実と効率的運行を推進する。</p> <p>市の事業等と呼応した蔵書管理を行う。</p> <p>映画会等の開催により視聴覚教育を推進する。</p>
博物館活動	<p>特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し、交流人口の拡大に努める。夏季に「幽霊画」展を予定</p> <p>柳田國男生誕の地である兵庫県福崎町及びドイツ・シュタイナウ市グリム博物館との交流を進める。</p> <p>学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</p> <p>博物館資料の充実を努め、資料の収集、整理、保存に努める。</p>

(4) 事業計画

事業名	事業の内容	事業費(千円)
○文化財保護活動		
有形無形文化財調査と保護	① 文化財の調査と指定及び保護・保存の推進 ② 郷土芸能保存育成事業の推進 ③ 旧菊池家住宅の萱葺屋根改修	45,815
埋蔵文化財の保護	① 開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び資料整理、活用の推進 ② 遠野まちなか・ドキ・土器館の管理運営	11,779
遠野遺産の認定	遠野遺産認定事業の推進	2,544
文化的景観の保存	重要文化的景観関連事業の推進	
重文千葉家住宅の保全	防災用道路整備、保存活用基本構想の策定	56,285
○図書館活動		
図書館活動 館内奉仕活動の充実 館外奉仕活動の充実	① 図書資料の整備充実 図書資料・雑誌等の購入・収集、新聞のマイクロフィルム化 ② 図書館事業の向上と充実 金曜日の開館時間延長及び祝日開館、各種読書週間や催し等に合わせた図書展の開催、多読者表彰、図書館教室、参考業務の充実、研修会、図書の展示会、宮守ゆうYOUソフト館活動 ③ 図書館サービス網の充実 移動図書館車の巡回運行、施設貸出文庫の利用拡大、ブックスタート（読み聞かせ等）支援	29,165
視聴覚教育の普及	DVD・ビデオ・16ミリフィルムの利用促進、視聴覚教材の購入、視聴覚機材の整備保存、映画会の開催	506
○博物館活動		
教育普及活動の実施	① 展覧会の開催 ② 学校連携事業「博物館教室」 ③ 遠野まちなかギャラリーの運営	18,114
博物館資料の充実	寄託資料の管理、歴史・民俗学関係資料の収集、分類・整理・保管	
附属施設管理	遠野蔵の道ギャラリー、加守田章二陶房跡の管理運営	3,463
博物館映像機器等整備事業	博物館マルチスクリーンシアター用のプロジェクターオーバーホールを行う。平成27年度には新規映像ソフトを制作予定。	2,268

11 文化行政（遠野文化研究センター調査研究課）の運営方針と計画

(1) 運営方針

遠野の豊かな文化資源を発掘し、調査し、研究し、育成し、及び保護し、これを活用して「永遠の日本のふるさと」の実現に資する。

(2) 重点施策

- 市民講座等の開催によって人材の発掘と人づくりを推進する。
- 遠野を文化によって「元気」にした個人・団体に対して「遠野文化賞」を授与し顕彰する。
- 「遠野語り部 1000 人プロジェクト」や地域の貴重な資料を掘り起こす「映像アーカイブ事業」、「民俗調査」などを推進する。

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
遠野「語り部」1000人プロジェクト	語り部1000人を目指して、認定活動を展開するとともに、認定者の質的向上をめざして研修等を実施する。
調査研究事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座等の開催によって人材の発掘と人づくりを推進する。 ・遠野を文化によって「元気」にした個人・団体に対して「遠野文化賞」を授与し顕彰する。 ・文化フォーラムを開催し、文化の発信に努める。 ・地域の貴重な映像資料を掘り起こして紹介する「映像アーカイブ事業」や地域の民俗調査等を実施する。

(4) 事業計画

事業名	事業の内容	事業費(千円)
遠野「語り部」1000人プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1 認定事業 2 フォローアップ研修 3 語り部スポット借り上げ 	1,487
調査研究事業等	<ol style="list-style-type: none"> 1 遠野文化賞、遠野文化奨励賞授与 2 遠野文化フォーラム開催 3 調査、研究活動 	21,472
一般管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設管理等 	4,945

12 地区センター（地区公民館）の運営方針と計画

(1) 遠野地区センター（遠野地区公民館）

ア 運営方針

遠野市民憲章運動の実践活動を推進するため、関係機関・団体と相互に連携し、住民の地域活動への積極的な参加を促進し、「共助」と「交流」の明るく住みよい地域づくりを推進する。

城下町遠野の文化を継承し、八戸市大館地区との「縁」を通じた交流を深めるとともに遠野遺産を活用した活動を通じて、郷土芸能の継承や町家の文化活動を推進します。

また、積極的に生涯学習を推進し、遠野の宝である「わらすっこ」を地域みんなで守り育てるとともに、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう、協働のまちづくりを進める。

イ 重点施策

- 遠野南部氏の歴史と城下町遠野の文化を学び、遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」の再現や遠野遺産を活用した活動を通じて、町家の文化活動を継承・発展させる。
- 町老人クラブ連合会と連携した鍋城大学の開催によって、高齢者の「学びたい」という基本的欲求にこたえるとともに、健康で楽しい生活が送れるよう生涯学習を推進する。
- 町民運動会や各種スポーツ行事の開催、総合型地域スポーツクラブの運営支援や運動教室を開催することによって、健康づくりと生涯スポーツを推進する。
- 自主防災組織の結成促進、高齢者・障害者等の見守り体制整備事業を支援し、住み慣れた地域で安全で安心した生活が送れるようコミュニティ活動を推進する。
- ごみの減量、道路清掃、河川清掃等を実施し、省資源、自然保護、快適環境の保持に努める。
- 「早寝、早起き、朝ごはん、読書」運動や「遠野っ子サポート作戦」を関係機関・団体で取組み、地域全体で子育て、健全育成を支援する。

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	超高齢社会に対応するため、高齢者学級「鍋城大学」を町老人クラブ連合会と連携して開催し、趣味、健康、歴史、消費生活等の講座を開設する。 また、一般を対象とした趣味や健康づくりの講座を開設することによって生涯学習の機会と場を提供する。
健康づくりの推進	総合型地域スポーツクラブ「とおのスポーツクラブ」の活動を支援することによって健康づくりの普及に努める。 町民運動会や各種スポーツ行事の開催によって、運動やスポーツに親しむ機会を増やすとともに、各種健診の受診率の向上を図り、健康づくり運動を推進する。 健康福祉部との連携による介護予防事業等、高齢者が健康で楽しく暮らし続けることができるように支援する。
文化活動の推進	遠野さくらまつりの「南部氏遠野入部行列」等の事業を継続し、城下町遠野の文化に対する理解と意識の高揚を図り、町家文化を活用した地域の活性化を図る。 みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用し、郷土芸能団体の育成と継承活動を支援するとともに、遠野遺産を活用した文化の薫りがするまちづくりを推進する。

コミュニティ活動の推進	<p>各自治会の活動支援や自主防災組織の結成促進、民生児童委員等との連携による要援護者の日常からの見守り活動を推進し、誰もが住み慣れた地域で安全で安心に暮らせる地域づくりを行う。</p> <p>防犯協会を中心とした各種機関・団体の連携により、地域ぐるみで「遠野っ子サポート作戦」を展開し、「愛の一声運動」と「朝のあいさつ運動」で青少年の健全育成を推進する。</p> <p>「コミュニティ城山」の発行により、町内の地域づくり活動の情報の共有化を図る。</p>
推進基盤の整備	<p>地域づくり連絡協議会構成団体間の交流の促進や研修の実施によって効果的に事業を推進する。</p> <p>地域教育協議会活動として、関係機関・団体が連携し、学校応援団として情報を共有し、「早寝、早起き、朝ごはん、読書」運動を推進するとともに年3回発行の「広報紙」で保育園、幼稚園、小学校、中学校の情報を全世帯に提供し、地域で子どもを育てる。</p> <p>区長、区長代理、保健推進委員、民生児童委員の合同研修会を開催し、各区の総合力の向上を図る。また、健診受診率向上による疾病予防、要援護者の日常からの地域の見守りを推進する。</p>
支援育成事業	<p>遠野南部氏のルーツである八戸市大館地区との「縁」を通じた交流の促進やみんなで築くふるさと遠野推進事業の「鍋倉公園清掃」「南部氏遠野入部行列」「花いっぱい運動」「まつ火焚き」等の事業継続により、潤いのあるまちづくりを推進する。</p> <p>地域総合型「とおのスポーツクラブ」の運営を支援することによって、誰でもどこでも生涯スポーツが楽しめるよう環境を整備する。</p>

エ 事業計画

	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動	推進基盤の整備	支援育成事業
4月	鍋城大学運営委員会			春の地域安全運動 春の全国交通安全運動・街頭指導 環境パトロール	各団体総会	(4/13)町内一斉道路清掃 (4/26)鍋倉公園清掃
5月	鍋城大学（開講式）		遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」		各団体総会	(5/3)南部氏遠野入部行列
6月	鍋城大学	(6/1)町民運動会 (6/15.22)町民野球大会		「遠野っ子」サポート作戦	各団体総会 地域教育協議会	花いっぱい運動
7月	鍋城大学	(7/20)町民ソフトボール大会		「遠野っ子」サポート作戦	区長・区長代理・保健推進委員・民生児童委員合同研修	
8月	鍋城大学野外学習	市民野球大会 町対抗ソフトボール大会		市内一斉河川清掃 夏の交通事故防止県民運動・街頭指導 「遠野っ子」サポート作戦	地域教育協議会 「広報」発行	(8/13.14)まつ火焚き

9月	鍋城大学	(9/21) 行政区 対抗グラウンド ゴルフ大会	遠野まつり	敬老会 秋の交通事故防 止県民運動・街 頭指導 環境パトロール 「遠野っ子」サ ポート作戦		
10月	鍋城大学	市内一周継走 大会		全国地域安全運 動 「遠野っ子」サ ポート作戦	地域教育協議会	(10/5) 新田城 まつり参加
11月	鍋城大学			無灯火自転車交 通安全街頭指導 「遠野っ子」サ ポート作戦		
12月	鍋城大学			年末年始地域安 全運動・地域安 全研修会 冬の交通事故防 止県民運動・街 頭指導 ふれあいホーム お楽しみ会 「遠野っ子」サ ポート作戦	地域教育協議会 「広報」発行	
1月	鍋城大学趣味 の会発表会	(1/18) 行政区 対抗ソフトバ レーボール大 会		交通安全祈願・ 研修会 「遠野っ子」サ ポート作戦		
2月	鍋城大学（閉 講式）	市民卓球大会	町家のひなま つり 「家族でひな まんじゅう」 教室	「遠野っ子」サ ポート作戦	地域教育協議会	遠野町地域づ くり推進大会
3月				広報「城山」発 行	地域教育協議会 「広報」発行	
特記	運営委員長は 町老連会長、 運営委員は単 位老人クラブ 会長	町体育協会 とおのスポー ツクラブ自主 運営支援 地域 ICT 事業 への協力	地域づくり連 絡協議会、郷 土芸能団体、 婦人団体協 議会	自治会、社協遠 野支部、交通安 全協会分会、防 犯協会、民児 協、地域教育協 議会、地域づく り連絡協議会	毎月第4水曜日 市民センター連 絡会議 毎月第1水曜日 区長定例会 毎月民児協定例 会	地域づくり連 絡協議会 各自治会

(2) 綾織地区センター（綾織地区公民館）

ア 運営方針 「協働による心豊かな地域社会の創造」

市民憲章運動を推進するため、関係機関・団体と相互に連携しながら住民自ら自主的に地域活動に参画、実践し、協働による心豊かな町民性を養い、生活文化の向上と心身の健康の増進を図り、心のゆとりとやすらぎと潤いのある自然との調和のとれた住みよいまちづくりに努める。

イ 重点施策

- 少子高齢化に対応した支え合う地域社会の構築と、自治会活動の推進を図る。
- 幅広い世代が参加し、地域資源を活かした地域づくり活動の推進を図る。
- いつでも、だれでも参加できる生涯学習の機会と場の提供及び総合型地域スポーツクラブである綾織スポーツクラブをはじめとしたスポーツ関係団体との連携による生涯スポーツの振興、健康づくりの推進を図る。
- 千葉家を中心とした郷土の歴史と文化、芸能の伝承保存活動の推進と活性化を図る。
- 各種関係諸団体の自立促進と連携への支援を行う。
- 地域・学校・家庭が連携し、地域教育活動の推進を図る。
- 自主防災組織の体制づくりと活動支援を行う。

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	地域の特色と住民ニーズ、さらに地域課題に対応した各種教室や講座などを行い、いつでもだれでも参加できる学習の機会と場の提供に努め、ふるさとの活性化に努める。また、地域に受け継がれてきたさまざまな文化の伝承保存活動を通じて地域理解を図るとともに、世代間交流を図る。
健康づくりの推進	年齢、性別に関係なく多くの町民が参加できるスポーツを通じ、親睦交流を主体とした事業を積極的に行うことにより健康づくりへの意識の高揚に努める。また、とすぼサテライト校事業を推進するとともに、総合型地域スポーツクラブである綾織スポーツクラブ及びスポーツサークル活動の支援を推進する。
文化活動の推進	郷土芸能を通じた世代間交流を図るとともに、活動の成果を発表できる場の提供により伝承保存活動の活性化に努め、指導者及び担い手の育成の推進を地域全体で取り組む。また、千葉家を中心とした郷土の歴史と文化を再確認するとともに、遠野遺産認定制度を活用した郷土文化及び歴史に対する意識の高揚を図る。
コミュニティの推進	花街道あやおり事業において景観形成及び環境整備に町全体で取り組むとともに、綾織まつりや敬老会などの事業や、防犯及び交通安全活動により、地域住民の協調性及び地域の連帯感の向上を図り、住み良い町づくりを実践する。
推進基盤の整備	各種団体が主体的、自発的な活動ができる環境整備を進めるとともに、地域住民と一体となった事業展開と柔軟に対応できる組織づくりに努める。
支援育成事業	各種団体活動への支援と地域の資源を活かす活動の実践を支援するとともに、会員の減少などの問題を抱えている団体や新しい団体の事業展開の支援を行うことで会員間の意識の向上を図り、団体の維持、発展に努め、活力あるまちづくりの実現に努める。

エ 事業計画

月	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動	推進基盤の整備	支援育成事業
4月	・ 高齢者教室	・ ICT 健康増進ネットワーク事業(毎月)		・ 交通安全街頭指導 ・ 交通・防犯施設点検	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
5月		・ スポーツしま専科①		・ 環境パトロール	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
6月	・ 快適な田舎暮らし講座	・ 町民運動会 ・ ランニング教室		・ 花街道あやおり(マリーゴールド植栽) ・ 敬老会	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	・ 花街道あやおり
7月		・ 町民野球大会 ・ ランニング教室	・ 綾織まつり	・ わらすっこすくすく泣き相撲大会	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	・ 綾織まつり
8月	・ 快適な田舎暮らし講座	・ ランニング教室	・ 石上神社例祭 ・ 愛宕神社例祭	・ 市内一斉河川清掃 ・ 交通事故防止県民運動	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
9月		・ 老人クラブグラウンドゴルフ大会 ・ ランニング教室	・ 遠野まつり ・ 駒形神社例祭	・ 市総合防災訓練 ・ 交通安全街頭指導・交通安全冷茶サービス	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
10月	・ 高齢者教室	・ 市内一周継走 ・ 町民グラウンドゴルフ大会	・ 三社神社例祭	・ 交通事故防止県民運動 ・ 環境パトロール	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	・ 遠野遺産関係整備
11月	・ 快適な田舎暮らし講座			・ ひとり暮らし老人ふれあい交流会	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
12月				・ 年末年始交通安全運動 ・ 年末防犯パトロール	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
1月	・ 小正月の集い	・ 女子バレーボール大会	・ 小正月の集い	・ 地域づくり実践発表会	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	・ 各自治会総会
2月	・ 快適な田舎暮らし講座	・ スポーツしま専科②			・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	
3月				・ 合同歓送迎会	・ セ・教連絡会議 ・ 主事研修 ・ 区長・民児協定例会 ・ 官公署連絡会議	・ 各団体総会
特記	・ 習字教室	・ 綾織スポーツクラブ(走友会・ピンポン・エアロビクス) ・ 野球スポ少	綾織しし踊り 石上神楽、山口太神楽、南部田植え踊り、綾織南部ばやし	広報発行(毎月) ふれあいホーム(毎月) 綾織っ子サポート隊パトロール(毎月第4金曜日)	地域教育協議会(年3回の全体会議) 老人クラブ研修会 区長・民生委員研修会	各団体理事会 あやおり夢を咲かせる女性の会定例会

(3) 小友地区センター（小友地区公民館）

ア 運営方針

町民一人一人が自分の住む小友町に愛着を持ち、住んで良かったと実感が持てる「個性豊かで潤いがあり、事件事故のない健康で明るい住みよい地域－永遠のふるさと小友町」にするために、いままでの活動の成果を確認し、小友町の歴史や恵まれた自然環境、風土、山村風土、文化(郷土芸能や裸参り等)の保存や継承等による地域づくりの推進を図るとともに、市民協働による活力ある地域づくりに努める。

※スローガン

「町民が主役となり、自ら人づくり、市民協働の地域づくりを実践する小友町」
「心豊かでたくましい小友っ子を地域ぐるみで育てよう」

イ 重点施策

- たくましい青少年の育成のために学社連携した事業の推進
- 少子高齢社会と健康づくりに対応した生涯学習の場と機会の提供と自治会活動の推進
- 地域の風土と暮らしを大切にしたい環境づくりの推進
- 先人が築いた歴史の探訪と郷土芸能や民俗行事等の文化の保存と伝承及び遠野遺産を活用した地域づくりの推進
- 昔ながらの山村の原風景が残る地域を活かしたまちづくりとIターン、Uターン者の誘致の推進
- 市民協働による活力ある地域づくりの推進

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	町民ニーズに対応した学級講座・教室や講演会等を開催し、学習意欲の増進と自己研鑽及び人と人との交流を図る。
健康づくりの推進	遠野市健康づくり総合大学プログラムによる実践活動及びスポーツ振興を図る。
文化活動の推進	郷土芸能団体や民俗行事等の育成及び保存活動の支援を図るとともに、世代間交流等町民が一体となった文化活動に努めながら、遠野遺産を活用した地域づくりを図る。
コミュニティ活動の推進	地域づくり連絡協議会を中心に「町民が主役となり、自ら人づくり、市民協働の地域づくりを実践する小友町」に努める。
推進基盤の整備	関係機関や各種団体との連携を密にしながら、活動の推進や促進及び支援を図る。
支援育成事業	町民が自主的・主体的に行う住民自治活動を尊重し支援を図る。

エ 事業計画

区分	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動	推進基盤の整備	支援育成事業
4月	・高齢者教室			・町内一斉ゴミ拾い ・春の大掃除、環境点検 ・春の交通安全運動 ・防犯パトロール	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	
5月	・地教協推進目標の配布	・グランドゴルフ大会	・小友町探訪会 ・長野まつり ・小友ワザ名人教室	・地区センターだより発行 ・農村公園環境整備 ・花いっぱい運動 ・防犯パトロール	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・花いっぱい運動 ・小友ワザ名人教室
6月		・町民運動会	・小友ワザ名人教室 ・八坂神社まつり	・農村公園環境整備 ・防犯パトロール	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・小友ワザ名人教室 ・八坂神社まつり
7月	・家庭教育セミナー ・高齢者教室	・町民野球大会 ・町民ソフトボール大会 ・水泳教室(小)	・小友ワザ名人教室 ・山谷観音まつり	・地区センターだより発行 ・敬老会 ・防犯パトロール	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・小友ワザ名人教室 ・山菜栽培研究会 ・山谷観音まつり
8月	・環境学習会	・奉納少年相撲大会 ・市民野球大会 ・市民ソフトボール大会	・小友ワザ名人教室 ・小友まつり	・河川清掃 ・夏の交通安全運動 ・防犯パトロール ・交通安全野菜サービス ・農村公園環境整備	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・小友ワザ名人教室 ・小友まつり
9月			・小友ワザ名人教室 ・小友町探訪会	・地区センターだより発行 ・秋の交通安全運動 ・防犯パトロール	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・小友ワザ名人教室
10月	・高齢者教室	・スポ少小友大会 ・市内一周継走大会	・小友ワザ名人教室 ・鷹鳥屋まつり	・秋の大掃除、環境点検 ・環境・防犯パトロール ・秋の交通安全運動	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・小友ワザ名人教室 ・鷹鳥屋まつり
11月	・一人暮らし高齢者等交流会	・町民バレーボール大会	・小友ワザ名人教室	・地区センターだより発行 ・長野地域ふれあい交流会 ・中央老人クラブ ・庭払い交流会 ・防犯パトロール	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	
12月	・高齢者ちぎり絵教室 ・生涯学習事業	・食生活改善教室		・年末年始地域安全運動 ・冬の交通安全運動	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	
1月	・生涯学習事業	・スポーツしま専科		・地区センターだより発行 ・防犯パトロール ・地域づくり推進大会	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・地域づくり推進大会
2月	・体験茶会 ・ミズキ団子づくり	・食生活改善教室 ・市民卓球大会	・町民作品展 ・裸参り	・防犯パトロール ・小正月行事	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	・裸参り
3月				・防犯パトロール ・地区センターだより発行	・市民センター連絡会議 ・主事研 ・地区連絡会議 ・定例区長会 ・各協議会等定例会	
特記	・町老人クラブ連合会 ・町女性の会 ・児童クラブ ・児童生徒 ・地域教育協議会	・町体育協会 ・小友スポーツクラブ ・保健推進委員協議会 ・地区学校保健委員会 ・うっこの会 ・地域教育協議会	・長野・山谷・鷹鳥屋しし踊り保存会 ・外山・鷹鳥屋神楽保存会 ・鷹鳥屋甚句保存会 ・氷口御祝保存会 ・裸参り保存会 ・小友町探訪会 ・舞踊(白扇会、宏踊流、シルバ-いこい) ・地域教育協議会 ・学校支援地域本部	・地域づくり連絡協議会 ・社協小友支部 ・安協小友分会 ・防犯協会 ・各地区自治会・振興会	・地連協役員会 ・区長会 ・地域教育協議会 ・地区連絡会(官公署) ・体協役員会 ・安協役員会 ・防犯役員会 ・社協役員会 ・民児協定例会	・地域づくり連絡協議会 ・長野地域山菜栽培研究会 ・小友町裸参り保存会

(4) 附馬牛地区センター(附馬牛地区公民館)

ア 運営方針

地域コミュニティを推進するため、地域づくり連絡協議会を中心に関係機関・団体と連携を図り、住民参画のもと地域課題と住民ニーズの把握に努め、課題解決へ向けた実践と、安心・安全で活力ある地域づくりを目指す。

また、先人たちが守り続けてきた郷土の文化を再確認し、地域の魅力を次世代へ伝えられる環境づくりに努める。

イ 重点施策

- 地域活動専門員と連携し地域課題の把握と課題解決へ向けた実践
- 郷土の史跡や文化の保存継承と自然景観及び環境に配慮した町づくりの推進
- 地域ICTと連携した「とすば」サテライト校事業の実践
- 市民と協働するまちづくりのため、地域課題の整理と各種団体の自主的活動への支援
- 地域、学校、家庭が連携した行事や活動の展開
- 自主防災組織と民生委員等との連携、情報共有の強化

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	住民の生きがいづくりと、より充実した生活の一助となるよう、各世代のニーズに添った学習の場を提供する。 子どもを育てる連絡協議会と連携した行事や活動を展開し、児童・生徒の健全育成を図る。
健康づくりの推進	地域ICTと「とすば」サテライト校と連携した講座や運動の機会と場を提供し健康増進を図る。 町民スポーツ大会を開催し行政区内の親睦を図りながらスポーツに親しむ機会を提供する。 自主的スポーツクラブ「早池峰スポーツクラブ」の活動を支援する。
文化活動の推進	郷土芸能の継承と保存会活動及び後継者の育成を支援する。 遠野遺産、史跡文化遺産の保護、活用を推進するとともに文化意識の高揚を図る。
コミュニティ活動の推進	土淵駐在所と連携し交通安全や防犯等の活動を行い、事件事故のない、安全で安心なまちづくりを推進する。 地球にやさしい環境づくりに配慮した生活意識の高揚を図る。 世代間交流を推進し、地域の輪とコミュニティ活動の活性化を推進する。
推進基盤の整備	地域づくり連絡協議会を中心に、各種団体・自治会が活動主体となって、参加・連帯・協働を基調とする、住みよい町づくり活動を展開する。 地域情報誌を発行し、情報の提供に努める。
支援育成事業	地域づくり推進事業による各自治会の環境保全や景観形成事業を推進する。

エ 事業計画

区分	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動の推進	推進基盤の整備	支援育成事業
4月				春の交通安全運動 なじむ会 春の大掃除週間	市セ教委連絡会 主事研修	
5月	よいところ探検隊		駒形神社例祭	交通・防犯施設点 検 避難訓練	市セ教委連絡会 主事研修 地域教育協議会	花いっぱい運 動(5月～10 月)
6月		町民運動会 町民野球大会		環境パトロール 一人暮らし老人交 流会	市セ教委連絡会 主事研修 地連協理事会	
7月	家庭教育ゼミナール 読書標語コンクール	町民ソフトボール大会	早池峰神社例祭	防犯パトロール	市セ教委連絡会 主事研修	
8月	ちびっ子栄養教室	市民野球・ソフトボ ール大会 じんぎすかんマラソ ン大会	菅原神社例祭 舟っこ流し	市内一斉河川清 掃 夏の交通安全運 動	市セ教委連絡会 主事研修 地連協理事会	附馬牛町民夏 まつり
9月	生涯学習講座	町民グラウンドゴル フ大会 市民グラウンドゴル フ大会	遠野まつり	敬老会 市防災訓練 秋の交通安全運動	市セ教委連絡会 主事研修 安協研修会 区長推進員等研 修	
10月		市内一周継走大会 スポ少野球大会		避難訓練 秋の大掃除週間 高齢者宅訪問	市セ教委連絡会 主事研修 地域教育協議会	
11月		健康づくり教室	町民文化展	環境パトロール	市セ教委連絡会 主事研修 地連協理事会	
12月	クリスマスリース作 り教室 正月飾り作り教室	健康づくり教室 町民ソフトバレー大 会		冬の交通安全運動 防犯パトロール	市セ教委連絡会 主事研修 地域教育協議会	しめ縄作り教 室
1月		大船渡駅伝 健康づくり教室	小正月行事	新年を語る会	市セ教委連絡会 主事研修 体育協会研修会	
2月	雛団子作り教室	市民卓球大会 町民スカットボール 大会 健康づくり教室		避難訓練	市セ教委連絡会 主事研修 地連協理事会地 域教育協議会	流し雛 素人演芸会 (遠野早池峰 ふるさと学校)
3月		健康づくり教室		地域づくり推進大 会	市セ教委連絡会 主事研修	
特記	老人クラブ 婦人会 児童クラブ	早池峰スポーツクラ ブ(通年) ICT事業 体育協会 保健推進委員 運動普及員 学校保健員会	しし踊り保存会 (張山,上柳,東禅 寺) 神楽保存会(大 出,小倉) 舞踊(香会)	地域づくり連絡協 議会 町防犯協会 社協附馬牛支部 安協附馬牛分会 情報誌発行(4回)	区長会他各種団 体会議 子どもを育てる 協議会	推進事業 郷土芸能団体 支援 福祉団体支援 コミュニティーサロ ン 支援 遠野早池峰ふ るさと学校支 援

(5) 松崎地区センター（松崎地区公民館）

ア 運営方針

市民憲章運動の具体的実践活動を推進するため、関係機関・団体と相互に連携し、住民の地域活動への積極的参加を促す。

地域課題の把握と解決策を見出し、住民満足度を高めるコミュニティ活動について自ら考え、創造する地域づくりの促進、地域力の向上に努める。

各年代、学習意欲の喚起、健康で潤いのある生活環境を充実させるために、生涯学習の場と機会の提供に努める。

イ 重点施策

- 生涯学習の場と機会の提供に努め、地域住民の自主的活動を促進する。
- 保健・医療・福祉の拠点地区として、特に住民の健康づくりを推進するために、運動教室や講座の開設を行う。
- 地域の歴史・文化探訪を行い、次代につなぐ基盤づくりを進める。
- 食材生産現場の見聞や体験活動を通じた食育活動、健全な心身の育成、家庭教育の充実、伝承行事への積極的参加、発表の場の提供に努める。
- 地域教育協議会を中心に地域と強く関わりを持ち、教育活動と学社連携を促進に努め、安全・安心、明るい地域を目指す。
- 地域づくり団体の支援育成と充実を促進する。

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	高齢者が安心して生きがいの持てる生活を送り、学習機会の充実を目指す活動を展開する。 各世代の多様な必要性を把握し、園芸、踊り、学習意欲の喚起等参加者が主体的に活動する講座、教室を開催する。
健康づくりの推進	自らの健康は、自ら守る意識の高揚のもと運動やスポーツを通じ、教室・講座を開催し、心身の健康保持増進に努める。 スポーツを気軽に楽しむ、または参加することにより、健康づくりと生涯スポーツの振興に努める。
文化活動の推進	伝承行事、伝統芸能への積極的参加、活動を通じて世代間交流を図り、併せて地域の歴史・文化探訪を行い、継承する大切さや次代につなぐ基盤づくりを推進する。
コミュニティ活動の推進	安全・安心の明るく住みよいまちづくりに資するため、環境美化運動や花いっぱい運動、交通安全・防犯意識の高揚など、住民満足度を高めるためのコミュニティ活動について、積極的な話し合い、懇談会を開催する。 地域広報紙の定期発行を行い、情報の提供に努める。
推進基盤の整備	地域づくり連絡協議会や自治会を中心に関係機関・団体と相互に連携し、住民の地域活動への積極的参加を促進する。 また、地域課題の把握と解決策を見出すことにより、自ら考え、創造する地域づくり、地域力の促進に努める
支援育成事業	常に問題意識と、目的を念頭に地域づくり連絡協議会あるいは構成団体を推進母体とした町内の地域づくり団体の支援・育成に努める。

エ 事業計画

	社会教育の 充実	健康づくりの 推進	文化活動の 推進	コミュニティ活動	推進基盤の 整備	支援育成 事業
4月	踊り、尺八、キルト、華道			町内一斉道路清掃 交通安全街頭指導 さわやかガード隊 防犯パトロール	定例区長会 地連協総会 各団体総会	
5月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道			花いっぱい運動 交通・防犯施設点検 食育活動 防犯パトロール	定例区長会 各団体総会	花いっぱい運動(育成)
6月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道	町民運動会 町民野球大会		環境パトロール 食育活動 自治会長会議 防犯パトロール	定例区長会	花いっぱい運動(植栽)
7月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道、	市内継走練習 町男女混合ソフトボール大会	郷土芸能発表 (敬老会に出演)	敬老会 交通安全看板づくり 防犯パトロール、 食育活動 さわやかガード隊	区長等研修会	
8月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道	市内継走練習		市内一斉河川清掃 交通安全街頭指導 防犯パトロール、 食育活動	定例区長会	
9月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道	市内継走練習 町グラウンドゴルフ大会	遠野まつり	秋季交通安全街頭指導 食育活動 防犯パトロール	定例区長会	
10月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道	市内継走大会		町内一斉道路清掃 食育活動 防犯パトロール	定例区長会	花いっぱい運動(清掃)
11月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道	男女混合ソフトバレーボール大会、		交通安全標語・看板の設置、 食育活動 防犯パトロール	定例区長会	
12月	高齢者教室 踊り、尺八、キルト、華道			食育活動 さわやかガード隊 食育活動 防犯パトロール	定例区長会	桜の木管理
1月	生涯学習サークルの作品展 踊り、尺八、キルト、華道		小正月伝承行事	一人暮らし老人交流会 防犯パトロール 地域づくり推進大会	定例区長会	
2月	踊り、尺八、キルト、華道		歳祝いの会	防犯パトロール	定例区長会	
3月	踊り、尺八、キルト、華道			地連協等合同 代議員会	定例区長会	
特記	サークル活動は月1、2回開催	大会は町体育協会が主催 松崎スポーツクラブ	歴史伝承研究会、老ク連	地連協、体協、防犯協、安協松崎分会、社協松崎支部 広報誌発行	定例民児協 各団体理事会 主事研等	地連協

(6) 土淵地区センター（土淵地区公民館）

ア 運営方針

「永遠の日本のふるさと」を目指し、これまで進めてきた「参加・連帯・協調」の意識を高め、「住民一人ひとりの誇りと熱意と活力」を引き出しながら、行政、地域づくり連絡協議会及びその他団体等との協働により住みよいまちづくり活動を展開する。

また、生活に根ざした生涯学習の場と機会を提供するとともに、町民の自主的な活動を推進する。

イ 重点施策

- 立丸峠のトンネル整備を見据え、観光資源PRの整備に向けた活動を図り、土淵バイパスの全線開通による地域活動の活性化を図る。
- コミュニティ活動の推進と自主的運営の支援強化を図る。
- 生涯学習の機会と場の提供及び個人・団体の自主的活動の推進を図る。
- 地域教育活動の強化及び総合型地域スポーツクラブの育成支援を図る。
- 郷土芸能、伝統文化の伝承保存活動の推進を図る。
- 地域の特性を活かしたまちづくり、産物の開発推進を図る。
- 環境保全活動、地域資源保全活動の促進を図る。

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	住民のニーズに対応した各種学習の機会と場の提供と、学習意欲の増進を図り、サークル化に向けた自主的活動を推進する。 高齢者講座の推進と充実を図る。
健康づくりの推進	総合型地域スポーツクラブ活動や各種スポーツ行事及び健康づくり総合大学メニューを通じて、健康づくりの意識高揚を図るとともに、食生活改善事業や健康講座等を開催するなど、心身の健康づくりを推進する。
文化活動の推進	遠野物語発祥の地として、「佐々木喜善祭」の開催等文化遺産の保護及び次世代への伝承活動事業を推進し、文化意識の高揚を図る。また、郷土芸能団体の育成、発展のための助長と後継者の育成を推進する。
コミュニティ活動の推進	地域づくり連絡協議会をはじめ地域活動5団体や地域教育協議会、自治会などの活動を主体に「参加・連帯・協調」の意識を高め、自主的な地域課題の解決や安全で住みよい地域づくりを推進する。
推進基盤の整備	地域づくり連絡協議会や関係機関との連携を強化するとともに、各種団体の自主的活動の促進、支援を図る。 また、青年層の活動母体の組織化を推進する。
支援育成事業	地域の特性を活かした特産物の開発や自然環境、文化遺産など特徴ある資源を活かし、景観に配慮したまちづくりを進める。 自治会及び「まちづくりを考える会」を核に、自らが考え行動する地域活動を推進、支援する。 山口地区が「日本の重要な文化的景観」に認定されたことから、地域のさらなる意識高揚に努める。 土淵バイパス全線が開通したことにより、交通の流れの変化に対応した地域の安全確保を支援する。 立丸峠のトンネル整備を見据えた地域の観光資源PRの整備を支援する。

エ 事業計画

月	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動の推進	推進基盤の整備	支援育成事業
4月	こがらせ大楽運営委員会	総合型地域スポーツクラブ ICT 健康体操		町内一斉道路清掃 交通・防犯施設点検 交通安全運動 こがらせ園	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	環境美化活動
5月	こがらせ大楽	総合型地域スポーツクラブ ICT 健康体操	金勢様まつり 薬師堂例祭	防犯街頭PR活動 こがらせ園 青少年健全育成パトロール	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業
6月	こがらせ大楽	町民運動会 町老連ゲートボール大会 総合型地域スポーツクラブ ICT	八坂神社例祭	ふれあい花壇づくり 敬老会 こがらせ園 環境パトロール	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業
7月	こがらせ大楽 寺子屋学習 女性研修	町民野球大会 総合型地域スポーツクラブ ICT	虫おい祭り	こがらせ園 青少年健全育成パトロール	区長定例会 区長会研修会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業
8月	こがらせ大楽	町民ソフトボール大会 総合型地域スポーツクラブ ICT	土淵まつり(倭文神社例祭)	市内一斉河川清掃 カープミラー清掃 こがらせ園 青少年健全育成パトロール	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業 倭文神社祭
9月	こがらせ大楽	町老連ゲートボール大会 総合型地域スポーツクラブ ICT	遠野まつり参加 佐々木喜善祭	交通安全運動 交通安全ドリンク作戦 こがらせ園	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業 佐々木喜善祭
10月	こがらせ大楽	総合型地域スポーツクラブ 市内一周継走 ICT 健康体操	栃内観音祭	こがらせ園 青少年健全育成パトロール	定例区長会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業
11月	こがらせ大楽	総合型地域スポーツクラブ 町民スポーツ大会 ICT 健康体操	飯豊祭 釜平祭	一人暮らし老人交流会 こがらせ園 環境パトロール	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	直売事業
12月	こがらせ大楽祭 フリースタイル教室	総合型地域スポーツクラブ ICT 健康体操	米通山ノ神 飯豊クリスマス会 似田貝クリスマス会	こがらせ園 安協土淵分会研修会	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	
1月		総合型地域スポーツクラブ ICT 健康体操	小正月行事	新春講演会 青少年育成パトロール こがらせ園	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	
2月	こがらせ大楽	総合型地域スポーツクラブ ICT 健康体操		ボランティア研修会 こがらせ園	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	地域づくり集約大会
3月	こがらせ大楽	総合型地域スポーツクラブ ICT 健康体操		こがらせ園	区長定例会 市セ連絡会議 公民館等主事研修会	各種団体総会 歓送迎会
特記	老人クラブ 婦人会	保健推進委員 食改善うっこの会 体育協会 各スポーツ団体	しし踊り保存会 神楽保存会 さんさ踊り保存会 老人クラブ	地域情報誌発行 社協土淵支部 防犯協会 安協土淵分会 交通安全母の会	区長会 民児協定例会 地域教育協議会 地連協役員会 保健推進委員会 官公所等連絡会議 まちづくりを考える会	遠野みらい創りカレッジ

(7) 青笹地区センター（青笹地区公民館）

ア 運営方針

市民憲章を基調に、町民が健康で明るく心豊かで生きがいを抱いて生活をおくることができる地域社会の形成を目指し、関係機関・団体と連携を図りながら町民が取組む自主的地域活動を支援・促進する。また、誰もが気軽に参加できる各種学習機会の創出や適宜適切な情報提供を通じて生涯学習を推進するとともに、市民協働による地域づくりの実践と人間性豊かな人財づくりを進める。

イ 重点施策

- 学習機会の提供・充実等、地域・学校・家庭が相互に連携して生涯学習の推進を図る。
- 健康の保持増進のため、スポーツの振興及び健康づくり活動の推進を図る。
- 郷土芸能の伝承保存・後継者育成活動の推進を図る。
- コミュニティ活動を通じて住民相互の交流を深め、安全安心な地域づくりを推進する。
- 各種団体の自立した活動の支援と相互連携を図り、活力あふれる地域社会の推進を図る。
- 市民協働による特色ある地域づくりの推進を図る。

ウ 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	住民全般や各年代等のニーズに応じた魅力ある学習の機会と場の提供を図り、潤いと生きがいのある生活環境の形成に努める。 積極的に世代間交流を推進し、将来の地域を担う子供たちの育成に努める。
健康づくりの推進	誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション行事を開催し、スポーツを通じた町民の健康増進を図る。 健康診断の受診率の向上に努めるとともに、食育活動を通じた心身の健康づくりを推進し、町民の健康保持・増進を図る。
文化活動の推進	郷土芸能「青笹しし踊り・六角牛神楽」の伝承・後継者育成を支援する。保育園児、小・中学生の指導・育成を図り、その成果を園・学校行事や町民運動会をはじめとする地域行事等で披露・発表する。 遠野遺産等の郷土文化学習会を開催し次世代への継承を図る。
コミュニティの推進	環境美化・交通安全・防犯活動等を推進し、安全安心なまちづくりに努めるとともに、地域の連帯意識の高揚を図る。また、情報・学習機会の場を提供し、伝統行事や地域課題解決に向けた活動を通じて世代間交流を図る。
推進基盤の整備	地域づくり連絡協議会と各種団体の連携を緊密にするとともに、地域の社会資本整備を自治会・各種団体自らが考え・行動する活動を推進する。 市民協働のもと施設整備、環境整備の充実を図る。
支援育成事業	各種団体からの求めにより支援・助言を行い、より一層の自主自立した活動を促す。 子育て村を中心とした園児・児童・生徒の育成活動を支援する。 自治意識の高揚を図り、地域課題に対する自主的活動を支援する。 防犯意識向上のため、顔見知り・見守り活動等の取組みを支援する。

エ 事業計画

区分	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動の推進	推進基盤の整備	支援育成事業
4月		地域 ICT		交通安全街頭指導 春季大掃除 ふれあいホーム 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 官公署等連絡会議 市セ連絡会議 公民館等主事研修	笛吹き峠清掃活動 ボランティア
5月	習字教室	地域 ICT	しし踊り披露(小学校運動会)	ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	花いっぱい運動 (5～11月)
6月	習字教室	町民運動会 地域 ICT	しし踊り披露(町民運動会)	国道バイパス草取り ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 官公署等連絡会議 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
7月	習字教室	町民野球大会 町民ソフトボール大会 地域 ICT		敬老会 ふれあいホーム 子育て村夏祭り サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 地教協連絡会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	子ども 110 番の家顔見知り事業
8月	習字教室	各町対抗ソフトボール大会 地域 ICT		笛吹峠譲り合い作戦 市内河川清掃 ゴミ拾い活動 防犯パトロール 環境パトロール ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 地教協委員会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
9月	習字教室	地域 ICT	しし踊り披露(保育園運動会、遠野まつり、六神石神社例大祭)	秋季大掃除 国道バイパス草取り ふれあいホーム ふれあい交流会 交通安全街頭指導 サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 官公署等連絡会議 市セ連絡会議 公民館等主事研修	

10月	習字教室	市内一周継走大会 とすぼ健康教室 地域 ICT		秋季大掃除 ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
11月	習字教室 家庭教育ゼミナル	町民ソフトバレーボール大会 とすぼ健康教室 地域 ICT		環境パトロール ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 地域教育協議会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
12月	習字教室 高齢者対象しめ縄づくり 児童わら細工体験教室	とすぼ健康教室 地域 ICT	しし踊り引き継ぎ会（小学校）	防犯パトロール ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 官公署等連絡会議 地連協理事会 地教協委員会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
1月	習字教室 あおざさ子育て村小正月行事	町民ドッジボール大会 地域 ICT		町新年交賀会 ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 小正月行事 ミニ広報発行	定例区長会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
2月	習字教室 生徒かんながら挽き体験教室	市民卓球大会 町老連室内競技大会 地域 ICT		ふれあい交流会 ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 地連協理事会 地域教育協議会 官公署等連絡会議 市セ連絡会議 公民館等主事研修	
3月	習字教室	地域 ICT		ふれあいホーム サポート作戦 青パト車運行 ミニ広報発行	定例区長会 市セ連絡会議 公民館等主事研修	地域づくり推進大会・6団体合同総会
特記	町地連協 町地教協 町老連	学校保健委員会 町体育協会 町老連	町地教協 町区長会 町しし踊り保存会	町地連協 社協青笹支部 安協青笹分会 町防犯協会 町婦協 町老連	町区長会 町地教協 地区民児協	

(8) 上郷地区センター（上郷地区公民館）

ア 運営方針

人口の減少、少子高齢化が著しく、中学校の閉校などもあり、歴史・文化の継承も難しくなっている状況にあるが、地域づくりの主役である住民が、現状において何を改善し、何を後世に引き継いでいくべきかを選択し、上郷町の将来に向け真の住民自治を実現することが、地域づくりの再生・活性化をかなえていくものと考え。

また、上郷町が有する歴史・文化・自然と地域生活が調和し共生する地域づくりを推進するとともに、住民誰もが安心して暮らせる生活環境を整え、活力ある地域社会を築き、人口の減少に少しでも歯止めをかけ、上郷町に活力を取り戻すことが重要と思われる。

そのためには、地域づくり連絡協議会を構成する各団体・関係機関等と十分な連携を図り、豊かな自然と名所旧跡などの景観形成、そして地域の宝である伝統芸能保存活動への支援に努めるなど、上郷町としての地域の特色を生かしながら、住民誰もがふるさと上郷に誇りをもち、健康で明るく、住みよいまちづくりに取り組んでいくこととする。

イ 重点施策

- 市民憲章理念の実現に向けた、地域づくり活動を推進する。
- 地区センターを拠点に、生涯学習、生涯スポーツの推進を図る。
- 地域教育協議会を中心に、次世代を担う子どもたちの健全育成の推進を図る。
- 健康づくりの基盤として、総合型地域スポーツクラブの支援を図るとともに、各自治会に出向いての健康教室等の開催に取り組む。
- 地域の宝である名所旧跡の景観形成及び伝承芸能保存活動の推進を図る。
- 各種団体・関係機関等の地域づくり事業関連事業を積極的に支援し、コミュニティ活動の推進を図る。
- 市民協働による地域の特色を生かした地域づくりを推進する。
- 6月第1日曜日を上郷町民ふれあいの日とし、レクリエーションと伝承芸能の発表を通じ、町民同士の交流の推進を図ると共に、町民の健康増進と伝承芸能保存活動の充実に取り組む。
- 自主防災組織体制の強化を図り、災害に強い地域づくりを推進する。
- 地域における少子高齢化、若者定住対策に取り組む。

ウ 活動の展開

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	住民ニーズを把握しながら、各年代に沿った魅力ある講座の開設と生涯学習の場の設定に努める。また、地域教育協議会等との連携により、世代間交流を通しながら、次代を担う子どもたちの健全な青少年育成に努める。
健康づくりの推進	体育協会、総合型スポーツクラブと連携し、町民誰もが参加できる運動の場を提供すると共に、食生活改善グループ等との連携による食育活動と、各自治会単位に健康教室を計画するなど健康づくり意識の啓発に努め、生涯にわたり心身共に健康な身体づくりを推進する。
文化活動の推進	上郷しし踊り保存会との連携のもと、「ふるさと学習」への支援を推進するほか、郷土の歴史や文化を学習しながら、郷土芸能の伝承活動の支援と、後継者育成に努める。また、中学生の伝承活動への参加については、遠野東中学校と連携・協議を行いながら進めていくこととする。さらには、遠野遺産認定制度の積極的な推進と、地域資源利活用の意識高揚に努める。 また、町民の文化的教養の高揚と、地域における文化・芸術の推進を図る。

コミュニティ活動の推進	<p>交通事故防止の意識高揚を図るパレード等による交通安全活動、スクールガードボランティアによる児童・生徒の見守り及び定期夜間パトロール等の防犯活動を推進し、町民が安全・安心で暮らせる住みよい地域づくりに引き続き努める。</p> <p>また、敬老会、ひとり暮らし交流会の開催を今年度も予定するほか、地域ぐるみによる花いっぱい運動と、大掃除週間及び河川清掃を展開し、明るく住みよい環境づくりを推進する。</p> <p>さらには、地域づくり広報誌「コミュニティかみごう」を毎月発行し、情報の提供・共有に努める。</p>
推進基盤の整備	<p>健康で明るく住みよいまちづくりを推進するため、地域づくり連絡協議会を構成する各団体・関係機関、地元市議会議員等と連携を密にし、みんなで築くふるさと推進事業の活用を推進しながら、市民協働による地域課題の解決を図る。</p> <p>また、地域活動専門員との連携により、自主防災組織の見直し・強化を図り、実効性ある体制の構築を図ることにより、災害に強い地域づくりを推進する。</p>
支援育成事業	<p>各種団体の自主活動を側面から支援し、更に地域の特性を活かした活動となるよう推進する。</p> <p>また、地域活動専門員を先頭に、次代を担う世代の活動の活性化に取り組み、親睦と交流の場を設けながら、地域を担う人材育成に努める。</p>

エ 事業計画

区分	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動の推進	推進基盤の整備	支援育成事業
4月	シラカバ樹液採取体験学習	体協定例会 ICT健康塾		安協定例会 春季大清掃 防犯パトロール 春の交通安全運動 地域づくり推進大会 合同歓迎会 ミニ広報発行	定例区長会 地連協総会 官公署連絡会議	シラカバ樹液採取体験学習
5月		体協定例会 ICT健康塾	ふるさと学習	安協定例会 防犯パトロール ミニ広報発行 自転車の安全利用推進月間	定例区長会 官公署連絡会議 地域教育協議会	
6月		体協定例会 町民運動会 ICT健康塾	ふるさと学習 郷土芸能発表会	安協定例会 環境パトロール 防犯パトロール ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議	花いっぱい事業
7月		体協定例会 町民野球大会 ICT健康塾		安協定例会 敬老会 防犯パトロール 防犯パレード ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議	
8月	ちびっこ栄養教室	体協定例会 市民野球、ソフトボール大会 ICT健康塾 スポーツ教室 継走合同練習		安協定例会 一斉河川清掃 防犯パトロール ミニ広報発行 夏の交通事故防止運動	定例区長会 官公署連絡会議	
9月		体協定例会 町民体育大会 ICT健康塾 継走合同練習	ふるさと学習 遠野まつり参加	安協定例会 防犯パトロール ミニ広報発行 秋の交通安全運動	定例区長会 官公署連絡会議	
10月	紙バンド教室 動物とのふれあい事業	体協定例会 市内一周継走 ICT健康塾 継走合同練習		安協定例会 環境パトロール 防犯パトロール 秋季大清掃 高齢者の交通事故防止運動 ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議 区長研修	
11月	シニア生き生き事業	体協定例会 ICT健康塾	町民文化展	安協定例会 ひとり暮らし老人交流会 防犯パトロール 交通安全パレード ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議	
12月	ちびっこ栄養教室	体協定例会 ICT健康塾		安協定例会 防犯座談会 冬の交通事故防止運動 ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議	
1月	もちっこフェスティバル	体協定例会 冬季スポーツ大会 シルバー室内スポーツ交流会 ICT健康塾		安協定例会 区長・保健推進委員会 新年を語る会 ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議 区長保健推進委員会 合同新年会 安協新年を語る会	
2月	料理教室	体協定例会 シルバー室内スポーツ交流会 ICT健康塾 スポーツ教室	ふるさと学習	安協定例会 ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議	
3月		体協定例会 シルバー室内スポーツ交流会 ICT健康塾		安協定例会 合同送別会 ミニ広報発行	定例区長会 官公署連絡会議 地域教育協議会	
特記	地域教育協議会 万年青クラブ 児童館	体育協会 保健推進委員会 うっこの会 センニンスポーツクラブ	地域づくり連絡協議会 地域教育協議会 上郷しし踊り保存会	広報発行「コミュニティかみごう」 スクールガードボランティア活動 地域づくり連絡協議会 社協上郷支部 防犯協会 安協上郷分会	区長会 民児協定例会 地域教育協議会 地域づくり連絡協議会 官公署連絡会議	各伝統芸能保存会支援 各種団体活動支援

(9) 宮守地区センター（宮守地区公民館）

ア 運営方針

「市民憲章」と「みんなで築くふるさと遠野指針」の実践活動を推進するとともに、地域の景観・環境の保全活動と、それぞれの地域の特性を生かした地域づくりのために、関係機関・団体との連携を深め、住民の地域活動への積極的な参加促進に務める。また、より豊かな心と体を創りだしていくため、住民誰でもが参加できる健康づくりの場、生涯学習の場の提供を行いながら、市民協働の地域づくりや活力と潤いのあるまちづくりを推進する。

イ 重点施策

- 宮守・達曽部・鱒沢の地域づくり組織と各種団体の強化と自主的活動の推進
- 市民協働による地域づくりの推進
- 住民誰もが参加できる健康づくりと生涯学習の場の提供と推進
- 郷土芸能の継承と芸術文化活動の振興と支援
- 学社連携による地域教育活動の推進

ウ 施策の概要

主 要 な 施 策	施 策 の 内 容
社会教育の充実	地域住民だれもが学べる生涯学習活動を推進するため、児童生徒の健全育成を目的とした自然体験学習の場として「森の学校稲荷穴塾」や一般の方々を対象とした「みやもり銀河カレッジ」などの生涯学習講座を開催し、住民のニーズに対応した学習機会の場や交流の場の提供に努める。
健康づくりの推進	宮守町体育協会及び総合型スポーツクラブ、各種団体等と連携しながら、各種スポーツ大会やレクリエーション行事の開催及び健康づくりと生涯スポーツの振興を図るとともに、健康教室・講座等を開催し地域住民の健康維持、増進を図る。
芸術文化活動の推進	郷土芸能発表会を開催し、郷土芸能団体の育成と継承活動を支援する。また、芸術文化団体や町内小中学校と連携しながら各種発表会、絵画展示や作品展を行い、鑑賞の機会を提供する。 各地域の自然や歴史、伝統文化、暮らしなどの特色を生かしながら後世代に受け継いで行くための事業の展開と世代間交流を推進する。また、遠野遺産の活用による地域の活性化を推進する。
コミュニティ活動の推進	宮守・達曽部・鱒沢の各地域づくり連絡協議会、自治会を中心に他団体との連携を図りながら地域の連帯感を深めて地域コミュニティの充実を図り、環境美化活動、交通安全運動、地域防犯活動も推進しながら、安全安心なまちづくりに務める。
推進基盤の整備	地域づくりに取り組む各種団体や個人の活動を地域ぐるみで支援するとともに、組織の育成に努める。 住民活動の促進と住民連帯意識の高揚を図るため、広報紙(地域づくりだより)を発行し、情報の提供に努める。
支援育成事業	地域づくり連絡協議会、各種団体のそれぞれの特色を生かした事業や活動を支援する。

エ 事業計画

月	社会教育の充実	健康づくりの推進	文化活動の推進	コミュニティ活動の推進	推進基盤の整備	支援育成事業
4月		町体協総会		町内一斉道路清掃 交通安全街頭指導 交通施設点検 春季大掃除 防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 主事研修 各種団体総会 区長定例会	各自治会総会 環境美化活動 推進事業
5月			宮守郷土芸能保存 会総会	防犯パトロール 地域づくり連絡協 議会総会	市セ・教委連絡会議 主事研修 各種団体総会 区長定例会	
6月	生涯学習講座	とすぼサテライ ト校講座		防犯パトロール 河川清掃	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
7月	生涯学習講座	シルバースポー ツ大会 町民野球大会 とすぼサテライ ト校講座		防犯パトロール 市内一斉河川清掃 リバーサイド まつり	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	環境美化活動
8月	生涯学習講座	町民ソフトボー ル大会	郷土芸能「めが ね橋夜まつり」	交通安全街頭指導 防犯パトロール 稲荷穴まつり	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
9月	生涯学習講座			交通安全街頭指導 防犯パトロール 秋季大掃除 河川清掃	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
10月		市内一周継走大 会 とすぼサテライ ト校講座	婦人祭 躍進みやもり 祭	交通安全街頭指導 防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	環境美化活動
11月	生涯学習講座	町民ソフトバレー ボール大会 ふれあいスポー ツ大会 とすぼサテライ ト校講座		防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
12月				交通安全街頭指導 防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
1月	生涯学習講座	とすぼサテライ ト校講座	小正月行事	防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 区長定例会	
2月	生涯学習講座	とすぼサテライ ト校講座		地域づくり推進大 会 防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
3月				防犯パトロール	市セ・教委連絡会議 主事研修 区長定例会	
特記		スポーツクラブ 体育協会 老人クラブ	地域づくり連絡 協議会 郷土芸能保存会 町婦協・他団体	地域づくり連絡協 議会 交通安全協会、防 犯協会、区長会他	区長会 地域づくり連絡協議 会他	地域づくり連 絡会 町婦人会

平成26年度 月別事業計画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化課・給食センター 学校関係等
	1	火			(事) 初任者研修一般研修①	
	2	水	辞令交付式 転入者着任式		(事) 所内会議①	
	3	木	特別支援教育支援員研修会		(県) 特別支援教育新任担当教員研修講座(スタート 研修)	
	4	金			始業式(遠小、北小、土小、鱈小、 速中、東中)	始業式(遠小、北小、土小、鱈小、 速中、東中)
	5	土			入学式(西中)	入学式(鱈小、速中、東中、西中)
	6	日				
	7	月			始業式(綾小、友小、附小、青小、 上小、宮小、達小)	始業式(綾小、友小、附小、青小、 上小、宮小、達小)
	8	火	NRT 検査実施(～25日)		(県) 県社会教育主事会議(～9日)	入学式(綾小、友小、附小、青小、 上小、宮小、達小)
	9	水			修学旅行(東中～11日)	修学旅行(東中～11日)
	10	木	副校長・事務担当者会議 事務の共同実施①		(県) 教育事務所長会議・公所長会議 (県) 代表指導主事会議(～12日)	修学旅行(速中～12日)
	11	金	研究指定校連絡会議		(県) スポーツ健康行政担当者会議① (県) 通級指導担当者研修 (事) 初任者研修実施校長連絡会 (事) 初任者研修指導教員研修会①	
	12	土				
	13	日				
	14	月		(団) 市校長会定期総会		
	15	火	教育研究所運営委員会①			
	16	水	事務の共同実施②		(事) 管内校長会議 (県) 県指導主事会議①(～18日)	修学旅行(西中～18日)
	17	木				
	18	金		(団) 県小学校長会定期総会	(事) 管内生涯学習・社会教育主管課長・担当者会議	
	19	土				
	20	日		(団) 盛岡一周継走		
	21	月		(団) 市特別支援教育研究会総会	(事) 所内会議②	
	22	火			(国) 全国学力・学習状況調査 (七) 小中新任校長研修(～24日) (七) 小・初任者研修Ⅰ(～25日)	
	23	水		(団) 市副校長会定期総会	(事) 管内教育委員会学校保健担当者会議	
	24	木		(団) 市学校保健会定期総会	(県) 復興教育担当者会議①	
	25	金	教育委員会定例会	(団) 県中学校長会定期総会 (団) 国公立幼稚園協議会総会	(県) スクールカウンセラー連絡協議会	
	26	土				
	27	日				
	28	月	学力向上研究員部会・社会科副読本部会① 校長会議①	(団) 市小体協評議員会 (団) 市小音協評議員会		
	29	火	昭和の日			
	30	水			(県) 防災教育研修会	

4 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育文化)関係 (県)県教委事業(七)教育文化事業(事)事務所事業	市民文化・文化課・給食文化 学校関係等
	1	木				
	2	金			(事)研究主任研修会	
	3	土	憲法記念日			
	4	日	みどりの日			
	5	月	こどもの日			
	6	火	振替休日			
	7	水	(団)市小体協理事会① (団)市中文連評議員・理事合同会議① (団)市特別支援教育研究会理事会①			
	8	木			(県)運動部活動指導者研修会① (事)管内生涯スポーツ担当者会議 (七)外国語活動担当指導者養成研修(～9日)	
	9	金	学力向上対策会議①			
	10	土				
	11	日				
	12	月	(団)高等学校生徒指導連絡協議会		(七)中・免許外研修1(～13日)	
	13	火			(県)NS業務委託説明会 (県)運動部活動指導者研修会② (事)BU担当者会議	
	14	水	就学指導委員会①		(県)新規採用栄養教諭研修会①	
	15	木			(県)運動部活動指導者研修会③ (七)中・免許外研修2(～16日)	
	16	金			(事)所内会議③	体育祭(全中学校)
	17	土				
	18	日				
	19	月			(国)いじめ問題に関する指導者養成研修会 (国)キャリア教育指導者養成研修会(～23日) (県)中学校英語研修会①	
	20	火	(団)市校長会運営委員会① (団)市小体協理事会②		(七)小中新任副校長研修(～22日) (七)新任主幹教諭研修(～21日)	
	21	水	事務の共同実施③			
	22	木			(県)新規採用養護教諭研修会① (県)幼稚園担当者指導主事・担当者会議	
	23	金	(団)市中文連理事会②		(県)就学支援担当者研修会	
	24	土				運動会(全小学校)
	25	日				
	26	月	(団)県副校長会定期総会 (団)市中文連評議員・理事合同会議①		(国)道徳指導者養成研修(～30日)	
	27	火			(県)運動部活動指導者研修会④ (県)園長等運営管理協議会 (事)管内新任保健主事研修会 (七)中・初任者研修I(～30日)	
	28	水	教育委員会定例会	(団)市教育研究会一者研修会①		
	29	木		(団)指導教諭研修講座	(国)キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会 (～30日)	
	30	金	遠野東中学校区授業研究会 遠野西中学校区授業研究会			
	31	土	(団)地区通信陸上			

5 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育文化)関係 (県)県教委事業(七)教育文化事業(事)事務所事業	市民文化・文化課・給食文化 学校関係等
	1	日				
	2	月	遠野中学校区授業研究会 社会科副読本部会②		(県)いわてのキャリア教育実践研修講座 I	
	3	火		(団) 市校長会研修会①	(県) 運動活動指導者研修会⑤ (事) 特別支援教育新任担当教員研修講座	
	4	水			(事) 管内教育振興運動推進研修会 (七) 幼稚園初任者研修 I (~5日)	修学旅行 (遠小~5日)
	5	木		(団) 岩大附属中学校公開	(県) 衛生管理推進等研修会	修学旅行 (土小~6日)
	6	金	生徒指導推進協議会①	(団) 市中総体抽選会	(県) 地域スポーツ指導者研修会	
	7	土				
	8	日				
	9	月	八戸市との児童交流(引率団員打ち合わせ)		(七) 新任教務主任研修講座 (~10日)	
	10	火			(事) 教職経験者 10年研修講座①	
	11	水	幼保小交流会①			修学旅行 (北小~12日)
	12	木			(県) 小学校体力向上指導者研修会 (~13日) (七) 小・教職経験者 5年研修講座(~13日)	修学旅行 (附小、青小~13日)
	13	金			(事) 教科書展示(~27日)	
	14	土		(団) 市中学校総合体育大会 (団) 管内各地区中総体 (~15日)		
	15	日		(団) 市中学校総合体育大会予備日		
	16	月		(団) 市小体協理事會③	(県) 中高英語中核教員研修① (~18日) (事) 管内校長研修講座 (~18日)	
	17	火				
	18	水	事務の共同実施④	(団) 市副校長会研修会①	(七) 中・フオローアップ理科(~19日)	修学旅行 (友小、宮小、鱒小、遠小 ~19日)
	19	木				
	20	金		(団) 岩大附属小学校公開	(事) 管内会議④	
	21	土				
	22	日				
	23	月			(県) 小学校消費者教育研修会	
	24	火	校長会議②	(団) 市小体協理事會④	(事) 臨時任用教員研修会	
	25	水		(団) 市小体協理事會⑤	(事) 初任者研修授業研修①	
	26	木		(団) 市小学校陸上記録会 (団) 東北地区中学校長会研究協議会 (団) 県栄養教諭・学校栄養職員研修会	(国) 生徒指導指導者養成研修(~7/11)	
	27	金	教育委員会定例会	(団) N I E 実践交流会 (団) 市小学校陸上記録会予備日	(県) 防犯教室研修会 (県) 特別支援教育コーディネーター等研修会 (事) 管内 2年目教員研修	
	28	土				
	29	日			(県) 平泉世界遺産の日	
	30	月			(国) 指導主事連絡協議会(~7月1日)	青少年劇場

6 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化圏・給食センター 学校関係等
	1	火		(団)市学校運営研究会① (団)市特別支援教育研究会合同遠足	(事)管内副校長研修会	
	2	水	八戸市との児童交流(事前研①)	(団)市学校運営研究会② (団)市小体協実技講習会	(県)保育技術協議会 (事)教職経験者5年研修講座① (七)中・フォローアップ数学(～3日) (七)中・フォローアップ英語(～3日)	
	3	木		(団)東北小学校長会研究協議会(～4日)	(県)教育事務所長会議②	
	4	金	学校懇談会(遠野小)	(団)市学校運営研究会③		
	5	土		(団)県通信陸上(～6日)		
	6	日				
	7	月			(県)副校長会管理運営研修会 (県)中・高等学校体力向上指導者研修会(～8日)	
	8	火			(事)いじめ問題等総合対策研修会	
	9	水	八戸市との児童交流(事前研②)		(国)人権教育指導者養成研修(～11日)	
	10	木			(県)新規採用養護教諭研修会②	
	11	金		(団)日本教育会遠野地区総会	(県)中学校消費者教育研修会	
	12	土			(県)県立一関一高附属中学校説明会	
	13	日				
	14	月				
	15	火				
	16	水	事務の共同実施⑤		(県)新規採用栄養教諭研修会②	
	17	木				
	18	金			(県)新規任用栄養教諭研修会② (県)県小・中学校教育課程協議会	
	19	土		(団)県中学校総合体育大会(～21日)		
	20	日				
	21	月	海の日			
	22	火			(事)所内会議⑤	
	23	水				
	24	木				終業式(遠小) 終業式(北小、綾小、友小、附小、土小、青小、上小、宮小、鱒小、達小、遠中、東中、西中)
	25	金	教育委員会定例会	(団)市小体協理事会⑥	(県)代表指導主事会議②	
	26	土				
	27	日				
	28	月	八戸市との児童交流 受入(～29日)	(団)市小体協理事会⑦	(県)授業力向上研修(共通①)(～30日) (事)特別支援教育相談会、Co研修 (七)幼稚園・教職経験者10年研修講座(～30日)	
	29	火		(団)市小学校水泳記録会	(事)初任者研修一般研修② (事)初任者研修指導教員研修②	
	30	水		(団)東北造形研究大会(～31日)	(県)養教授業力向上研修(専門)(～31日) (県)栄養教諭授業力向上研修(専門)	
	31	木			(県)特別支援教育新任担当者研修講座(後期)	

7 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化圏・給食センター 学校関係等
	1	金			(県)中・授業力向上研修(教科外) (県)適心指導教室研修会 (事)地区別小学校校体力向上指導者研修会①	
	2	土	八戸市との児童交流 派遣(～3日)			
	3	日				
	4	月	学校安全・危機管理研修会		(県)中・授業力向上研修(教科)(～5日)	
	5	火			(事)管内教育課程協議会(小)	
	6	水		(団)市副校長会研修会②	(県)小・授業力向上研修(教科外) (事)管内教育課程協議会(中) (七)幼・初任者研修Ⅱ(～8日)	
	7	木			(国)伝統音楽指導者研修会 (県)小・授業力向上研修(教科①)(～8日)	
	8	金	教育研究所全体研修会		(県)幼稚園教育研究協議会	
	9	土				
	10	日				
	11	月			(県)食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会	
	12	火				
	13	水				
	14	木				
	15	金				
	16	土				
	17	日				
	18	月				
	19	火			(国)道徳指導者養成研修(～21日) (事)所内会議⑥	始業式(遠小、北小、綾小、友小、土小、昔小、上小、遠中、西中)
	20	水	事務の共同実施⑥	(団)市校長会運営委員会② (団)市中文連理事會③		始業式(附小、宮小、東中)
	21	木			(県)県指導主事協議会(～22日)	始業式(鱒小、達小)
	22	金				
	23	土				
	24	日				
	25	月			(事)特別支援教育支援員研修会	
	26	火	遠野わらすこ「夢の教室」(遠野小)	(団)小・中校長会との教育懇談会 (団)市校長会研修会② (団)市中文連評議員・理事合同会議②	(事)管内復興教育研修会	
	27	水	学校懇談会(土淵小) 遠野わらすこ「夢の教室」(遠野北小) 教育委員会定例会	(団)市中学校駅伝大会 (団)わたしの主張北上地区大会	(七)中・初任者研修Ⅱ(～29日)	
	28	木				
	29	金	校長会議③ 社会科副読本部会③	(団)市小音協理事會①	(事)教職経験者5年研修講座②	
	30	土			(県)総合防災訓練	
	31	日				

8 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(セ)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化圏・給食センター 学校関係等
	1	月	幼保小交流会②(～30日)		(事)管内養護教諭研修会	
	2	火	遠野わらすっこ「夢の教室」(青笹小)		(県)食育推進研修会	
	3	水		(団)わたしの主張遠野地区大会 (団)市副校長会研修会③	(セ)小・初任者研修Ⅱ(～5日)	修学旅行(上小～4日)
	4	木				
	5	金		(団)県新人サッカー実行委員会 (団)市特別支援教育研究会施設見学 (団)国公立幼稚園長研究会 (団)わたしの主張花巻地区大会	(県)復興教育担当者会議② (事)教職経験者10年研修講座②	
	6	土				
	7	日				
	8	月			(国)健康教育指導者養成研修(～12日) (県)県養護教諭研修会(～10日)	
	9	火			(事)理科観察・実験等指導力向上研修(～10日)	
	10	水			(国)全国学調結果からの指導改善説明会 (県)第1回ははばたき賞表彰式	修学旅行(綾小～11日)
	11	木		(団)県中学校英語弁論大会		
	12	金		(団)花巻まつり(～14日)		
	13	土		(団)市中学校新人大会		
	14	日		(団)市中学校新人大会予備日		
	15	月	敬老の日			
	16	火			(国)教育相談指導者養成研修(～19日) (県)健康教育指導者養成研修東部ブロック【健康】 (事)実践的キャリア教育研修会	
	17	水		(団)市教育研究会一斉研修会②	(事)BU授業候補日①	
	18	木			(県)新規採用養護教諭研修会③ (県)JETプログラム指導力等研修会(～19日)	
	19	金		(団)市校長会運営委員会③	(事)所内会議⑦	
	20	土		(団)地区中学校新人大会(花巻・北上～21日)		
	21	日				
	22	月			(県)英語チャレンジテスト(10/3まで)	
	23	火				
	24	水		(団)交通安全教育指導者講習会	(セ)中・教職経験者5年研修講座(～25日) (セ)栄養教諭・経験者5年研修講座	
	25	木		宮守小公開研究会 教育委員会定例会		
	26	金			(事)初任者研修授業研修②	
	27	土		(団)日本教育会全国教育大会		
	28	日				
	29	月	遠野わらすっこ「夢の教室」(上郷小)	(団)市小音協理事会②	(県)学校保健講習会 (県)代表指導主事会議③ (事)地区別中学校体力向上指導者研修会①	
	30	火		(団)市小体協理事会⑧	(花)内川目小学校授業実践公開研究会 (西)湯田小学校学校公開研究会	

9 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業 (七)教育センター事業 (事)事務所事業	市民センター・文化課・給食センター 学校関係等
	1	水		(団)市校長会研修会③	(県)県学習定着度状況調査	
	2	木			(花)湯本小学校授業実践公開研究会 (県)運動部活動指導者サミット	
	3	金		(団)県中学校駅伝大会 (団)県小・中学校長会研究大会		
	4	土			(県)県立一関一高附属中人説明会	
	5	日				
	6	月			(事)初任者研修授業研修③	
	7	火			(県)健康教育指導者養成研修【食育】 (北)和賀東小学校公開研究会	
	8	水			(県)新規採用栄養教諭研修会③	
	9	木	青笹小公開研究会	(団)全日中学校長会研究協議会	(花)矢沢中学校授業実践公開研究会	
	10	金		(団)県公立小中学校事務研究大会	(県)新就任用栄養教諭研修会③ (花)八重畑小学校授業実践公開研究会 (北)南中学校学校公開研究会	
	11	土				
	12	日				
	13	月	体育の日			
	14	火				
	15	水	就学指導委員会②	(団)市副校長会研修会④	(七)幼・初任者研修Ⅲ (～17日) (花)西南中学校授業実践公開研究会	
	16	木		(団)ユニセフ・キャラバン (研修会)		
	17	金		(団)ユニセフ・キャラバン (学校訪問)		
	18	土		(団)県中学校新人大会前期 (～19日)		学習発表会 (北小、綾小、附小、土小、上小、宮小、鱈小、達小)
	19	日				学習発表会 (遠小、友小)
	20	月			(事)所内会議⑧	
	21	火				
	22	水	事務の共同実施⑧	(団)市小音協理事会③	(七)小・フォロアアップ社、理(～23日) 第2回スクールカウンセラー連絡協議会	
	23	木		(団)市小学校音楽祭 (団)全国小学校校長研究協議会 (～24日)		
	24	金				
	25	土		(団)県中学校ラグビー大会(～27日)		学芸会 (青小)
	26	日				文化祭 (遠中、東中、西中)
	27	月				
	28	火			(県)主幹教諭研修講座 (～29日) (事)県立高校入試説明会	
	29	水		(団)市中文祭実行委員会①	(事)地区別小学校体力向上指導者研修会②	
	30	木				
	31	金	教育委員会定例会 学力向上研究員部会・社会科副読本部会④	(団)東北中学校駅伝大会(～1日) (団)東北技術・家庭科研究大会		

10 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業 (県)いわて教育の日 (七)教育センター一般公開	市民センター・文化課・給食センター 学校関係等
	1	土				
	2	日				
	3	月				
	4	火			(国)外国人児童生徒に対する日本語指導者養成研修 (～7日) (県)健康教育指導者養成研修【食育】 (事)管内校長会議②	
	5	水		(団)市中文祭実行委員会②		
	6	木		(団)市中学校総合文化祭	(花)若葉小学校授業実践公開研究会	
	7	金		(団)東北中学校駅伝大会(～8日)		
	8	土				
	9	日				
	10	月			(事)BU授業候補日②	
	11	火		学校懇談会(宮守小)	(県)幼児期における子育て支援協議会 (七)道徳の時間を要として進める道徳教育(～12日)	
	12	水		学力向上対策会議②		
	13	木		遠野わらすこ「夢の教室」(宮守小)		
	14	金		(団)県音研金石大会 (団)NIE公開セミナー	(県)永年勤続教職員表彰式	
	15	土		(団)県中学校新人大会後期(～16日)		
	16	日				
	17	月		生徒指導推進協議会②	(国)指導主事教育課程連絡協議会(～18日)	
	18	火		(団)市小音協理事會④ (団)市校長会運営委員会④	(事)BU授業候補日③	
	19	水		(団)市教育研究会一斉研修会③	(事)所内会議⑤ (七)小・初任者研修Ⅲ(～21日)	
	20	木				
	21	金		(団)県中学校文化祭 (団)県国語研究大会		
	22	土				
	23	日		勤労感謝の日		
	24	月				
	25	火		教育研究所運営委員会②	(県)いわてのキャリア教育実践研修講座Ⅱ (県)教育事務所所長会議③ (事)BU授業候補日④	
	26	水		校長会議④ 事務の共同実施推進協議会①		
	27	木		(団)市中体連理事會④ (団)県小・中学校副校長会研究大会		
	28	金		就学指導委員会③ 教育委員会定例会	(県)代表指導主事会議④ (事)地区別中学校体力向上指導者研修会②	
	29	土				
	30	日				

11 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化課・給食センター 学校関係等
	1	月				
	2	火			(事)管内教務主任研修会	
	3	水	学力向上研究員部会・社会科副読本部会⑤			
	4	木				
	5	金		(団)市校長会研修会④ (団)岩大附属小公開授業研究会 (団)県栄養教諭・学校栄養職員研究大会		
	6	土				
	7	日				
	8	月			(国)幼稚園教育中央協議会	
	9	火			(県)外国人児童生徒教育関係者研修会	
	10	水				
	11	木				
	12	金			(事)所内会議⑩	
	13	土				
	14	日				
	15	月				
	16	火			(県)健康教育指導者養成研修東部ブロック【健康】	
	17	水	事務の共同実施⑩			
	18	木				
	19	金				
	20	土				
	21	日				
	22	月				終業式(遠小、綾小、友小、土小、 青小、上小、西中)
	23	火	天皇誕生日			
	24	水				
	25	木	教育委員会定例会			
	26	金	学力向上研究員部会・社会科副読本部会⑥ 児童生徒作品展(～1/9日)			
	27	土				
	28	日				
	29	月	年末休業			
	30	火	年末休業			
	31	水	年末休業			

12 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育以外)関係 (県)県教委事業(七)教育以外事業(事)事務所事業)	市民以外・文化課・給食以外- 学校関係等
	1	木	元旦			
	2	金	年始休業			
	3	土				
	4	日				
	5	月			(県)小・授業力向上研修(教科外②)	
	6	火		(団)県教育評価研究大会	(県)授業力向上研修(共通②) (~7日)	
	7	水	教育研究所研究発表会		(県)学校体育担当者会議	
	8	木		(団)国立幼稚園教育研究大会	(県)小・授業力向上研修(教科②) (~9日)	
	9	金	児童生徒作品展(撤去)			
	10	土				
	11	日				
	12	月	成人の日			
	13	火			(県)新規採用養護教諭研修会④	
	14	水				
	15	木			(県)新規採用栄養教諭研修会④	始業式(東中)
	16	金			(県)新規任用栄養教諭研修会④	始業式(遠小、友小、遠中、西中)
	17	土			(県)教育振興運動50周年記念大会	
	18	日			(県)一関一高附属中人試	
	19	月				始業式(綾小、青小)
	20	火				始業式(附小、土小、上小、達小)
	21	水	事務の共同実施①		(事)所内会議①	始業式(北小、宮小、鱒小)
	22	木				
	23	金		(団)市校長会運営委員会⑤	(県)県指導主事会議②	
	24	土				
	25	日				
	26	月				
	27	火			(県)公立高校推薦入試	
	28	水	環境・科学審査委員会 教育委員会定例会		(県)いじめ対策等調査研究事業普及啓発協議会	
	29	木				
	30	金			(県)中高英語中核教員研修会②	
	31	土	環境・科学研究発表会		(県)幼稚園等初任者研修運営協議会	

1 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化課・給食センター 学校関係等
	1	日				
	2	月	学力向上対策会議③		(県)教育事務所長会議④ (県)中学校英語研修会② (事)教職総覧者10年研修講座③	
	3	火			(県)初任者研修実施協議会 (県)スポーツ健康行政担当者会議②	
	4	水		(団)市特別支援教育研究会交流発表会	(県)代表指導主事会議⑤(～6日) (県)県生涯学習推進研究発表会(～6日)	
	5	木		(団)市学校保健会研究大会		
	6	金		(団)市校長会研修会⑤		
	7	土				
	8	日				
	9	月	研究所運営委員会③			
	10	火			(県)第2回はばたき賞表彰式	
	11	水	建国記念の日		(七)県教育研究発表会(～13日)	
	12	木				
	13	金				
	14	土				
	15	日				
	16	月		(団)市中文連評議員・理事合同会議③		
	17	火			(事)所内会議⑫	
	18	水	事務の共同実施⑫ 教育委員会定例会	(団)市副校長会研修会⑥		
	19	木	校長会議⑤ 事務の共同実施推進協議会②			
	20	金			(県)復興教育担当者会議③	
	21	土				遠野フアンタジー(～22日)
	22	日				
	23	月		(団)市特別支援教育研究会理事会②		
	24	火	教務主任会議②			
	25	水				
	26	木				
	27	金		(団)市校長会運営委員会⑥		
	28	土				

2 月 事 業 計 画

平成26年度 遠野市教育委員会 月別行事計画

月	日	曜	市教委・研究所関係	地区各種団体等	県教委・事務所(教育センター)関係 (県)県教委事業(七)教育センター事業(事)事務所事業	市民センター・文化課・給食センター 学校関係等
	1	日				
	2	月		(団)市中体連評議員・理事合同会議②		
	3	火				
	4	水	事務の共同実施⑬			
	5	木				
	6	金				
	7	土				
	8	日				
	9	月				
	10	火			(県)公立高校一般入試	
	11	水				
	12	木				
	13	金				修了式(遠中)
	14	土				卒業式(遠中、東中、西中)
	15	日				
	16	月				
	17	火			(県)公立高校合格発表	修了式(東中、西中)
	18	水				修了式(北小、鱒小)
	19	木			(県)JETプログラム指導力等研修会②	修了式(遠小、綾小、友小、附小、土小、青小、上小、宮小、達小)
	20	金			(事)所内会議⑬	卒業式(北小、鱒小)
	21	土	春分の日			卒業式(遠小、綾小、友小、附小、土小、青小、上小、宮小、達小)
	22	日				
	23	月				
	24	火		(団)市校長会研修会⑥	(県)公立高校再募集検査日	
	25	水	教育委員会定例会 退職・市外異動者への辞令交付式			
	26	木			(県)公立高校再募集発表	
	27	金				
	28	土				
	29	日				
	30	月				
	31	火	辞令交付式 退職者を送る会			

3 月 事 業 計 画